

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
平成26年度 業務実績評価書
(第1期中期目標期間 業務実績評価書)
参考資料 小項目評価

平成27年9月

神奈川県地方独立行政法人評価委員会

目

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	
1 質の高い医療の提供	
(1) 医療機能の充実(小項目1~21)	
ア 足柄上病院(小項目1~4)	1
イ こども医療センター(小項目5~8)	5
ウ 精神医療センター 芹香病院(小項目9~11)	12
精神医療センター せりがや病院(小項目12)	17
エ がんセンター(小項目13~16)	19
オ 循環器呼吸器病センター(小項目17~20)	27
カ 医療機能を評価する指標(小項目21)	32
(2) 医療機器・施設整備の推進(小項目22~24)	
ア 医療機器整備の推進(小項目22)	38
イ 施設整備の推進	
(ア) がんセンター総合整備の推進(小項目23)	39
(イ) 精神医療センター総合整備の推進(小項目24)	40
(3) 地域医療連携の強化(小項目25)	41
(4) 臨床研究の推進(小項目26~27)	
ア 臨床研究(小項目26)	45
イ 治験(小項目27)	47
2 安全で安心な医療の提供(小項目28~32)	
(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備(小項目28)	49
(2) 医療安全対策の推進(小項目29)	51
(3) 感染症対策の強化(小項目30)	54
(4) 災害対策の推進(小項目31)	56
(5) 情報セキュリティの強化(小項目32)	58

次

3 患者の視点に立った病院運営(小項目33~40)	
(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供(小項目33~36)	59
(2) 県民への病院・医療情報提供の充実(小項目37)	66
(3) 患者の利便性の向上(小項目38~39)	69
(4) ボランティア・NPOとの協働(小項目40)	73
4 医療人材の確保と育成(小項目41~44)	
(1) 医師の確保と育成(小項目41)	75
(2) 看護師の確保と育成(小項目42)	77
(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実(小項目43)	80
(4) 勤務環境の改善(小項目44)	82
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	
1 業務運営体制の確立(小項目45)	83
2 効率的・効果的な業務運営と経営改善	
(1) 効率的・効果的な業務運営(小項目46~51)	
ア 人事・予算の弾力的運用(小項目46~47)	84
イ 事務職員の専門性の向上(小項目48)	86
ウ 職員の経営参画意識の向上(小項目49)	87
エ ITの活用による効率的な医療提供の推進(小項目50)	89
オ 効率的な事務執行の推進(小項目51)	90
(2) 経営改善の取組(小項目52~56)	
ア 収益の確保(小項目52~54)	91
イ 費用の削減(小項目55~56)	96
第7 その他業務運営に関する重要事項(小項目58)	
人事に関する事項 (1)適切な職員配置 (2)的確な人事管理	101
第3 財務内容の改善に関する事項(小項目57)	99

小項目 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 1 質の高い医療の提供
 - (1) 医療機能の充実

中期目標	ア 足柄上病院 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																			
			自己点数	評価点数	コメント																																																																			
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療 ・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。 ・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組(ア) 足柄上病院 ・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。	(1) 医療機能の充実 ア 神奈川県立足柄上病院 ・地域の中核的医療機関として期待される、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供する。 ・地域に潜在しているがん患者を早期に発見して治療するため、要精密検査の受入れと内視鏡検査・治療件数の増加を図る。 [内視鏡検査・治療件数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査件数</td> <td>3,608件</td> <td>4,000件</td> </tr> <tr> <td>治療件数</td> <td>751件</td> <td>900件</td> </tr> </tbody> </table> ・高齢者等の患者にやさしく負担がより少ない低侵襲な鏡視下手術（腹腔鏡、胸腔鏡）の件数増加を図る。 [手術件数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>平成24年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>155件</td> <td>180件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度実績	平成26年度目標値	検査件数	3,608件	4,000件	治療件数	751件	900件	平成24年度実績	平成26年度目標値	155件	180件	・入退院支援センターを4月に設置し、入院時の説明やアナムネ等の業務を行うとともに、入院中・退院後に発生しうる問題について早期に介入するなど退院に向けた支援・調整を行った。 ・入退院患者が退院後、不安のない療養生活を送れるよう在宅療養後方支援病床を設置するとともに、在宅での療養生活を医療面から支援する訪問診療を実施した ・平成26年度は内視鏡検査件数が目標値4,000件に対して4,181件（+181件）と増加しているが、治療件数が目標値900件に対して897件（-3件）とほぼ同数であった。 [内視鏡検査・治療件数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成23年度実績</th> <th colspan="2">平成24年度実績</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査件数</td> <td>3,234件</td> <td>3,608件</td> <td>3,900件</td> <td>4,017件</td> <td>4,000件</td> <td>4,181件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>治療件数</td> <td>605件</td> <td>751件</td> <td>850件</td> <td>908件</td> <td>900件</td> <td>897件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・平成26年度は鏡視下手術の件数が目標値180件に対して284件（+104件）と増加した。 [鏡視下手術件数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>平成23年度実績</th> <th>平成24年度実績</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>134件</td> <td>155件</td> <td>150件</td> <td>225件</td> <td>180件</td> <td>284件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績		平成24年度実績		平成25年度		平成26年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	検査件数	3,234件	3,608件	3,900件	4,017件	4,000件	4,181件			治療件数	605件	751件	850件	908件	900件	897件			平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度		平成26年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	134件	155件	150件	225件	180件	284件	実績に対する評価 ・入退院支援センターの設置により、入退院調整を早期に開始するとともに、入院業務の効率化を図った。 ・平成26年度は、内視鏡検査件数及び治療件数は概ね目標を達成するなど、地域のニーズに対応した。 また、鏡視下手術についても目標を達成するなど、侵襲の少ない手術件数の増加に努めた。	A	A	内視鏡検査・治療は一般的になってきており、足柄上病院の特徴とは言えないが、在宅療養後方支援病床の設置など、療養環境の整備に取り組んでいる。 また、在院日数が短くなる中、退院後のケアの重要性が高まっており、入退院センターの設置は評価できる。
		区分	平成24年度実績	平成26年度目標値																																																																				
検査件数	3,608件	4,000件																																																																						
治療件数	751件	900件																																																																						
平成24年度実績	平成26年度目標値																																																																							
155件	180件																																																																							
区分	平成23年度実績		平成24年度実績		平成25年度		平成26年度																																																																	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																																
検査件数	3,234件	3,608件	3,900件	4,017件	4,000件	4,181件																																																																		
治療件数	605件	751件	850件	908件	900件	897件																																																																		
平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度		平成26年度																																																																				
目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																																			
134件	155件	150件	225件	180件	284件																																																																			
課題 国が在宅医療・介護の連携を推進する中で、特に在宅療養が困難な重症化リスク抱えた退院患者（併存疾患患者）の療養を支援するため、地域医療機関・行政と連携した地域包括ケアシステムづくりに取り組む。	中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度	地域の中核的病院として、HCUの設置など救急医療体制の充実に取り組むとともに、増加する高齢者に対応するため、もの忘れ外来や消化器内視鏡外来等を設置するなど、地域の医療ニーズに応えた。	A	A																																																																		

小項目2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	ア 足柄上病院 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。 ・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組(ア) 足柄上病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者病棟（スマイル病棟）で培ってきた高齢者への専門的・個別的医療や看護のノウハウを全病棟で高齢者患者に適用し、「高齢者総合医療」を推進する。 ・高齢者の入院時及び退院時に実施するパーセルインデックスによる機能評価を活用し、生活機能のさらなる改善を目指す。 ・摂食機能障害患者一人ひとりに応じた計画を作成し、口腔ケアや食事前の体位調整、嚥下体操等の嚥下訓練及び摂食用具の選択を実施し、摂食・嚥下機能の向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢患者に対して入院時から生活機能の向上を目指して歩行・移動等10項目のパーセルインデックスにより日常の生活動作の評価を活用し、カンファレンス・個別の計画を実施した。その結果、トイレを除く歩行や移動動作などの項目が入院時と比べ、退院時には上回った。 ・入院時から地域医療連携室が関わり、地域医療機関や家族と連絡をとり、共同指導や家族指導等を通じて退院支援を行った。 ・患者の症状に対応した摂食・嚥下診療計画書及び実施計画書に基づき、口腔ケアの実施など摂食・嚥下機能の向上に取り組んだ。 	B	A	<p>実績に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者患者のパーセルインデックスの評価について、退院時には全10項目のうち、1項目を除いて入院時を上回った。 ・摂食機能療法については、救急患者等肺炎リスクのある患者に対して重点的にケアを行ったため、機能療法算定件数が減少したことから、結果的に目標を下回った。 	
					<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の唯一の中核病院として、入院患者の早期の治療効果の向上に取り組むとともに、退院患者の円滑な療養生活を支援するため、急変時の患者の受入れ等在宅療養体制を充実する。 ・摂食機能療改善に取り組む中で、より効果の高い手法を見出していく必要がある。 	
					<p>中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項</p> <p>スマイル病棟などを活用した専門的な医療やパーセルインデックスによる生活機能評価の実施、摂食機能障害患者の摂食嚥下機能の向上など高齢者総合医療を推進した。</p>	
			A	A		

[摂食機能療法件数の実績と目標値]

平成24年度実績	平成26年度目標値
2,785件	6,500件

[摂食機能療法件数の実績と目標値]

平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度		平成26年度	
		目標値	実績	目標値	実績
1,104件	2,785件	2,900件	6,478件	6,500件	5,207件

小項目3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	ア 足柄上病院 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																											
			自己点数	評価点数	コメント																																																																											
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。 地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(ア) 足柄上病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ICUの設置に向けた取組を行うとともに、消防本部との連携強化等により、救急医療を充実する。 <p>(参考) 年間救急受入数実績 (平成20年度) 9,972件</p>	<p>・ ICU施設基準取得に向けて、HCUの稼働状況を高め、重症患者に対する医療の充実を目指す。</p> <p>・ 消防本部との連携を強化するなど救急体制を充実し、救急要請による救急患者の受入れを拡大する。</p> <p>[年間救急受入の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>11,744件</td> <td>12,000件</td> </tr> <tr> <td>うち救急車受入件数</td> <td>2,705件</td> <td>2,800件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[年間救急受入の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急依頼件数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>12,439件</td> <td>-</td> <td>12,281件</td> <td>-</td> <td>11,329件</td> <td>-</td> <td>11,669件</td> </tr> <tr> <td>うち救急受入件数</td> <td>11,900件</td> <td>11,872件</td> <td>12,000件</td> <td>11,808件</td> <td>12,000件</td> <td>11,744件</td> <td>12,000件</td> <td>10,841件</td> <td>12,000件</td> <td>11,182件</td> </tr> <tr> <td>うち救急車受入件数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,556件</td> <td>-</td> <td>2,705件</td> <td>2,600件</td> <td>2,967件</td> <td>2,800件</td> <td>3,126件</td> </tr> <tr> <td>うち入院患者数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,360人</td> <td>-</td> <td>2,619人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>救急依頼件数と救急受入件数の差分は受入できなかった件数 平成26年度487件（平成25年度488件）</p>	区分	平成24年度実績	平成26年度目標値	救急受入件数	11,744件	12,000件	うち救急車受入件数	2,705件	2,800件	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		目標値	実績	救急依頼件数	-	-	-	12,439件	-	12,281件	-	11,329件	-	11,669件	うち救急受入件数	11,900件	11,872件	12,000件	11,808件	12,000件	11,744件	12,000件	10,841件	12,000件	11,182件	うち救急車受入件数	-	-	-	2,556件	-	2,705件	2,600件	2,967件	2,800件	3,126件	うち入院患者数	-	-	-	2,360人	-	2,619人	-	-	-	-	<p>・平成26年度HCUは急性心筋梗塞などの重症患者を延1,195人（前年度+441人）を受け入れ、専門的・集中的治療を行った。</p> <p>・小田原市消防本部等の連携に努め要請に基づき、救急隊救急救命士の再教育研修等を受け入れた。 また、近隣の消防救急隊との連携を強化するため、秦野市消防本部等との研修会を実施した。</p> <p>・救急車受入件数については、目標値2,800件に対して3,126件（+326件、+11.6%）増加した。</p>	実績に対する評価	A	A	積極的に再教育研修等を受け入れており、実績を上げている。								
		区分	平成24年度実績	平成26年度目標値																																																																												
		救急受入件数	11,744件	12,000件																																																																												
うち救急車受入件数	2,705件	2,800件																																																																														
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																																							
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																																						
救急依頼件数	-	-	-	12,439件	-	12,281件	-	11,329件	-	11,669件																																																																						
うち救急受入件数	11,900件	11,872件	12,000件	11,808件	12,000件	11,744件	12,000件	10,841件	12,000件	11,182件																																																																						
うち救急車受入件数	-	-	-	2,556件	-	2,705件	2,600件	2,967件	2,800件	3,126件																																																																						
うち入院患者数	-	-	-	2,360人	-	2,619人	-	-	-	-																																																																						
課題					当院が培ってきた高齢者総合医療による救急患者の速やかな鑑別診断に基づき、本格的な高齢社会に向けて総合診療医（専門医）の育成に取り組む。 また、引き続き救急患者受入拡大に努め、経営改善を図る。																																																																											
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項					地域の救急指定病院として、HCUの整備（平成23年）による救急体制の充実を図るとともに、小田原市消防本部等との連携を強化し、断らない救急受入れなど救急医療機能の向上に取り組んだ。																																																																											
						22～26年度	22～26年度	A	A																																																																							

小項目4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	ア 足柄上病院 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																												
			自己点数	評価点数	コメント																																																												
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <p>・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。</p> <p>・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。</p> <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(ア) 足柄上病院</p> <p>・地域で安心して出産ができるよう、産科医療体制を充実するとともに、助産師による院内助産の取組を進める。</p> <p><small>〔分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値〕</small></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> <tr> <td>分べん件数</td> <td>178件</td> <td>240件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>155件</td> <td>200件</td> </tr> </table> <p><small>〔分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値〕</small></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>分べん件数</td> <td>250件</td> <td>253件</td> <td>250件</td> <td>171件</td> <td>180件</td> <td>178件</td> <td>240件</td> <td>185件</td> <td>240件</td> <td>194件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>40件</td> <td>73件</td> <td>150件</td> <td>154件</td> <td>180件</td> <td>155件</td> <td>200件</td> <td>147件</td> <td>200件</td> <td>165件</td> </tr> </table> <p><small>〔分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値〕</small></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> <tr> <td>分べん件数</td> <td>241件</td> <td>370件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>31件</td> <td>80件</td> </tr> </table>	区分	平成24年度実績	平成26年度目標値	分べん件数	178件	240件	うち助産師分べん件数	155件	200件	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		目標値	実績	分べん件数	250件	253件	250件	171件	180件	178件	240件	185件	240件	194件	うち助産師分べん件数	40件	73件	150件	154件	180件	155件	200件	147件	200件	165件	区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	分べん件数	241件	370件	うち助産師分べん件数	31件	80件	<p>産婦人科医師の負担軽減を図るため、院内助産システムにより助産師主導の分べんを実施するとともに、引き続き産婦人科医師の必要数の確保に向けて取り組んだ。</p> <p>また、助産師は週3回助産師外来で妊婦健診や保健指導を行うとともに、週1回の母乳育児外来で育児相談等の業務を行うなど、妊婦・分娩・育児に必要な知識や情報を提供し、妊産婦との信頼関係を築くよう心がけた。</p> <p>さらに、退院後も母乳育児を行っている親子をサポートするための集いを定期的に年2回開催した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>平成26年度の分べん件数は194件で目標値240件に対して46件下回ったものの、前年度より9件上回った。</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<p>現在の状況下では精一杯の実績と言えるが、産婦人科医の確保が課題と認識されてからかなりの期間が経過していることから、県立病院機構全体の課題として原因究明を行い、引き続き産婦人科医の確保に努める必要がある。</p>								
	区分	平成24年度実績	平成26年度目標値																																																														
	分べん件数	178件	240件																																																														
うち助産師分べん件数	155件	200件																																																															
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																								
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																							
分べん件数	250件	253件	250件	171件	180件	178件	240件	185件	240件	194件																																																							
うち助産師分べん件数	40件	73件	150件	154件	180件	155件	200件	147件	200件	165件																																																							
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値																																																															
分べん件数	241件	370件																																																															
うち助産師分べん件数	31件	80件																																																															
<p>課題</p> <p>足柄上地域で唯一の分娩対応医療機関として、産婦人科医師の確保に努め、産科医療体制を整備していく必要がある。</p>																																																																	
<p>中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項</p> <p>産婦人科医の必要数の確保に努める中で、助産師主導の分べんを実施し、助産師分娩件数は中期計画の目標を上回ったが、分娩件数では目標を達成できなかった。</p>			<p style="text-align: center;">22～26年度</p> <p style="text-align: center;">C</p>	<p style="text-align: center;">22～26年度</p> <p style="text-align: center;">C</p>																																																													

小項目5 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>	
第1	県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
1	質の高い医療の提供
	(1) 医療機能の充実

中期目標	イ こども医療センター
	県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。 また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価					
		自己点数	評価点数	コメント					
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてこども医療センターが目指す医療 <ul style="list-style-type: none"> 小児の難治性疾患等に対する医療など高度・専門医療を充実する。 医療ニーズの変化に合わせた周産期救急及び小児の三次救急医療を充実する。 	(1) 医療機能の充実 イ 神奈川県立こども医療センター <ul style="list-style-type: none"> 県内唯一の小児がん拠点病院として、再発がんや難治がん患者に対し、先進的かつ集学的治療を行うとともに緩和ケアに取り組み、さらに、化学療法や小児がん経験者向けの内分泌外来、退院後訪問看護など小児がん患者に質の高い医療を提供する。 <p>[小児がん患者新規入院件数の目標値]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 小児がん相談支援室によるセミナーの開催、栄養サポートチームによる栄養支援の強化に努めるほか、地域の医療機関や患者・家族への相談支援の充実に取り組む。 	平成26年度	目標値		50件	実績に対する評価 小児がん患者を受け入れる施設の平均的な受入数が10人程度と言われる中、新規に71人の小児がん患者の入院を受け入れ、全国的にも有数の実績である。 また、在宅の小児がん患者の増加に対応し、外来診療の充実を図ったほか、セミナーの開催、栄養支援の強化、相談支援の充実、治験実施体制の強化など、県内唯一の小児がん拠点病院としての役割を果たした。	S	S	全国屈指の専門医療を提供する施設として、小児がんの拠点病院としての役割を十分に果たしている。
		平成26年度	目標値						
	50件								
課題 県内唯一の小児がん拠点病院であることから、今後も小児がん患者の受入が拡大する可能性も高く、小児がん治療の牽引役として、引き続き小児がん診療の質の向上に取り組んでいく必要がある。									

	<p>・月3回程度の院内腫瘍症例検討会のほか、連携医療機関の医師を交えた腫瘍症例検討会も開催し、小児がん治療に関する知識・技術の向上を図る。</p> <p>・治験管理室の機能を充実させ、他の医療機関での実施が困難な小児がんに関する治験を実施する。</p>	<p>・院内腫瘍症例検討会を46回、大学病院の医師を交えた腫瘍症例検討会を3回開催するなど、小児がん治療に関する知識・技術の向上を図った。</p> <p>・小児の抗がん剤の治験について1件実施しているほか、がん領域の治験についても2件実施し、小児がん患者の治療に貢献している。なお、平成27年度からCRCの増員など治験管理室の機能強化が図られることが決まった。</p>				
		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項		22～26年度	22～26年度	
		<p>・平成25年2月に県内唯一の小児がん拠点病院に指定され、平成25年度に緩和ケア外来室、外来化学療法室といった施設面の整備、小児がん相談支援室、退院・在宅医療支援室といった組織面の整備を図り、平成26年度に「神奈川県地域小児がん医療提供体制協議会」を設置した。</p> <p>・小児がん拠点病院に指定されて以来、診療面に留まらず、相談支援、治験への取組などあらゆる面での対応を充実・強化してきた。</p>	S	S		

小項目6 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 質の高い医療の提供
	(1) 医療機能の充実

中期目標	イ こども医療センター 県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。 また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																											
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																											
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてこども医療センターが目指す医療 ・小児の難治性疾患等に対する医療など高度・専門医療を充実する。 ・医療ニーズの変化に合わせた周産期救急及び小児の三次救急医療を充実する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組 (イ) こども医療センター ・心臓血管外科手術をはじめとする、手術の実施体制を充実する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> [手術件数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>3,568件</td> <td>3,800件</td> </tr> <tr> <td>うち心臓血管外科手術件数</td> <td>332件</td> <td>330件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科施設基準対象手術件数</td> <td>77件</td> <td>60件</td> </tr> <tr> <td>うち内視鏡手術件数</td> <td>120件</td> <td>160件</td> </tr> </tbody> </table> </div>	区分	平成24年度	平成26年度	手術件数	3,568件	3,800件	うち心臓血管外科手術件数	332件	330件	うち乳児外科施設基準対象手術件数	77件	60件	うち内視鏡手術件数	120件	160件	手術件数は前年度比23件減の3,647件となり、目標値3,800件に対し95.9%の達成率となった。 また、心臓血管外科手術は333件となり目標値を3件、新生児手術件数は150件となり目標値を20件、乳児外科施設基準対象手術件数は64件となり目標値を4件、内視鏡手術件数は169件となり目標値を9件それぞれ上回った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> [手術件数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>3,770件</td> <td>3,684件</td> <td>3,800件</td> <td>3,584件</td> <td>3,800件</td> <td>3,568件</td> <td>3,800件</td> <td>3,670件</td> <td>3,800件</td> <td>3,647件</td> </tr> <tr> <td>うち心臓血管外科手術</td> <td>-</td> <td>376件</td> <td>-</td> <td>404件</td> <td>400件</td> <td>332件</td> <td>350件</td> <td>329件</td> <td>330件</td> <td>333件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td>135件</td> <td>229件</td> <td>130件</td> <td>143件</td> <td>160件</td> <td>128件</td> <td>150件</td> <td>154件</td> <td>130件</td> <td>150件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科施設基準対象手術件数</td> <td>-</td> <td>86件</td> <td>40件</td> <td>112件</td> <td>105件</td> <td>77件</td> <td>110件</td> <td>64件</td> <td>60件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>うち内視鏡手術件数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>105件</td> <td>-</td> <td>120件</td> <td>120件</td> <td>139件</td> <td>160件</td> <td>169件</td> </tr> </tbody> </table> </div>	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		目標値	実績	手術件数	3,770件	3,684件	3,800件	3,584件	3,800件	3,568件	3,800件	3,670件	3,800件	3,647件	うち心臓血管外科手術	-	376件	-	404件	400件	332件	350件	329件	330件	333件	うち新生児手術件数	135件	229件	130件	143件	160件	128件	150件	154件	130件	150件	うち乳児外科施設基準対象手術件数	-	86件	40件	112件	105件	77件	110件	64件	60件	64件	うち内視鏡手術件数	-	-	-	105件	-	120件	120件	139件	160件	169件	実績に対する評価 手術件数全体では、ほぼ目標値を達成し、また、心臓血管外科手術、新生児手術件数及び乳児外科施設基準対象手術件数など難易度の高い手術では、目標値を上回っており、小児の高度・専門医療を提供する三次医療施設としての役割を果たした。 課題 県内の医療ニーズに適切に対応するため、引き続き必要な医師及び医療機器を確保することで、手術の実施体制を充実していく必要がある。	A	A	小児が減少している中で、実績件数だけでなく手術の質も大切である。全体の手術件数は目標に未達だが、難易度の高い手術件数は増えており、専門病院としての役割を果たすべく努力している。								
	区分	平成24年度	平成26年度																																																																																													
	手術件数	3,568件	3,800件																																																																																													
	うち心臓血管外科手術件数	332件	330件																																																																																													
うち乳児外科施設基準対象手術件数	77件	60件																																																																																														
うち内視鏡手術件数	120件	160件																																																																																														
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																																																							
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																																																						
手術件数	3,770件	3,684件	3,800件	3,584件	3,800件	3,568件	3,800件	3,670件	3,800件	3,647件																																																																																						
うち心臓血管外科手術	-	376件	-	404件	400件	332件	350件	329件	330件	333件																																																																																						
うち新生児手術件数	135件	229件	130件	143件	160件	128件	150件	154件	130件	150件																																																																																						
うち乳児外科施設基準対象手術件数	-	86件	40件	112件	105件	77件	110件	64件	60件	64件																																																																																						
うち内視鏡手術件数	-	-	-	105件	-	120件	120件	139件	160件	169件																																																																																						
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度																																																																																												
中期計画における平成26年度の手術件数は、目標値4,030件に対し3,647件となり、目標には達しなかったが、小児人口が減少する中において、中期計画期間を通じて一定数の手術を実施しており、県民のこども医療センターに対する期待には高いものがある。			B	A																																																																																												

小項目7 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター

県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内においてこども医療センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児の難治性疾患等に対する医療など高度・専門医療を充実する。 医療ニーズの変化に合わせた周産期救急及び小児の三次救急医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(イ) こども医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児医療における総合的な緩和ケアを推進するための体制を整備する。 小児期に特異的な感染症や病院内で発生する感染に対する予防及び拡大防止の体制を強化するため、感染制御室を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小児専門の緩和ケアチームを国内で最初に設立した医療機関として、医師、看護師、薬剤師などに加え、ファシリテッドッグとそのハンドラーから構成される緩和ケアチームが中心となり、より良質な緩和ケアの提供を目指す。 入院患者のみならず、地域に暮らす小児患者とその家族の生活の質の向上を図るため「緩和ケア外来」を推進する。 小児緩和医療の普及啓発を図るため、地域の医療機関を対象にセミナーを3回程度開催する。 疼痛を伴う処置及び検査に対する不安並びに手術後も含めた疼痛の緩和を行うアキュートペインサービスを推進する。また、アキュートペインサービスの普及・啓発を図るため、主に院内職員を対象にセミナーを2回程度開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、保健師、医療ソーシャルワーカー及びファシリテッドッグとそのハンドラーからなる緩和ケアチームが中心となって、緩和ケアの提供にあたった。介入症例は前年度比4件増の21件、医療スタッフや患者・家族からの相談件数は前年度比32件増の77件、病棟で開催されるケースカンファレンスへの参加回数は前年度比31件増の62件となり、より積極的に活動した。 緩和ケア外来を39人に実施し、地域に暮らす小児患者とその家族の生活の質の向上を図ったほか、がん患者指導管理料の算定も可能となった。 地域の医療機関等を対象に小児緩和ケアセミナーや小児がん拠点病院看護部門人材交流研修を4回、院内研修会を3回開催し、小児緩和医療の普及啓発を図った。 アキュートペインサービスを実施し、疼痛を伴う処置及び検査に対する不安並びに手術後も含めた疼痛の緩和を図った。また、主に病院職員を対象とするアキュートペインサービスに関する勉強会を3回開催し、その普及・啓発を図った。 周産期総合医療施設の特性を活かし、従来から提供されてきた周産期緩和ケア、グリーフケアのさらなる普及と推進を図ることを目的に、周産期緩和ケアワーキンググループで6回のワーキングセッションを開催した。 	<p>実績に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門の緩和ケアチームを国内で最初に設立した医療機関として、緩和ケアチームを中心に広範かつ多様な緩和ケアに取り組んでいる。 また、病院全体で周産期緩和ケアのさらなる普及と推進に向けたワーキンググループを立ち上げ、活動していることは、先進的な取組である。 小児が安全かつ苦痛なく侵襲を伴う処置、検査を受けられるように、アキュートペインサービスを実施したことは、他の医療機関では行われることの少ない先進的な取組である。 県内唯一の小児の専門病院として、小児医療における総合的な緩和ケアを推進した。 	A	A	チーム医療、ファシリテッドッグ等、緩和ケア体制の充実に努めている。
			<p>課題</p> <p>小児医療における緩和ケアに対する体制が強化される中、今後小児がんセンターの設置に向け、引き続き、質の高い緩和ケアを提供する必要がある。</p>			

[緩和ケアに関する取組の実績と目標値]

区分	平成24年度実績	平成26年度目標値
緩和ケア外来患者数	-	40人
アキュートペインサービス		
侵襲の強い処置に対する全身麻酔提供	12件	30件
PCAポンプを用いた症状緩和	17件	20件
手術後の疼痛緩和	139件	135件

[緩和ケアに関する取組の実績と目標値]

区分	平成24年度実績	平成25年度		平成26年度	
		目標値	実績	目標値	実績
緩和ケア外来患者数	-	30人	56人	40人	39人
アキュートペインサービス					
侵襲の強い処置に対する全身麻酔提供	12件	25件	24件	30件	23件
PCAポンプを用いた症状緩和	17件	20件	19件	20件	13件
手術後の疼痛緩和	139件	150件	130件	135件	130件

		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項		22～26年度	22～26年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に緩和ケアチームを組織上、位置づけ、平成25年度に緩和ケア普及室を設置し、ファミリードッグとそのハンドラーが緩和ケアチームに加わるなど、小児医療における総合的な緩和ケアを推進するための体制を整備した。 ・感染予防や拡大防止の取組について、平成22年度は感染制御室を設置し、院内感染対策の管理体制を強化した。 	A	S	

小項目 8 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	<p>イ こども医療センター</p> <p>県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。</p> <p>また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。</p>
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																												
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																												
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内においてこども医療センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児の難治性疾患等に対する医療など高度・専門医療を充実する。 ・医療ニーズの変化に合わせた周産期救急及び小児の三次救急医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(1) こども医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周産期救急及び小児の三次救急を充実するための体制を整備する。 <p>(参考) 周産期救急・小児三次救急実績</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>512人</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>6,142件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	N I C U 受入実患者数	512人	救急受入件数	6,142件	<p>・本県の周産期救急医療システムを効果的に運用するために、周産期救急の基幹病院として、他の医療機関では治療が困難な患者を中心に受入れを行うとともに、小児三次救急とあわせ、地域医療機関との連携・調整の役割を引き続き担う。</p> <p>[周産期救急の実績と目標値]</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>653人</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児入院件数</td> <td>33件</td> <td>45件</td> </tr> <tr> <td>依頼医療機関から斡旋医療機関への新生児搬送件数</td> <td>25件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数</td> <td>93人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>[周産期救急の実績と目標値]</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>600人</td> <td>543人</td> <td>600人</td> <td>581人</td> <td>600人</td> <td>653人</td> <td>600人</td> <td>601人</td> <td>600人</td> <td>680人</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児入院件数</td> <td>-</td> <td>56件</td> <td>55件</td> <td>42件</td> <td>55件</td> <td>33件</td> <td>55件</td> <td>45件</td> <td>45件</td> <td>49件</td> </tr> <tr> <td>依頼医療機関から斡旋医療機関への新生児搬送件数</td> <td>-</td> <td>23件</td> <td>25件</td> <td>17件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>34件</td> </tr> <tr> <td>N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数</td> <td>-</td> <td>88人</td> <td>100人</td> <td>78人</td> <td>100人</td> <td>93人</td> <td>100人</td> <td>52人</td> <td>30人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>-</td> <td>5,112件</td> <td>-</td> <td>5,214件</td> <td>-</td> <td>4,898件</td> <td>-</td> <td>5,071件</td> <td>-</td> <td>4,869件</td> </tr> <tr> <td>うち入院患者数</td> <td>-</td> <td>1,385人</td> <td>-</td> <td>1,394人</td> <td>-</td> <td>1,457人</td> <td>-</td> <td>1,416人</td> <td>-</td> <td>1,507人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度実績	平成26年度目標値	N I C U 受入実患者数	653人	600人	超低出生体重児入院件数	33件	45件	依頼医療機関から斡旋医療機関への新生児搬送件数	25件	25件	N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	93人	30人	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		目標値	実績	N I C U 受入実患者数	600人	543人	600人	581人	600人	653人	600人	601人	600人	680人	超低出生体重児入院件数	-	56件	55件	42件	55件	33件	55件	45件	45件	49件	依頼医療機関から斡旋医療機関への新生児搬送件数	-	23件	25件	17件	25件	25件	25件	25件	25件	34件	N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	-	88人	100人	78人	100人	93人	100人	52人	30人	58人	救急受入件数	-	5,112件	-	5,214件	-	4,898件	-	5,071件	-	4,869件	うち入院患者数	-	1,385人	-	1,394人	-	1,457人	-	1,416人	-	1,507人	<p>・全国的なN I C U不足の中、N I C U病床21床に対し、1日平均21.0人を受け入れており、満床が常態化している。また、包括的な医療を要する重度の先天異常の患者も毎年200人前後受け入れている。こうした中、N I C Uの受入実患者数は、新生児病棟における適切な病床管理の取組などの効果で、目標値の600人に対し、680人となった。</p> <p>・N I C Uの計画的運用を図ったことにより、算定期間に上限のある新生児集中治療室管理料算定患者数が1日あたり19.7人と、平成23年度の14.9人、平成24年度の15.4人、前年度の17.7人から改善した。</p> <p>・在宅医療への移行の推進を図るため、退院・在宅医療支援室の退院調整専従の看護師をはじめ多職種が連携し、439件の退院支援カンファレンスを行ったほか、長期入院が予定される新生児の親を対象に両親学級を開催し、母子分離による育児不安の軽減を図り、社会的入院日数の減少を図り、受入実患者数の増加に繋がった。</p> <p>・救急受入件数のうち入院患者数は、前年度対比91人増の1,507人に達し、三次救急医療機関としての役割を果たした。</p>	S	S	<p>常に満床状態にあるNICUにおいて、運営を工夫することにより他の医療機関では受入困難な患者を積極的に受け入れ、目標を大きく上回る受入実患者数を達成しており、周産期救急基幹病院としての役割を十分に果たしている。</p>								
	区分	平成20年度																																																																																																															
N I C U 受入実患者数	512人																																																																																																																
救急受入件数	6,142件																																																																																																																
区分	平成24年度実績	平成26年度目標値																																																																																																															
N I C U 受入実患者数	653人	600人																																																																																																															
超低出生体重児入院件数	33件	45件																																																																																																															
依頼医療機関から斡旋医療機関への新生児搬送件数	25件	25件																																																																																																															
N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	93人	30人																																																																																																															
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																																																																								
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																																																																							
N I C U 受入実患者数	600人	543人	600人	581人	600人	653人	600人	601人	600人	680人																																																																																																							
超低出生体重児入院件数	-	56件	55件	42件	55件	33件	55件	45件	45件	49件																																																																																																							
依頼医療機関から斡旋医療機関への新生児搬送件数	-	23件	25件	17件	25件	25件	25件	25件	25件	34件																																																																																																							
N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	-	88人	100人	78人	100人	93人	100人	52人	30人	58人																																																																																																							
救急受入件数	-	5,112件	-	5,214件	-	4,898件	-	5,071件	-	4,869件																																																																																																							
うち入院患者数	-	1,385人	-	1,394人	-	1,457人	-	1,416人	-	1,507人																																																																																																							
			課 題																																																																																																														
					<p>引き続き、後方病床や地域医療機関との連携の一層の緊密化を図り、N I C Uの運用効率の向上を図る一方、N I C Uの増床に向けた具体的な検討を進める必要がある。</p>																																																																																																												

		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度
		<p>・NICU21床は常に満床に近い中、毎年重度の先天異常の患者を200人前後受け入れる一方、受入実患者数も平成26年度は平成22年度と比べ25.2%増加した。また、救急受入入院患者数も同様に8.9%増加した。</p> <p>・受入実患者数の増加に向け様々な取組を行い、周産期救急の基幹病院としての役割を果たした。また、救急受入入院患者数も増加しており、小児の三次救急医療機関としての役割を果たした。</p>	S	S

小項目9 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																			
			自己点数	評価点数	コメント																																																																			
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急の基幹病院としての医療、自殺対策の一環としてのストレスケア医療、医療観察法に基づく医療、思春期医療及びアルコール・薬物依存症に関する専門的治療を実施し、県の精神科医療の中核病院としての役割を果たす。 新たな精神科医療への対応や療養環境の改善のために精神医療センター総合整備を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(ウ) 精神医療センター・芹香病院（芹香病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県精神保健福祉センター等関係機関との連携を図ることにより、精神科24時間救急を基幹病院として実施し、措置入院患者の受入れのみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者の受入れを拡大する。 <p>（参考）精神科救急件数実績</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>40件</td> </tr> </table>	区分	平成20年度	措置入院患者	93件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件	<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ウ 神奈川県立精神医療センター・芹香病院・せりがや病院</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい時代の精神科医療や、芹香病院の建物老朽化・耐震上の課題などへ対応するため、芹香病院とせりがや病院を統合し、平成26年12月から新病院を開院する。 新病院においては、新たに思春期医療を実施するとともに、医療観察法医療やストレスケア医療、依存症医療などの専門医療を提供し、精神科救急医療の充実・強化を図る。また、専門外来医療の充実を図り、患者の地域生活支援を行うとともに、高度な専門医療を提供するために臨床研究を推進するほか、医療人材の育成を図り、神奈川県精神科医療の中心的役割を果たしていく。 <p>（芹香病院） 平成26年12月にせりがや病院と統合</p> <ul style="list-style-type: none"> 新病院開院にあわせ、精神科救急病床を増床（60床から70床）するとともに、精神科救急システムの実施主体である4県市主管課や精神科救急医療情報窓口である神奈川県精神保健福祉センターとの密接な連携の下、措置入院患者のみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者についても県の精神科の基幹病院として積極的な受入れを行う。 <p>[精神科救急件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>138件</td> <td>100件</td> <td>46件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>46件</td> <td>50件</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	区分	平成24年度		平成26年度		実績	目標値	実績	目標値	措置入院患者	138件	100件	46件	50件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	46件	50件			<p>新病院開院にあわせて精神科救急病床を60床から70床に増床した。</p> <p>また、神奈川県精神保健福祉センター及び4県市（県、横浜市、川崎市、相模原市）により構築された精神科救急医療システムにおける基幹病院（休日・夜間・深夜の受入を行う病院）が確保する33床のうち精神医療センターは最多の16床を確保し、平成26年度の受入れ実績は平成25年度とほぼ同数の172件であった。そのうち、より重症な自傷他害の恐れが強い措置入院患者は、目標値の100件に対し124件となり、大幅に上回った。</p> <p>[精神科救急件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>100件</td> <td>109件</td> <td>100件</td> <td>108件</td> <td>100件</td> <td>138件</td> <td>100件</td> <td>137件</td> <td>100件</td> <td>124件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>50件</td> <td>43件</td> <td>50件</td> <td>46件</td> <td>50件</td> <td>46件</td> <td>50件</td> <td>37件</td> <td>50件</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		目標値	実績	措置入院患者	100件	109件	100件	108件	100件	138件	100件	137件	100件	124件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	50件	43件	50件	46件	50件	46件	50件	37件	50件	48件	<p>実績に対する評価</p> <p>精神科救急件数について、目標値を大幅に上回り、精神科24時間救急の基幹病院としての役割を担った。</p> <p style="text-align: center;">S</p>	<p style="text-align: center;">S</p> <p>中期目標期間中に目標値を上げていく余地はあったが、掲げている目標値については十分に達成している。</p>								
	区分	平成20年度																																																																						
	措置入院患者	93件																																																																						
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件																																																																							
区分	平成24年度		平成26年度																																																																					
	実績	目標値	実績	目標値																																																																				
措置入院患者	138件	100件	46件	50件																																																																				
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	46件	50件																																																																						
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																															
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																														
措置入院患者	100件	109件	100件	108件	100件	138件	100件	137件	100件	124件																																																														
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	50件	43件	50件	46件	50件	46件	50件	37件	50件	48件																																																														
<p>課題</p> <p>措置入院患者等を継続的に受入れるため、引き続き4県市等関係機関と密接な連携を図っていく。</p>																																																																								
<p>中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年10月に県からの要請に応じ精神科24時間救急の当センターの確保病床数を12床から16床に増加させるなど県の精神科救急医療体制の充実に寄与した。 中期計画期間を通して目標値を上回り、基幹病院としての役割を果たした。 <p style="text-align: center;">S</p>		S																																																																						

小項目 10 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>
 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 1 質の高い医療の提供
 (1) 医療機能の充実

中期目標
 ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																									
			自己点数	評価点数	コメント																									
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急の基幹病院としての医療、自殺対策の一環としてのストレスケア医療、医療観察法に基づく医療、思春期医療及びアルコール・薬物依存症に関する専門的治療を実施し、県の精神科医療の中核病院としての役割を果たす。 新たな精神科医療への対応や療養環境の改善のために精神医療センター総合整備を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(り) 精神医療センター芹香病院（芹香病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急・急性期医療において、早期退院が困難な患者に対し、集中的なリハビリテーションを行い、円滑な退院促進・社会復帰を図る。 ストレスケア医療や、精神障害が多発する思春期を対象とした精神科医療等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 難治性うつ病等に対する治療法（反復性経頭蓋磁気刺激法）の開発、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組むとともに、県民に対してうつ病の予防に関する普及啓発に取り組む。 難治患者に対して、麻酔科医が必要な修正型電気けいれん療法（m-ECT）や副作用への対応の問題から特定の医療機関でしか実施できないクロザピンによる治療など高度医療の実施について、充実を図っていく。 うつ病・うつ状態で休職中又は離職中で就労意欲のある者を対象として、医師、臨床心理士、作業療法士、精神保健福祉士がチームとなって関わる質の高いリワークプログラムを実施し、その復職を支援する。 <p>[リワークプログラム実施延べ患者数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td>1,245人</td> <td>550人</td> </tr> </table>	平成24年度実績	平成26年度目標値	1,245人	550人	<ul style="list-style-type: none"> 反復性経頭蓋磁気刺激法 の開発については、平成26年度は7人（平成25年度以前の合計99人）の患者の協力を得て、気分障害への効果及び安全性について検証するため、実証実験を行うなど先進医療の認定に向けて研究を進めた。 反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS） 8の字型のコイルに電流を流すと周囲に磁界が発生し、その作用で脳の一定の部位に微弱な電流が生じる。それにより脳の神経細胞を刺激して機能を調整する。 高度医療については、修正型電気けいれん療法について222件（平成25年度135件）実施したほか、クロザピン治療を新たに5人実施した（平成25年度からの合計15人）。 うつ病、うつ状態による休職者や離職者の職場復帰を目的とした通所によるリワークプログラムについては、新病院開院に伴い、従来の精神科作業療法と通院集団精神療法によるプログラムを終了し、ショートケアによる実施に移行した。ショートケア移行に伴い、プログラムを改変し、利用者の希望が多かった時間延長（2時間から3時間）を行った。また、離職者、複数回の休職経験者、依存症関連の利用者の受入れにも積極的に取り組んだ。 <p>[リワークプログラム実施延べ患者数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td colspan="2">平成25年度</td> <td colspan="2">平成26年度</td> </tr> <tr> <td>1,559人</td> <td>1,321人</td> <td>1,245人</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,330人</td> <td>874人</td> <td>550人</td> <td>1,202人</td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度		1,559人	1,321人	1,245人	目標値	実績	目標値	実績				1,330人	874人	550人	1,202人	<p>実績に対する評価</p> <p>S</p>	S	<p>専門性を発揮し、素晴らしい実績を上げている。平成26年度は2病院の統合を加味して目標値は低めに設定したようだが、目標値を大幅に上回る実績を上げており、多くのニーズに応えている。近い将来、保険が適用されるようになれば、更なる実績が期待できる。</p>
		平成24年度実績	平成26年度目標値																											
1,245人	550人																													
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度																									
1,559人	1,321人	1,245人	目標値	実績	目標値	実績																								
			1,330人	874人	550人	1,202人																								
			<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 反復性経頭蓋磁気刺激法の開発に向けて引き続き臨床研究に取り組み、できるだけ早期に先進医療の認定または薬事承認が得られるように取り組む。 思春期病棟の病床利用率の向上に向けて院内や関係機関との連携を強化していく。 																											

	<p>・思春期を対象とした精神科医療について、提供する医療内容や運営体制の検討を進め、新病院開院にあわせて思春期病棟を開棟（30床）する。</p>	<p>・2ヶ所の大学を訪問し、ストレスケア病棟の紹介を行うとともに、うつ病についての講演会やストレスケア病棟の見学会を3回実施した。</p> <p>・うつ病予防のための県民向けの公開講座を次のとおり実施した。</p> <p>期 日：平成27年3月7日 テーマ：「うつ病診断補助の臨床マーカー最前線 - 目に見えるようになりつつあるこころの病 -」 「ストレスケア病棟の取り組み」 受講者：103人</p> <p>・思春期を対象とした精神科医療の実施に向け、提供する医療内容や運営体制について検討を進め、新病院開院にあわせて思春期病棟を開棟し、診療を開始した。</p>			
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項		22～26年度	22～26年度		
<p>・平成25年度からクロザピンによる治療を開始したほか、新病院開院にあわせて新たに思春期医療を提供するなど医療機能の充実を図った。</p> <p>・クロザピンなどの高度な医療やストレスケア医療や思春期精神科医療などの専門医療を提供することができた。</p>		A	A		

小項目 1 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>	
第 1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	
1 質の高い医療の提供	
(1) 医療機能の充実	

中期目標	ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																															
			自己点数	評価点数	コメント																															
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急の基幹病院としての医療、自殺対策の一環としてのストレスケア医療、医療観察法に基づく医療、思春期医療及びアルコール・薬物依存症に関する専門的治療を実施し、県の精神科医療の中核病院としての役割を果たす。 新たな精神科医療への対応や療養環境の改善のために精神医療センター総合整備を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組（ウ）精神医療センター芹香病院（芹香病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療観察法に基づき既に指定を受けている指定通院医療機関及び鑑定入院医療機関としての医療機能に加えて、入院治療を実施する30床規模の専門病棟の整備を推進する。 	<p>・「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）」に基づく指定通院医療機関として、通院対象者の症状に応じた適切な医療を提供できるよう、他の指定通院医療機関との役割分担等について保護観察所と協議しつつ、個別診療計画に沿って、多職種チームによる手厚い医療を実施する。</p> <p>[医療観察法指定通院医療の延べ患者数の実績と目標値] <table border="1"> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td>1,054人</td> <td>910人</td> </tr> </table> </p> <p>[医療観察法指定通院医療の延べ患者数の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成22年度実績</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,126人</td> <td>768人</td> <td>1,315人</td> <td>1,056人</td> <td>1,054人</td> <td>1,090人</td> <td>837人</td> <td>910人</td> <td>584人</td> </tr> </tbody> </table> </p> <p>・医療観察法に基づく指定入院医療機関として、国からの入院要請に原則として全て対応して、複雑な背景を持った患者に対し、専門治療プログラムに沿った医療を多職種チームにより実施する。</p> <p>・医療観察法に基づく医療の質の向上及び均てん化を図るため、多職種チームが指定入院医療機関を訪問するとともに、他の指定入院医療機関からも職員を受け入れ、医療体制等に係る評価や課題への助言等の技術交流を行う。</p>	平成24年度実績	平成26年度目標値	1,054人	910人	平成22年度実績	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	1,126人	768人	1,315人	1,056人	1,054人	1,090人	837人	910人	584人	<p>・指定通院医療機関として、多職種チーム（医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士等）を3チーム編成して、関東信越厚生局の要請に応じ、584人の通院患者を受け入れ、患者の症状に対応した個別治療計画を策定し、手厚い医療を積極的に実施した。</p> <p>・県内の指定医療機関や保護観察所、社会福祉施設等との連携を図り、医療観察法に基づく医療提供を円滑に実施するため、かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議（年4回）を開催した。</p> <p>・指定入院医療機関として、関東信越厚生局の要請に応じて計画的に入院患者を受け入れた結果、専門病棟（33床）の病床利用率は年間を通じて90%以上となった。また、専門治療プログラムの提供や退院準備室等を利用した外出、外泊を実施し、地域関係機関との連携により、退院を進めた。</p> <p>・医療観察法に基づく医療の質の向上及び均てん化を図るため精神医療センターの多職種チームの職員3名が指定医療機関を訪問するとともに、他の指定医療機関からも4名の職員を受け入れ、医療体制等に係る評価や課題への助言等の技術交流を行った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>指定通院医療の延べ患者数については、通院処遇が終了し、一般精神科医療に移行した患者が多かったことから、目標値に至らなかったが、関東信越厚生局の要請に応じて患者を積極的に受け入れ、多職種チームによる手厚い医療を実施した。また、専門病棟において、満床に近い入院患者を受け入れ、計画的に退院に結びつけるなど医療観察法制度の実施に大きく貢献した。</p>	C	B	<p>目標達成率のみで判断すればC評価となるが、延べ患者数が伸びなかった背景には、通院処遇が終了して一般精神科医療に移行した患者が多かったことがあり、このことは治療の進展という観点からは望ましい結果である。平成25年度実績までの評価を加味しても、C評価とするには及ばず、B評価が妥当である。</p> <p>なお、管理不能な目標値を設定していることについて再考を要する。</p>
		平成24年度実績	平成26年度目標値																																	
1,054人	910人																																			
平成22年度実績	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																													
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																												
1,126人	768人	1,315人	1,056人	1,054人	1,090人	837人	910人	584人																												
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 通院対象者の症状に対応した適切な医療が提供できるよう、他の指定通院医療機関と役割分担等について協議する。 計画的かつ速やかな入院を進めて効率的な運営を行うとともに、専門治療プログラムや外出、外泊の内容を評価し、その内容の向上を図り、通院医療機関など関係機関との連携体制の強化を図りながら、対象者に応じた退院を進めていく。 																																				

		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・「精神医療センター総合整備計画」に基づき、指定入院医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟（33床）の建築工事を実施し、平成24年11月から運用を開始した。 ・関東信越厚生局の要請に応じて計画的に患者を受け入れ、医療観察法制度の実施に大きく貢献した。 	A	A

小項目 1 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中 期 目 標	ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。
----------------------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																					
			自己点数	評価点数	コメント																					
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）が目指す医療</p> <p>・精神科救急の基幹病院としての医療、自殺対策の一環としてのストレスケア医療、医療観察法に基づく医療、思春期医療及びアルコール・薬物依存症に関する専門的治療を実施し、県の精神科医療の中核病院としての役割を果たす。</p> <p>・新たな精神科医療への対応や療養環境の改善のために精神医療センター総合整備を推進する。</p> <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組（せりがや病院）</p> <p>アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。</p>	<p>（せりがや病院） 平成26年12月に芹香病院と統合</p> <p>・依存症医療について、アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害の患者を対象とした外来診療のほか、集団精神療法や作業療法、家族教室などに取り組む。また、地域医療機関では治療が困難な患者の受入れや県市の保健所等の行政機関への情報提供を強化し、新たな外来患者の受入れに努める。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <caption>[新患者数の実績と目標値]</caption> <tr> <td style="padding: 2px;">平成24年度 実績</td> <td style="padding: 2px;">平成26年度 目標値</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">559人</td> <td style="padding: 2px;">520人</td> </tr> </table>	平成24年度 実績	平成26年度 目標値	559人	520人	<p>・アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症を対象として、ミーティング等を取り入れた治療プログラムや家族教室を実施したほか、依存症医療における地域医療機関等との連携・協力などを図り、新患者者の増加に努めた。</p> <p>・国の「依存症治療拠点機関設置運営事業」に基づき、平成26年10月に神奈川県から依存症治療拠点機関としての指定を受け、専門的な治療・相談を実施するとともに、医師、自助団体等からなる対策協議会を2回、研修会を1回開催するなど依存症対策に取り組んだ。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px;">アルコール家族教室</td> <td style="padding: 2px;">11回</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">薬物家族教室</td> <td style="padding: 2px;">20回</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <caption>[新患者数の実績と目標値]</caption> <tr> <td style="padding: 2px;">平成23年度 実績</td> <td style="padding: 2px;">平成24年度 実績</td> <td style="padding: 2px;">平成25年度 目標値</td> <td style="padding: 2px;">平成25年度 実績</td> <td style="padding: 2px;">平成26年度 目標値</td> <td style="padding: 2px;">平成26年度 実績</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">507人</td> <td style="padding: 2px;">559人</td> <td style="padding: 2px;">510人</td> <td style="padding: 2px;">518人</td> <td style="padding: 2px;">520人</td> <td style="padding: 2px;">390人</td> </tr> </table>	アルコール家族教室	11回	薬物家族教室	20回	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 目標値	平成25年度 実績	平成26年度 目標値	平成26年度 実績	507人	559人	510人	518人	520人	390人	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>芹香病院との統合に向けて、初診枠を限定したことなどから新患者数は減少したが、依存症医療について積極的な広報を行うとともに治療プログラムの充実を図り、効果的な医療を提供するなど依存症治療拠点病院としての役割を果たした。</p> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>依存症治療拠点病院として、積極的な広報や地域関係機関との連携強化を図り、集団治療プログラムなどによる依存症医療を着実に実施していく。</p>	B	B	<p>2病院の統合が新患者数に影響を与えていることは想像に難くないが、実績から判断するとB評価が妥当である。</p> <p>今後、積極的な広報を実施していけば、患者数は自然と増加していくことが期待できる。</p>
平成24年度 実績	平成26年度 目標値																									
559人	520人																									
アルコール家族教室	11回																									
薬物家族教室	20回																									
平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 目標値	平成25年度 実績	平成26年度 目標値	平成26年度 実績																					
507人	559人	510人	518人	520人	390人																					

・せりがや病院が覚醒剤等の薬物依存の患者に対して開発した再乱用防止認知行動療法（SMARPP：Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program）のプログラムを処方薬・市販薬への依存症にも活用して、通院の継続を図る。また、脱法ハーブなど新たな課題にも積極的に対応していく。

[SMARPP実施患者数の実績と目標値]

平成24年度実績	平成26年度目標値
実患者数138人(延1,110人)	実患者数100人(延800人)

[SMARPP実施患者数の実績と目標値]

平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度		平成26年度	
			目標値	実績	目標値	実績
実患者数100人 (延700人)	実患者数97人 (延790人)	実患者数138人 (延1,110人)	実患者数100人 (延800人)	実患者数157人 (延1,265人)	実患者数100人 (延800人)	実患者数95人 (延913人)

・脱法ハーブなど深刻化する青少年の薬物乱用を防止するため、県と連携して学校の「薬物乱用防止教室」に職員を派遣し、臨床経験を踏まえたロールプレイなどを活用した啓発活動を行う。

・SMARPPについては、入院から退院後のフォローまでのグループ、外来薬物、外来女性の3グループが定着し、見学研修者を積極的に受け入れ、治療プログラムの普及にも努めた。また、アルコール版の治療プログラムSARPPを入院、外来において開始した。さらに依存物質に関わらず「感情」に着目し、心理士、作業療法士、看護師からなる多職種チームで同じテーマを共有し、アプローチするSCOPプログラムを独自に開発し、入院患者に提供した。

SMARPP (Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program)とは、海外で有効性が確認されている覚せい剤依存症に対する総合的外来治療プログラムを我が国の実情に沿った形で、せりがや病院で修正したものである。

・県と連携して、県内の中学校、高校等で開催される薬物乱用防止教室に職員を派遣し、啓発活動を行った（実績 延19施設5,132人）。社会的問題となっている「危険ハーブ」関連の依頼も多く、実情について講演し、専門病院としての臨床研究を踏まえた啓発活動を行った。

中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項

深刻化する薬物乱用に対応し、治療プログラムの充実や普及啓発などに取り組むなど、数少ない県内の依存症治療の拠点病院として医療の提供を行った。

22～26年度

A

22～26年度

A

小項目 13 - 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 1 質の高い医療の提供
 - (1) 医療機能の充実

中期目標	エ がんセンター 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																							
			自己点数	評価点数	コメント																																							
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療 ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組 (I) がんセンター ・診療待ち、手術待ちの患者が多数いる状況を改善するため、外来診療及び手術実施体制の整備、充実を図る。 [手術件数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平成20年度実績</td> <td>平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td>2,471件</td> <td>3,900件</td> </tr> </table>	平成20年度実績	平成26年度目標値	2,471件	3,900件	(1) 医療機能の充実 エ 神奈川県立がんセンター ・平成25年11月の新病院開院に伴い拡充した外来診察室、手術室、化学療法室を通年稼動するとともに、診療及び手術室のスタッフの確保など実施体制の充実に努め、手術件数及び外来化学療法の増加を図る。 [手術件数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td>2,738件</td> <td>3,300件</td> </tr> </table>	平成24年度実績	平成26年度目標値	2,738件	3,300件	手術室を最大8列の同時運用を行い、手術枠を増加し手術件数の増加を図った。 その結果、目標件数3,300件に対し、実績は93.6%の3,089件となった。 1日当たりの件数は、12.7件で昨年比べて1.3件増加した。 [手術件数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>2,700件</td> <td>2,565件</td> <td>2,700件</td> <td>2,564件</td> <td>2,700件</td> <td>2,738件</td> <td>2,610件</td> <td>2,685件</td> <td>3,300件</td> <td>3,089件</td> </tr> </table>	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		目標値	実績	2,700件	2,565件	2,700件	2,564件	2,700件	2,738件	2,610件	2,685件	3,300件	3,089件	実績に対する評価 常勤の麻酔科医の確保が不十分な中で、手術室の効率的な運用を行い、手術件数の増加に対応するため手術枠の増加を図ったが、目標を若干下回った。 課題 手術室の拡充に見合った件数をこなすため、手術に必要なスタッフの体制を早期に整え、より効率的な運用を図る必要がある。 また、さらなる手術件数の増加を図るために、新規患者の集患に向けた対策を進める必要がある。	B	B	安全な手術を実施していくには麻酔科医の確保は不可欠であり、病院機能の発揮に向けて、対策に取り組むべきである。 また、昨今がん細胞による免疫のブレーキに関するメカニズムが解明されてきており、免疫療法が手術、化学療法、放射線に次ぐ第4の治療方法として認知されてきているため、がんセンターとしても遺伝子解析を進めながら免疫療法を積極的に取り入れていく必要がある。								
	平成20年度実績	平成26年度目標値																																										
	2,471件	3,900件																																										
平成24年度実績	平成26年度目標値																																											
2,738件	3,300件																																											
平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																																				
目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																			
2,700件	2,565件	2,700件	2,564件	2,700件	2,738件	2,610件	2,685件	3,300件	3,089件																																			
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度																																								
新病棟移転後の目標を3,900件と定めたが、平成26年度は3,089件と目標を下回った。			C	C																																								

小項目 13 - 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	エ がんセンター 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																															
			自己点数	評価点数	コメント																															
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療 ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組 (I) がんセンター ・外来化学療法件数の増加に対応するため、外来化学療法室の拡充を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> [外来化学療法件数の実績と目標値] 平成20年度実績 平成26年度目標値 12,130件 15,000件 </div>	(1) 医療機能の充実 エ 神奈川県立がんセンター ・平成25年11月の新病院開院に伴い拡充した外来診察室、手術室、化学療法室を通年稼動するとともに、診療及び手術室のスタッフの確保など実施体制の充実に努め、手術件数及び外来化学療法の増加を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> [外来化学療法件数の実績と目標値] 平成24年度実績 平成26年度目標値 11,624件 13,700件 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> [外来化学療法件数の実績と目標値] <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,580件</td> <td>11,746件</td> <td>11,600件</td> <td>11,785件</td> <td>11,700件</td> <td>11,624件</td> <td>12,570件</td> <td>11,747件</td> <td>13,700件</td> <td>15,067件</td> </tr> </tbody> </table> </div>	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		目標値	実績	12,580件	11,746件	11,600件	11,785件	11,700件	11,624件	12,570件	11,747件	13,700件	15,067件	・平成26年度の外来化学療法件数は、15,067件と目標の13,700件を1,367件と10%増加することが出来た。 ・目標を大幅に上回ることが出来たが、機能を十分に活かすために新規患者の増加に向けた取り組みを進めていく。	実績に対する評価	A	A	外来化学療法の件数は着実に増加しており、今後も増加が期待できる。								
		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																										
		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																									
12,580件	11,746件	11,600件	11,785件	11,700件	11,624件	12,570件	11,747件	13,700件	15,067件																											
課題	50床ある外来化学療法室をフルに運用していくために、実施体制の整備を図り、新規患者の集患に向けた対策を進める必要がある。																																			
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度																																		
外来化学療法件数の増加に対応するため、新棟移転に伴い外来化学療法室の拡充を図った。			A	A																																

小項目 13 - 3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	エ がんセンター 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																
			自己点数	評価点数	コメント																																
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療 ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組 (I) がんセンター ・外来化学療法件数の増加に対応するため、外来化学療法室の拡充を図る。	(1) 医療機能の充実 エ 神奈川県立がんセンター ・平成25年11月の新病院開院に伴い拡充した外来診察室、手術室、化学療法室を通年稼働するとともに、診療及び手術室のスタッフの確保など実施体制の充実に努め、手術件数及び外来化学療法の増加を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> [外来薬剤指導件数の実績と目標値] <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;">平成24年度実績</td> <td colspan="2" style="border: none;">平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,782件</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,920件</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table> </div>		平成24年度実績		平成26年度目標値			1,782件	1,920件			平成26年度の外来薬剤指導件数は、日々の調剤業務や相談業務等を効率よく運用し、1,990件と、目標の1,920件を70件上回り、3.6%増加することが出来た。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> [外来薬剤指導件数の実績と目標値] <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;">平成24年度</td> <td colspan="2" style="border: none;">平成25年度</td> <td colspan="2" style="border: none;">平成26年度</td> </tr> <tr> <td style="border: none; text-align: center;">平成23年度実績</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">目標値</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">実績</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">目標値</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">実績</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">目標値</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">実績</td> </tr> <tr> <td style="border: none; text-align: center;">1,586件</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,500件</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,782件</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,680件</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,885件</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,920件</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1,990件</td> </tr> </table> </div>		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成23年度実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	1,586件	1,500件	1,782件	1,680件	1,885件	1,920件	1,990件	実績に対する評価	A	A	非常に重要な分野であり、引き続き運用体制の充実を図ることが望まれる。
			平成24年度実績		平成26年度目標値																																
	1,782件	1,920件																																			
	平成24年度		平成25年度		平成26年度																																
平成23年度実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																															
1,586件	1,500件	1,782件	1,680件	1,885件	1,920件	1,990件																															
課題	入院・外来延患者数が増加している中で限られた人数で業務を工夫し、外来薬剤指導件数の目標を達成することができた。																																				
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度																																	
・平成24年度からの3年間、目標を平均11.5%上回る実績を達成した。 ・薬剤師の確保が厳しい中、チームで適切な薬剤指導に向けた取り組みを行った。			A	A																																	

小項目 13 - 4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 1 質の高い医療の提供
 (1) 医療機能の充実

中期目標	エ がんセンター 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価							
			自己点数	評価点数	コメント							
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療 <ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 	(1) 医療機能の充実 エ 神奈川県立がんセンター <ul style="list-style-type: none"> ・漢方など東洋医学による治療を実践する漢方診療の実施体制を充実するため、平成26年4月に「漢方サポートセンター」を開設し、新たに院外の紹介患者を受け入れる等漢方診療の充実と漢方治療の相談及び東洋医学への理解促進に向けた情報提供等を行う。 	<p>平成26年4月1日に、漢方外来の機能充実を図る「漢方サポートセンター」を開設した。 (参考)</p> <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">外来延患者数</td> <td>2,108 人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>143 件</td> </tr> <tr> <td>講演会</td> <td>2 回開催</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・職員用食堂、患者用レストランにおいて、一部メニューの食材に薬膳的効能を表示した。 ・化学療法患者向けに栄養・料理教室を8回開催した。 	外来延患者数	2,108 人	相談件数	143 件	講演会	2 回開催	実績に対する評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「漢方サポートセンター」を開設し、漢方など東洋医学による治療を実践する漢方診療の実施体制を整備した。 </div>	A	A	
			外来延患者数	2,108 人								
			相談件数	143 件								
講演会	2 回開催											
課題	さらなる紹介患者の増加と漢方治療の相談及び東洋医学への理解促進に向けた情報提供等を図る。											
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度										
漢方など東洋医学による治療を実践する漢方診療の実施体制を充実し、着実に取組を推進した。			A	A								

小項目 1 4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標	<p>エ がんセンター</p> <p>神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。</p>
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																														
			自己点数	評価点数	コメント																																																														
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組 (I) がんセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線治療を充実するため、3次元照射が可能な放射線治療装置や重粒子線治療装置を導入する。 	<p>・高度、最新のがん医療を進めるため、放射線治療装置（リニアック）による患者の身体的負担に配慮した精密な治療計画に基づく高精度放射線治療（強度変調放射線治療（IMRT））などを積極的かつ着実に進める。</p> <p>[放射線治療の実患者数の目標値]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成26年度目標値</td> <td>1,000人</td> </tr> </table> <p>[照射方法別治療実患者数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>照射方法</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常照射及び全身照射</td> <td>789人</td> <td>960人</td> </tr> <tr> <td>IMRT(強度変調)</td> <td>15人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>定位照射</td> <td>13人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table>	平成26年度目標値	1,000人	照射方法	平成24年度実績	平成26年度目標値	通常照射及び全身照射	789人	960人	IMRT(強度変調)	15人	25人	定位照射	13人	15人	<p>放射線治療装置（リニアック）4台体制により患者の身体的負担に配慮した精密な治療計画に基づき積極的かつ着実に進めた。</p> <p>実患者数の目標値1,000人に対し1,080人と目標を達成した。</p> <p>特に高精度放射線治療（強度変調放射線治療（IMRT））では、目標値25人に対し94人と大幅に伸ばした。</p> <p>[放射線治療の実患者数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>650人</td> <td>753人</td> <td>1,000人</td> <td>1,080人</td> </tr> </tbody> </table> <p>[照射方法別治療実患者数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">照射方法</th> <th>平成23年度実績</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常照射</td> <td>408人</td> <td>600人</td> <td>769人</td> <td>610人</td> <td>745人</td> </tr> <tr> <td>IMRT(強度変調)</td> <td>2人</td> <td>25人</td> <td>15人</td> <td>12人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>定位照射</td> <td>2人</td> <td>24人</td> <td>13人</td> <td>14人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>全身照射</td> <td>21人</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>14人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 症例あたりの平均照射回数 通常照射 30回 IMRT(強度変調) 37回 定位照射 4回 全身照射 1回</p>	平成25年度		平成26年度		目標値	実績	目標値	実績	650人	753人	1,000人	1,080人	照射方法	平成23年度実績	平成24年度		平成25年度			目標値	実績	目標値	実績	通常照射	408人	600人	769人	610人	745人	IMRT(強度変調)	2人	25人	15人	12人	26人	定位照射	2人	24人	13人	14人	15人	全身照射	21人	20人	20人	14人	30人	<p>実績に対する評価</p> <p>放射線治療の実患者数では目標の108%を達成し、特にIMRT(強度変調)では、目標の25人に対し、3.8倍となる94人となるなど、大幅にクリアした。</p>	A	A	放射線治療環境について、着実な整備が進んでいる。
		平成26年度目標値	1,000人																																																																
照射方法	平成24年度実績	平成26年度目標値																																																																	
通常照射及び全身照射	789人	960人																																																																	
IMRT(強度変調)	15人	25人																																																																	
定位照射	13人	15人																																																																	
平成25年度		平成26年度																																																																	
目標値	実績	目標値	実績																																																																
650人	753人	1,000人	1,080人																																																																
照射方法	平成23年度実績	平成24年度		平成25年度																																																															
		目標値	実績	目標値	実績																																																														
通常照射	408人	600人	769人	610人	745人																																																														
IMRT(強度変調)	2人	25人	15人	12人	26人																																																														
定位照射	2人	24人	13人	14人	15人																																																														
全身照射	21人	20人	20人	14人	30人																																																														
課題			<p>放射線治療装置（リニアック）による患者の身体的負担に配慮した精密な治療計画に基づく高精度放射線治療（強度変調放射線治療（IMRT））などを積極的かつ着実に進める。</p>																																																																
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度																																																															
リニアックの増設に伴い、放射線治療の実患者数は着実に増加した。			A	A																																																															

小項目 15 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 1 質の高い医療の提供
 - (1) 医療機能の充実

中期目標	エ がんセンター 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療 ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組 (I) がんセンター ・緩和ケアを充実するため、緩和病室を拡充するとともに、療養環境の充実を図る。		・平成26年4月1日より緩和ケアセンターを設置し、緩和ケアの提供体制を整備した。 ・がんと診断されたときから症状の段階に応じたケアの実施や、20床に拡充した緩和ケア病棟における療養環境の充実に努めた。 緩和ケア病棟 20床 入院延患者数 6,828人 緩和ケア外来患者数 705人 ・平成27年1月31日、2月1日の2日間、がん診療に携わる医師、医療従事者を対象として、がん性疼痛緩和や身体症状に対する緩和ケア、精神症状に関する緩和ケアを内容とした緩和ケア研修会を開催し、77名の参加があった。	実績に対する評価	A	A		
			課題				
			中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項				22～26年度
		緩和ケア病床を6床増加し、症状の段階に応じたケアの実施や病棟における療養環境の充実に努めた。	A	A			

小項目 16 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 1 質の高い医療の提供
 - (1) 医療機能の充実

中期目標	エ がんセンター 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																											
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																											
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療 ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組 (I) がんセンター ・専門医を育成するため、後期臨床研修を充実する。また、都道府県がん診療連携拠点病院として、県内の医療従事者を対象に研修等を行う。さらに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。 (参考) がん専門研修実績(平成20年度) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>568人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>94人</td> </tr> </table>	区分	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	568人	緩和ケア研修	2回	94人	・都道府県がん診療拠点病院としての診療機能強化に向けて、県内のがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師等を対象とした研修を実施する。また、他の地域がん診療拠点病院等が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加する合同カンファレンスを実施する。 ・がん診療に携わる専門医を育成するため、各診療科で作成されているカリキュラムについて、内容の見直しを行うなど後期臨床研修の充実を図る。 [がん専門研修の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成24年度実績</th> <th colspan="2">平成26年度目標値</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>31回</td> <td>560人</td> <td>30回</td> <td>450人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>67人</td> <td>2回</td> <td>50人</td> </tr> </table> (注) 緩和ケア研修は、2回で1コース	区分	平成24年度実績		平成26年度目標値		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	31回	560人	30回	450人	緩和ケア研修	2回	67人	2回	50人	・がん臨床講座は、目標である30回450名に対し、31回開催し631名の参加者があった。 ・緩和ケア研修会は、目標の50名に対し、77名の参加があった。 ・がん診療に携わる研修医を採用するとともに、専門医の取得を推進するなど、専門医の育成による診療機能強化の充実を図った。 専門医取得 7人 がん専門臨床研修医採用 5人 [がん専門研修の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度目標値</th> <th colspan="2">平成22年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>600人</td> <td>33回</td> <td>648人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>50人</td> <td>2回</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成23年度目標値</th> <th colspan="2">平成23年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>600人</td> <td>31回</td> <td>626人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>50人</td> <td>2回</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成24年度目標値</th> <th colspan="2">平成24年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>600人</td> <td>31回</td> <td>560人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>50人</td> <td>2回</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成25年度目標値</th> <th colspan="2">平成25年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>600人</td> <td>31回</td> <td>436人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>50人</td> <td>2回</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成26年度目標値</th> <th colspan="2">平成26年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>450人</td> <td>31回</td> <td>631人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>50人</td> <td>2回</td> <td>77人</td> </tr> </table> (注) 緩和ケア研修は2回で1コース	区分	平成22年度目標値		平成22年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	600人	33回	648人	緩和ケア研修	2回	50人	2回	55人	区分	平成23年度目標値		平成23年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	600人	31回	626人	緩和ケア研修	2回	50人	2回	67人	区分	平成24年度目標値		平成24年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	600人	31回	560人	緩和ケア研修	2回	50人	2回	42人	区分	平成25年度目標値		平成25年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	600人	31回	436人	緩和ケア研修	2回	50人	2回	40人	区分	平成26年度目標値		平成26年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	450人	31回	631人	緩和ケア研修	2回	50人	2回	77人	実績に対する評価 S	評価委員会の評価 S	がん専門医の育成に努めており、その努力の結果が表れている。 課題 今後もがん医療の均てん化の推進に向け、研修内容の充実や、県内のがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師等を対象とした研修を検討していく。
	区分	回数	参加人数																																																																																																																													
がん臨床講座	30回	568人																																																																																																																														
緩和ケア研修	2回	94人																																																																																																																														
区分	平成24年度実績		平成26年度目標値																																																																																																																													
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																																												
がん臨床講座	31回	560人	30回	450人																																																																																																																												
緩和ケア研修	2回	67人	2回	50人																																																																																																																												
区分	平成22年度目標値		平成22年度実績																																																																																																																													
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																																												
がん臨床講座	30回	600人	33回	648人																																																																																																																												
緩和ケア研修	2回	50人	2回	55人																																																																																																																												
区分	平成23年度目標値		平成23年度実績																																																																																																																													
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																																												
がん臨床講座	30回	600人	31回	626人																																																																																																																												
緩和ケア研修	2回	50人	2回	67人																																																																																																																												
区分	平成24年度目標値		平成24年度実績																																																																																																																													
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																																												
がん臨床講座	30回	600人	31回	560人																																																																																																																												
緩和ケア研修	2回	50人	2回	42人																																																																																																																												
区分	平成25年度目標値		平成25年度実績																																																																																																																													
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																																												
がん臨床講座	30回	600人	31回	436人																																																																																																																												
緩和ケア研修	2回	50人	2回	40人																																																																																																																												
区分	平成26年度目標値		平成26年度実績																																																																																																																													
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																																												
がん臨床講座	30回	450人	31回	631人																																																																																																																												
緩和ケア研修	2回	50人	2回	77人																																																																																																																												

<p>・日本病院会のQ Iプロジェクトに参加し、指定臨床指標データの収集・分析を行い、診療の質を数値化して評価する取組の推進により、医療の質の向上を目指す。</p>	<p>・日本病院会のQ Iプロジェクト及びC Q I研究会に参加し、診療指標の測定・公表及び分析を行うなど、医療の質の向上や均てん化を進めた。</p>				
<p>・全国74のがん診療連携拠点病院が、各病院のD P Cデータを持ち寄り、がん医療のプロセス、経済的評価のベンチマーク分析を行うC Q I (cancer quality initiative) 研究会に参加し、がん医療の質の向上・均てん化を推進する。</p>	<p>・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を推進した。</p> <p>・がん診療に関する専門医を育成することを目的として、がん専門医臨床研修を実施した。</p>	<p>中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項</p>	<p>22～26年度</p>	<p>22～26年度</p>	
		<p>A</p>	<p>A</p>		

小項目 17 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>	
第1	県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
1	質の高い医療の提供
	(1) 医療機能の充実

中期目標	オ	循環器呼吸器病センター
		循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。 また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																														
			自己点数	評価点数	コメント																																																														
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において循環器呼吸器病センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭心症、心筋梗塞に関する治療など総合的な循環器医療を推進する。 ・増加する肺がん治療を強化する。 ・結核医療を継続的に実施する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組(オ) 循環器呼吸器病センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓カテーテル・手術を中心とした循環器疾患治療の実施体制を充実する。 (参考) P C I 症例数実績 (H20年度) 414件 	<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>オ 神奈川県立循環器呼吸器病センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虚血性心疾患や急性心筋梗塞、心不全、不整脈の患者に対し、P C I、カテーテルアブレーション等の症例に合わせた最適な医療を提供する。とりわけ高齢社会を迎え、不整脈のなかでも心房細動を持つ患者が急増していることから、新たに「心房細動センター」を設置し、地域医療機関との連携の下、多岐にわたる専門的治療を実施する。 ・生活習慣病に起因する循環器疾患を予防するため、糖尿病診療に積極的に取り組み、外来等で徹底した運動・食事指導などを行う。 	<p>・狭心症や急性心筋梗塞について、緊急症例に対しては迅速に対応し安定した診療を行った。また、早期社会復帰と再発予防のための心臓リハビリテーションを積極的に取り入れるなど、慢性期の診療にも力を注いだ。</p> <p>・不整脈診療については、平成26年5月に心房細動センターを設置し多職種チームによる「待ち時間ゼロ」の診療体制を構築するとともに、11月にはカテーテルアブレーション専門外来を開設し、適応患者の受け入れ拡大を図った。</p> <p>・平成26年4月より糖尿病専門外来チームを立ち上げ、外来看護師（糖尿病療養指導士）による個別相談や患者向けの教育プログラムの作成など、多職種で糖尿病コントロールや療養指導に取組み、糖尿病診療の充実を図った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>カテーテルアブレーションやP C Iについては一般的な治療法となっており、また複数掲げている目標値のうちカテーテルアブレーションについては目標達成率が63.7%にとどまったが、実績を全体的に判断すればA評価が妥当である。</p>																																																														
						<p>課題</p> <p>当センターの位置する二次保健医療圏内には循環器領域の医療機関が多いことから、特長である不整脈や弁膜症に対する診療実績を積極的に周知し、他の医療機関との差別化を図っていく必要がある。</p>																																																													
						<p>[P C I 症例数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td>281件</td> <td>260件</td> </tr> </table> <p>[カテーテルアブレーション症例数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td>93件</td> <td>80件</td> </tr> </table> <p>[糖尿病外来延べ患者数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td>1,097人</td> <td>1,500人</td> </tr> </table>	平成24年度実績	平成26年度目標値	281件	260件	平成24年度実績	平成26年度目標値	93件	80件	平成24年度実績	平成26年度目標値	1,097人	1,500人	<p>[P C I 症例数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>355件</td> <td>279件</td> <td>300件</td> <td>265件</td> <td>260件</td> </tr> <tr> <td>281件</td> <td>260件</td> <td>281件</td> <td>260件</td> <td>262件</td> </tr> <tr> <td>260件</td> <td>260件</td> <td>260件</td> <td>240件</td> <td></td> </tr> </table> <p>[カテーテルアブレーション症例数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年度実績</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>65件</td> <td>80件</td> <td>87件</td> <td>100件</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>50件</td> <td>52件</td> <td>80件</td> <td>51件</td> <td></td> </tr> </table> <p>[糖尿病外来延べ患者数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <td>平成24年度実績</td> <td>平成25年度実績</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>1,097件</td> <td>1,700件</td> <td>1,500件</td> </tr> <tr> <td>2,095件</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値	実績	目標値	実績	目標値	355件	279件	300件	265件	260件	281件	260件	281件	260件	262件	260件	260件	260件	240件		平成22年度実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値	実績	目標値	実績	目標値	65件	80件	87件	100件	93件	50件	52件	80件	51件		平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度
平成24年度実績	平成26年度目標値																																																																		
281件	260件																																																																		
平成24年度実績	平成26年度目標値																																																																		
93件	80件																																																																		
平成24年度実績	平成26年度目標値																																																																		
1,097人	1,500人																																																																		
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																															
目標値	実績	目標値	実績	目標値																																																															
355件	279件	300件	265件	260件																																																															
281件	260件	281件	260件	262件																																																															
260件	260件	260件	240件																																																																
平成22年度実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																															
目標値	実績	目標値	実績	目標値																																																															
65件	80件	87件	100件	93件																																																															
50件	52件	80件	51件																																																																
平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度																																																																	
1,097件	1,700件	1,500件																																																																	
2,095件																																																																			

・心臓血管外科領域における低侵襲治療を進めるため、弁膜症や大動脈疾患について、小切開手術や大動脈ステントグラフト治療に積極的に取り組む。また、心臓リハビリテーションに力を入れ、手術患者の早期離床・早期退院を目指す。

・心臓手術について、高齢者や再手術など難易な手術症例が多い中で安全で確実な手術を実施した。とくに弁膜症に関しては可能な限り心臓弁の形成術（弁の修繕）などを行い、患者の術後の生活の質向上に努めた。

・大動脈疾患については、従来の開胸手術に加えて、平成26年6月よりステントグラフト治療を開始し、大動脈疾患に対する治療選択肢の拡大を図った。

[心臓手術の実績と目標値]

平成24年度実績	平成26年度目標値
78件	60件

[心臓手術の実績と目標値]

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
目標値	実績								
31件	78件	80件	83件	84件	78件	85件	62件	60件	61件

[大動脈ステントグラフトの目標値]

平成26年度目標値
10件

[大動脈ステントグラフトの実績と目標値]

平成26年度	
目標値	実績
10件	11件

[心臓リハビリテーションの実績と目標値]

平成24年度実績	平成26年度目標値
2,302件	2,500件

[心臓リハビリテーションの実績と目標値]

平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度		平成26年度	
		目標値	実績	目標値	実績
2,208件	2,302件	2,500件	2,523件	2,500件	2,724件

中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項

22～26年度

22～26年度

・医療の高度化や心疾患の複雑化が進むなか、虚血性心疾患や急性心筋梗塞、心不全、不整脈の患者に対し、P C I、カテーテルアブレーション等の症例に合わせた最適な医療の提供に努めた。とりわけ高齢社会を迎え、不整脈のなかでも心房細動を持つ患者が急増していることから、平成26年5月に「心房細動センター」を設置し、地域医療機関との連携の下、多岐にわたる専門的治療を実施している。

A

A

・心臓手術についても、高齢者の難易度の高い弁膜症手術に安定した実績をあげるとともに、小切開による僧帽弁置換術や大動脈ステントグラフト内挿術の導入等、低侵襲治療の取組を進めた。

さらには、心臓リハビリテーションの推進、糖尿病診療の強化など、患者の早期社会復帰や再発予防も含めた総合的な治療体制の充実に取り組んだ。

小項目 19 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 1 質の高い医療の提供
 - (1) 医療機能の充実

中期目標	オ 循環器呼吸器病センター 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。 また、結核医療を継続的に実施すること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																														
			自己点数	評価点数	コメント																														
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内において循環器呼吸器病センターが目指す医療 ・狭心症、心筋梗塞に関する治療など総合的な循環器医療を推進する。 ・増加する肺がん治療を強化する。 ・結核医療を継続的に実施する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組(オ) 循環器呼吸器病センター ・肺がん治療を強化するため、身体への負担が少ない胸腔鏡下手術や化学療法、放射線治療を実施する体制を充実する。	・国内有数の実績を持つ間質性肺炎治療について、患者の増加に対応できるよう診療体制の充実に努めるとともに、包括的呼吸器リハビリテーションを積極的に取り入れ、患者のADL（日常生活動作）改善を図るなど、質の高い医療を継続して提供する。 [間質性肺炎の新規の外来患者数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成24年度実績</td> <td style="width: 50%;">平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td>218人</td> <td>240人</td> </tr> </table> [間質性肺炎の新規の外来患者数の実績と目標値] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 5%;">平成22年度実績</td> <td style="width: 5%;">平成23年度</td> <td style="width: 5%;">平成24年度</td> <td style="width: 5%;">平成25年度</td> <td style="width: 5%;">平成26年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>192人</td> <td>130人</td> <td>176人</td> <td>180人</td> <td>218人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>220人</td> <td>259人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>240人</td> <td>272人</td> </tr> </table>	平成24年度実績	平成26年度目標値	218人	240人	平成22年度実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		目標値	実績	目標値	実績	192人	130人	176人	180人	218人				220人	259人				240人	272人	・胸腔鏡下肺生検による診断、最新の抗線維化薬による治療、包括的呼吸リハビリテーションの導入など質の高い診療を実施し、全国から患者を受け入れた。 ・間質性肺炎診療の中核的な役割を担う医療機関として、全国規模の症例検討会を定期的に開催し、診療レベルの向上に努めるとともに、患者の増加に対応するため、平成27年度の間質性肺炎センターの設置や専門外来の拡大に向けた準備を進めた。	実績に対する評価	S	S	平成25年度にはDPC対象病院において全国1位となる等、間質性肺炎治療について中核的な役割を十分に果たしている。 今後も益々重要性が増していくので、機能強化を果たしながら実績を積み重ねていくことを期待する。
		平成24年度実績	平成26年度目標値																																
		218人	240人																																
平成22年度実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																															
	目標値	実績	目標値	実績																															
192人	130人	176人	180人	218人																															
			220人	259人																															
			240人	272人																															
課題	S	S	間質性肺炎については、患者数の増加への対応と、質の高い医療の継続、さらには全国の診療拠点としての機能強化を図る必要がある。																																
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度	・間質性肺炎治療について、最新の抗線維化薬の導入や、包括的呼吸リハビリテーションを積極的に取り入れ、患者のADL（日常生活動作）改善を図るなど、質の高い医療を提供することにより、県外からも多くの患者を受け入れ、平成25年度にはDPC対象病院において全国1位となるなど、国内有数の実績を上げている。 ・また、全国の医療関係者を招いて症例検討会を開催したり、平成25年7月には全国で2回目となる患者、家族及び医療関係者等を対象とした「間質性肺炎・肺線維症勉強会」を開催するなど、全国の医療機関の先駆けとなっている。	S	S																														

小項目 20 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 1 質の高い医療の提供
 - (1) 医療機能の充実

中期目標	オ 循環器呼吸器病センター 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。 また、結核医療を継続的に実施すること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																					
			自己点数	評価点数	コメント																					
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内において循環器呼吸器病センターが目指す医療 ・狭心症、心筋梗塞に関する治療など総合的な循環器医療を推進する。 ・増加する肺がん治療を強化する。 ・結核医療を継続的に実施する。 イ 中期目標期間内の具体的な取組(オ) 循環器呼吸器病センター ・多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を継続的に実施する。	・結核入院患者に対し、院内DOTSを徹底することにより確実な治癒を図り、多剤耐性結核菌の出現を防止する。また、退院後もDOTSが継続されるよう、地域の保健所などと毎月定期的にカンファレンスを開催するなど、地域ぐるみの支援を推進する。 ・高齢の結核入院患者が増加していることから、スタッフの介護技術の向上や設備備品の充実を図るなど、患者が過ごしやすい療養環境づくりに努める。	・入院患者に対して院内DOTSの徹底を図るとともに、退院患者に対しては患者の状態に合わせたDOTS支援を行うことにより、結核の再発と多剤耐性結核の発生防止に努めた。 ・外科的処置を行う患者や精神疾患のある患者が増えていることから、平成26年10月に入院基本料10対1看護基準を取得し、より手厚い看護配置を行うなど結核入院患者の療養環境の改善を図った。 ・結核菌排菌患者の手術時における空気感染対策を強化するため、ポータブル陰圧装置を導入し、結核専門医療機関としての体制整備に努めた。 (参考) [結核病棟延入院患者数の推移] (下段は1日当たり) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> <tr> <td>14,136人 (38.7人)</td> <td>13,478人 (36.8人)</td> <td>12,715人 (34.8人)</td> <td>12,870人 (35.3人)</td> <td>11,380人 (31.2人)</td> </tr> </table> (参考) [多剤耐性結核患者の推移] <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	14,136人 (38.7人)	13,478人 (36.8人)	12,715人 (34.8人)	12,870人 (35.3人)	11,380人 (31.2人)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	2人	2人	0人	1人	1人	実績に対する評価	A	A	結核医療について、公立病院としての役割を果たしている。
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																			
			14,136人 (38.7人)	13,478人 (36.8人)	12,715人 (34.8人)	12,870人 (35.3人)	11,380人 (31.2人)																			
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																						
2人	2人	0人	1人	1人																						
課題	結核患者の高齢化が進み、認知症や寝たきりで日常生活援助を必要とする患者が増加していることから、介護技術の向上や合併症への対応が必要となっている。																									
中期目標期間(22~26年度)に関する特記事項		22~26年度	22~26年度																							
・結核入院患者に対して院内DOTSを徹底して実施し、確実な治癒を図り、多剤耐性結核菌の出現防止に努めた。また、退院後もDOTSが継続されるよう、地域の保健所などと毎月定期的にカンファレンスを開催するなど、地域ぐるみの支援を行った。 ・結核患者の高齢化が進み、外科的処置を行う患者や精神疾患のある患者が増えていることから、平成26年10月に入院基本料10対1看護基準を取得し、より手厚い看護配置を行うなど結核入院患者の療養環境の改善を図った。			A	A																						

小項目 2 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実

中期目標	
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価				
			自己点数	評価点数	コメント				
(1) 医療機能の充実 ウ 医療機能を評価する指標の設定 病院の医療機能を評価するため、年度計画に病院ごとの指標を明示し、その実績を公表する。	(1) 医療機能の充実 カ 医療機能を評価する指標の設定 全病院が取り組む「病院機構の共通指標（別表第1）」及び各病院の持つ専門性、地域的な特徴などを考慮して取り組む「各病院の専門性・特性に応じた指標（別表第2）」を設定し、その実績を測定、分析し、取組の改善を行うことにより、医療の質の向上を目指す。 (7) 病院機構の共通指標 8指標 【患者サービス（患者の視点に立った病院経営）】 ・患者満足度の把握（患者満足度調査） ・地域医療連携室等の相談件数 【標準的医療の推進】 ・クリティカルパスの設定数 ・退院サマリーの2週間以内完成率 【医療安全・予防医療の取組】 ・ヒヤリ・ハット事例及び医療事故の発生・報告状況 ・褥瘡患者発生率 【人材育成と教育】 ・新卒看護師離職率 ・専門・認定看護師数	1 患者満足度把握（患者満足度調査） 2 地域連携室等の相談件数 3 クリティカルパスの設定数 4 退院サマリーの2週間以内完成率 5 ヒヤリ・ハット事例及び医療事故の発生・報告状況 6 褥瘡患者発生率 7 新卒看護師離職率 8 専門・認定看護師数 別紙のとおり	実績に対する評価		A	A	病院の役割が治療する機関から、早期に在宅へとシフトさせる機関へと変わりつつある現状に鑑みると、退院サマリーは可能な限り早期に作成することが望ましい。 褥瘡については発生件数を最小限に抑えられるよう、引き続き防止策に努めることを期待する。		
			課題					A	A
			今後も県立病院として高度専門医療や特性を生かした医療を推進するため、指標の公表及び改善を行い、医療機能の充実に努める。						
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度					
平成23年度より、全病院が共通した指標及び各病院の専門性・特性に応じた指標を設定し、実績を公表するとともに、客観的な評価を行うことで医療の質の向上に努めた。			A	A					

1 患者満足度把握（患者満足度調査）

[満足度調査結果]

平成22年度	入院		外来	
	回答総数	満足度	回答総数	満足度
足柄上病院	125人	95.6%	450人	51.0%
こども医療センター	216人	79.0%	1,180人	53.3%
芹香病院	136人	65.5%	272人	62.0%
せりがや病院	44人	66.5%	-	-
がんセンター	285人	91.5%	787人	83.1%
循環器呼吸器病センター	136人	88.2%	215人	85.6%

「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。
 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。

平成23年度	入院			外来		
	満足評価	回答総数	満足度	満足評価	回答総数	満足度
足柄上病院	95人	99人	96.0%	171人	221人	77.4%
こども医療センター	129人	160人	80.6%	1,012人	1,298人	78.0%
芹香病院	79人	125人	63.2%	156人	301人	51.8%
せりがや病院	31人	43人	72.1%	131人	165人	79.4%
がんセンター	261人	295人	88.5%	630人	765人	82.4%
循環器呼吸器病センター	183人	210人	87.1%	365人	412人	88.6%

「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。
 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。

平成24年度	入院				外来			
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数
足柄上病院	93人	98人	94.9%	200	217人	258人	84.1%	390
こども医療センター	135人	158人	85.4%	313	723人	972人	74.4%	2,000
芹香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345
せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112
がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843
循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600

「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。
 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。

平成25年度	入院				外来			
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数
足柄上病院	73人	78人	93.6%	200	187人	226人	82.7%	400
こども医療センター	178人	193人	92.2%	352	723人	913人	79.2%	1,717
芹香病院	82人	121人	67.8%	158	138人	280人	49.3%	280
せりがや病院	30人	35人	85.7%	39	123人	139人	88.5%	159
がんセンター	313人	332人	94.3%	344	720人	789人	91.3%	876
循環器呼吸器病センター	161人	178人	90.4%	300	362人	405人	89.4%	600

「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。
 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。

平成26年度	入院				外来			
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数
足柄上病院	69人	75人	92.0%	200	205人	243人	84.4%	400
こども医療センター	129人	132人	97.7%	328	840人	863人	97.3%	1,936
精神医療センター	110人	163人	67.5%	209	157人	250人	62.8%	276
がんセンター	324人	348人	93.1%	670	798人	887人	90.0%	1,000
循環器呼吸器病センター	188人	205人	91.7%	400	271人	315人	86.0%	600

「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。
 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。

2 地域連携室等の相談件数

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	11,473件	11,264件	11,439件	10,793件	13,366件
こども医療センター	24,130件	21,933件	27,137件	15,751件	16,768件
精神医療センター	4,863件	5,070件	5,315件	4,661件	4,586件
（芹香病院）	4,593件	4,679件	4,817件	4,208件	4,173件
（せりがや病院）	270件	391件	498件	453件	413件
がんセンター	9,825件	9,354件	8,352件	7,927件	8,787件
循環器呼吸器病センター	8,284件	11,416件	14,497件	13,786件	11,513件
計	58,575件	59,037件	66,740件	52,918件	55,020件

3 クリティカルバスの設定数

病院名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度			
					新規	改定（見直し）	廃止	件数
足柄上病院	66件	70件	71件	73件	3件	2件	0件	76件
こども医療センター	28件	29件	89件	88件	0件	27件	1件	87件
精神医療センター	5件	6件	7件	9件	0件	1件	0件	9件
（芹香病院）	3件	3件	3件	4件	0件	1件	0件	4件
（せりがや病院）	2件	3件	4件	5件	0件	0件	0件	5件
がんセンター	50件	32件	37件	47件	14件	16件	0件	61件
循環器呼吸器病センター	18件	20件	21件	21件	1件	3件	0件	22件
計	167件	157件	225件	238件	18件	49件	1件	255件

4 退院サマリーの2週間以内完成率

区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	分子 担当医が退院後 2週間以内にサ マリーを完成し た数	分母 退院患者数	測定値 2週間以内 完成率									
足柄上病院	5,100件	6,046人	84.4%	5,178件	6,211人	83.4%	5,197件	6,244人	83.2%	5,027件	6,254人	80.4%
こども医療センター	5,783件	6,879人	84.1%	5,323件	7,297人	72.9%	5,671件	7,316人	77.5%	6,884件	7,600人	90.6%
精神医療センター	865件	947件	91.3%	919件	993件	92.5%	735件	897件	81.9%	763件	875件	87.2%
（芹香病院）	604件	607人	99.5%	609件	612人	99.5%	572件	577人	99.1%	627件	671人	93.4%
（せりがや病院）	261件	340人	76.8%	310件	381人	81.4%	163件	320人	50.9%	136件	204人	66.7%
がんセンター	7,126件	7,647人	93.2%	7,297件	8,449人	86.4%	7,671件	8,693人	88.2%	8,665件	9,865人	87.8%
循環器呼吸器病センター	3,945件	4,226人	93.4%	3,984件	4,334人	91.9%	3,941件	4,346人	90.7%	3,762件	4,295人	87.6%

精神医療センターは平成26年12月1日に統合したため、平成26年度の実績について、芹香病院の件数は、4月から11月までの芹香病院と12月以降の精神医療センターの実績を計上し、せりがや病院の件数は4月から11月までのせりがや病院の実績を計上している。
 （以下の表についても同様）

5 ヒヤリ・ハット事例及び医療事故の発生・報告状況

[ヒヤリ・ハット事例、医療事故の報告・報告件数実績]

平成23年度	ヒヤリ・ハット事例				医療事故				合計	
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	小計	レベル3b	レベル4	レベル5		小計
足柄上病院	276件	1,158件	311件	25件	1,770件	4件	0件	0件	4件	1,774件
こども医療センター	295件	1,898件	88件	25件	2,306件	7件	0件	0件	7件	2,313件
精神医療センター (芹香病院)	88件	368件	84件	20件	560件	4件	0件	0件	4件	564件
(せりがや病院)	53件	261件	65件	17件	396件	4件	0件	0件	4件	400件
がんセンター	35件	107件	19件	3件	164件	0件	0件	0件	0件	164件
がんセンター	292件	1,369件	79件	14件	1,754件	4件	0件	0件	4件	1,758件
循環器呼吸器病センター	199件	818件	248件	16件	1,281件	3件	0件	0件	3件	1,284件
計	1,150件	5,611件	810件	100件	7,671件	22件	0件	0件	22件	7,693件

平成24年度	ヒヤリ・ハット事例				医療事故				合計	
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	小計	レベル3b	レベル4	レベル5		小計
足柄上病院	315件	1,312件	214件	37件	1,878件	2件	0件	0件	2件	1,880件
こども医療センター	278件	1,690件	123件	60件	2,151件	3件	0件	0件	3件	2,154件
精神医療センター (芹香病院)	126件	531件	80件	15件	752件	2件	0件	0件	2件	754件
(せりがや病院)	97件	429件	61件	13件	600件	2件	0件	0件	2件	602件
がんセンター	29件	102件	19件	2件	152件	0件	0件	0件	0件	152件
がんセンター	272件	1,546件	86件	17件	1,921件	2件	0件	0件	2件	1,923件
循環器呼吸器病センター	137件	820件	257件	30件	1,244件	3件	0件	0件	3件	1,247件
計	1,128件	5,899件	760件	159件	7,946件	12件	0件	0件	12件	7,958件

平成25年度	ヒヤリ・ハット事例				医療事故				合計	
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	小計	レベル3b	レベル4	レベル5		小計
足柄上病院	180件	1,077件	228件	48件	1,533件	6件	0件	0件	6件	1,539件
こども医療センター	333件	1,988件	107件	56件	2,484件	3件	0件	0件	3件	2,487件
精神医療センター (芹香病院)	124件	486件	97件	16件	723件	1件	0件	0件	1件	724件
(せりがや病院)	84件	361件	72件	14件	531件	1件	0件	0件	1件	532件
がんセンター	40件	125件	25件	2件	192件	0件	0件	0件	0件	192件
がんセンター	333件	1,700件	103件	28件	2,164件	4件	0件	0件	4件	2,168件
循環器呼吸器病センター	303件	814件	198件	9件	1,324件	0件	0件	0件	0件	1,324件
計	1,273件	6,065件	733件	157件	8,228件	14件	0件	0件	14件	8,242件

平成26年度	ヒヤリ・ハット事例				医療事故				合計	
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	小計	レベル3b	レベル4	レベル5		小計
足柄上病院	242件	1,132件	216件	16件	1,606件	2件	0件	0件	2件	1,608件
こども医療センター	295件	1,533件	166件	42件	2,036件	4件	0件	0件	4件	2,040件
精神医療センター	153件	482件	121件	10件	766件	0件	0件	0件	0件	766件
がんセンター	393件	2,085件	161件	8件	2,647件	3件	0件	0件	3件	2,650件
循環器呼吸器病センター	320件	891件	203件	19件	1,433件	1件	0件	0件	1件	1,434件
計	1,403件	6,123件	867件	95件	8,488件	10件	0件	0件	10件	8,498件

6 褥瘡患者発生率

区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	分子	分母	測定値									
新規褥瘡発生患者数(新規褥瘡発生件数)												
入院患者数(延べ入院患者数)												
褥瘡発生率												
足柄上病院	76件	5,960人	1.28%	61件	6,384人	0.96%	83件	6,396人	1.30%	70件	6,418人	1.09%
こども医療センター	102件	127,883人	0.08%	122件	126,949人	0.10%	163件	129,030人	0.13%	204件	127,991人	0.16%
精神医療センター (芹香病院)	6件	2,974人	0.20%	8件	2,887人	0.28%	8件	3,127人	0.26%	4件	4,119人	0.10%
(せりがや病院)	1件	359人	0.28%	0件	426人	0.00%	0件	349人	0.00%	4件	3,791人	0.11%
がんセンター	78件	10,833人	0.72%	114件	11,905人	0.96%	93件	12,017人	0.77%	124件	13,394人	0.93%
循環器呼吸器病センター	29件	4,238人	0.68%	37件	4,322人	0.86%	30件	4,396人	0.68%	52件	4,330人	1.20%

こども医療センターのみ、分子は新規褥瘡発生件数、分母は延べ入院患者数

7 新卒看護師離職率

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
病院機構の新卒看護師採用人数	93人	122人	127人	112人	109人
病院機構の新卒看護師退職人数	8人	14人	7人	6人	12人
病院機構の新卒看護師離職率	8.6%	11.5%	5.5%	5.4%	11.0%
神奈川県の新卒看護師平均離職率	8.8%	8.8%	8.8%	8.1%	-
全国の新卒看護師平均離職率	8.1%	7.5%	7.9%	7.5%	-

8 専門・認定看護師数

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
専門看護師	10人	15人	21人	23人	22人
小児看護	4人	5人	6人	6人	6人
がん看護	6人	7人	11人	12人	12人
家族看護	0人	2人	2人	2人	2人
慢性疾患看護	0人	1人	1人	1人	0人
精神看護	0人	0人	1人	2人	2人
認定看護管理者	4人	3人	5人	3人	8人
認定看護師	53人	51人	52人	56人	61人
皮膚・排泄ケア	5人	6人	6人	6人	6人
集中ケア	8人	8人	8人	8人	8人
がん性疼痛看護	17人	16人	15人	16人	16人
がん化学療法	3人	3人	4人	4人	4人
乳がん看護	1人	1人	1人	1人	2人
緩和ケア	7人	6人	4人	4人	6人
感染管理	7人	7人	7人	8人	8人
糖尿病看護	1人	0人	2人	2人	2人
小児救急看護	2人	2人	2人	2人	2人
新生児集中ケア	2人	2人	2人	2人	2人
救急看護	0人	0人	1人	1人	1人
放射線療法看護	0人	0人	0人	0人	1人
手術看護	0人	0人	0人	0人	1人
摂食・嚥下障害看護	0人	0人	0人	1人	1人
慢性心不全看護	0人	0人	0人	1人	1人
精神科認定看護師	5人	5人	5人	9人	7人
計	72人	74人	83人	91人	98人

(イ) 各病院の専門性・特性に応じた指標 18指標

【足柄上病院】

- ・糖尿病患者の血糖コントロールHbA1c < 6.9
- ・心筋梗塞の治療開始時間
- ・地域がん登録の登録率

【こども医療センター】

- ・1歳未満乳児外科施設基準対象手術件数
- ・ハイリスク妊娠取扱数
- ・患者・家族の意見を反映させた看護計画実施率
- ・在宅療養指導実施件数

【芹香病院】

- ・医療観察法の通院医療延患者数
- ・全県における救急病棟の措置入院の受入率
- ・外来患者への訪問看護延件数

【せりがや病院】

- ・初診患者の紹介率

【がんセンター】

- ・主たる手術の包括算定の対象入院期間 以内の割合
- ・歯科口腔ケアの取組件数
- ・英文原著論文数及びそのインパクトファクター
- ・専門看護外来患者数

【循環器呼吸器病センター】

- ・急性心筋梗塞患者における病院到着からPCIによる再開通までの時間
- ・心臓MRI検査件数
- ・リハビリテーション実施件数

- 9 糖尿病患者の血糖コントロールHbA1c < 6.9
[足柄上病院]
実績値 58.3% (目標値 45%)
(分子)HbA1c < 6.9の患者数 609人
(分母)インスリン又は経口血糖降下薬を処方されている患者数 1,044人
- 10 退院患者の在宅復帰率
[足柄上病院]
実績値 86.5% (目標値 75%)
(分子)自宅退院した患者数 4,898人
(分母)退院患者数(死亡退院を除く)5,660人
- 11 地域がん登録の登録率
[足柄上病院]
実績値 96.8% (目標値 95%)
(分子)地域がん登録をしたがん患者数 424人
(分母)全がん治療患者数 438人
- 12 1歳未満乳児外科施設基準対象手術件数
[こども医療センター]
実績値 64件 (目標値 60件)
- 13 ハイリスク妊娠取扱率
[こども医療センター]
実績値 209件 (目標値 170件)
- 14 患者・家族の意見を反映させた看護計画実施率
[こども医療センター]
実績値 95.4% (目標値 85%)
(分子)患者・家族の意見を反映させた看護計画の実施患者数 4,055人
(分母)クリティカルパス適用及び一日入院患者を除いた入院実患者数 4,252人
- 15 在宅療養指導実施件数
[こども医療センター]
実績値 678件 (目標値 650件)

- 16 医療観察法の通院医療延患者数
[精神医療センター 芹香病院]
実績値 584人 (目標値 910人)
- 17 全県における救急病棟の措置入院の受入率
[精神医療センター 芹香病院]
実績値 17.4% (目標値 16%)
(分子) 1年間の措置入院延件数 124件
(分母) 1年間の全県の延措置入院件数 712件
- 18 外来患者への訪問看護延件数
[精神医療センター 芹香病院]
実績値 2,332件 (目標値 2,500件)
- 19 初診患者の紹介率
[精神医療センター せりがや病院]
実績値 33.5% (目標値 40%)
(分子) 1年間の紹介患者延数 140人
(分母) 1年間の初診患者延数 418人
- 20 主たる手術の包括算定の対象入院期間 以内の割合
[がんセンター]
肺の悪性腫瘍
実施値 96.8% (目標値 90%以上)
(分子) 包括算定の対象入院期間 (13日)
以内の手術数 332件
(分母) 手術数 343件

胃の悪性腫瘍
実施値 97.3% (目標値 90%以上)
(分子) 包括算定の対象入院期間 (20日)
以内の手術数 173件
(分母) 手術数 178件

乳房の悪性腫瘍
実施値 76.9% (目標値 70%以上)
(分子) 包括算定の対象入院期間 (8日)
以内の手術数 203件
(分母) 手術数 264件

小項目 2 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

(2) 医療機器・施設整備の推進

医療機器については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展に対応するため、費用対効果等を総合的に勘案して計画的に更新、整備に努めること。

また、病院施設については、老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、今後担うべき診療機能にふさわしい整備を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
(2) 医療機器・施設整備の推進 ア 医療機器整備の推進 県民の医療ニーズ、医療技術の進展に対応するため、計画的に3次元照射が可能な放射線治療装置、全身用コンピュータ断層撮影装置等の医療機器を整備する。	(2) 医療機器・施設整備の推進 ア 医療機器整備の推進 ・高度化・多様化する医療ニーズに的確に対応するため、現有医療機器の機能と老朽化の度合いを勘案した医療機器の整備、更新を行う。 ・新規に購入した高額医療機器の稼働状況について検証を行う。	<p>【高額医療機器】</p> <p>[足柄上病院] 磁気共鳴断層撮影装置</p> <p>[こども医療センター] コンピュータ断層撮影装置(X線CTスキャナー) 自動細胞分離解析装置(セルソーター)</p> <p>[精神医療センター] コンピュータ断層撮影装置(X線CTスキャナー)</p> <p>[がんセンター] 自動細胞分離解析装置(セルソーター)</p> <p>[循環器呼吸器病センター] X線血管撮影装置(パイプレン)</p> <p>【通常医療機器】</p> <p>[足柄上病院] セントラルモニター 等</p> <p>[こども医療センター] MRI対応生体情報モニター 等</p> <p>[精神医療センター] 近赤外光イメージング装置 等</p> <p>[がんセンター] 内視鏡下手術用ビデオシステム 等</p> <p>[循環器呼吸器病センター] 生化学・免疫自動分析装置 等</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>医療技術の進展に対応していくため、医療機器の整備、更新を計画に基づき実施した。</p>	A	A	
			<p>課題</p> <p>費用対効果を勘案した効率的な購入に努める必要がある。</p>			
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項				22～26年度	22～26年度	
10年を経過した医療機器の割合は、平成21年度末では49.1%であったのに対して、平成26年度末では11.3%となり、計画的に医療機器の更新を行った。				A	A	

小項目 2 3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 質の高い医療の提供
	(2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標	ア がんセンターの総合整備の推進 がんセンターについては、都道府県がん診療連携拠点病院の役割を果たすため、平成25年度中の診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を着実に推進すること。 また、がんセンターの機能充実を図るため、平成26年度からの治療開始を目指し、重粒子線治療装置の導入を進めること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価											
			自己点数	評価点数	コメント											
(2) 医療機器・施設整備の推進 イ 施設整備の推進 (7) がんセンター総合整備の推進 都道府県がん診療連携拠点病院として、本県におけるがん医療の中心的な役割を担うため、平成25年度中の新病院開業・診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を計画的に推進する。 また、平成26年度からの治療開始を目指して、重粒子線治療装置の導入を進める。	(2) 医療機器・施設整備の推進 イ 施設整備の推進 (7) がんセンター総合整備の推進 ・がんセンターの機能充実を図るための総合的な整備の一つである重粒子線治療装置の導入について、平成27年中の治療開始を目指して、建屋の新築工事及び装置製造を行う。	・重粒子線治療施設については、平成27年12月の治療開始に向けて、平成26年10月に建屋の引き渡しを受け、業務フローの作成や業者との調整を計画的に進めた。スタッフについては、先行して治療を行っている施設に医師、技師を派遣し、人材育成を推進した。 ・装置については、加速器等の納入が終わり、スキャンニング照射までの試験を完了した。 ・重粒子線治療の開始に向けて、先行して治療を行っている施設に医師、技師を派遣し人材育成に努めた。 派遣先：放射線医学総合研究所 職 種：医師 1名（H25年度 1名） 放射線技師 2名（H25年度 1名） ・重粒子線治療に関する県民向け広報として、平成27年2月に講演会を開催した。 日 時 平成27年2月22日（土） 場 所 はまぎんホール 参加人員 465人 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p style="margin: 0;">【重粒子線治療施設概要】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px solid black;">建築面積</td><td style="border: 1px solid black;">3009.12㎡</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;">延床面積</td><td style="border: 1px solid black;">6999.47㎡</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;">階数</td><td style="border: 1px solid black;">地上2階、地下1階建</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;">構造</td><td style="border: 1px solid black;">鉄筋コンクリート造</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black;">治療室数</td><td style="border: 1px solid black;">4治療室、6治療ポスト</td></tr> </table> </div>	建築面積	3009.12㎡	延床面積	6999.47㎡	階数	地上2階、地下1階建	構造	鉄筋コンクリート造	治療室数	4治療室、6治療ポスト	実績に対する評価 平成27年12月の治療開始に向けて、施設整備や人材育成等を計画に従い推進した。	A	A	委託料の増等が重なることの無いよう、着実な総合整備の推進を期待する。
			建築面積	3009.12㎡												
			延床面積	6999.47㎡												
階数	地上2階、地下1階建															
構造	鉄筋コンクリート造															
治療室数	4治療室、6治療ポスト															
課題	重粒子線治療施設の確実な治療開始に向けて、適用症例の検討、人材育成、業務フローの構築及び装置の製造等を着実に行う必要がある。 また、集患を目的とした広報を実施していく必要がある。															
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度												
PFI事業による総合整備を推進し、平成25年11月に新病院での診療を開始した。また、平成27年12月からの重粒子線治療開始に向けて整備を進めた。			A	A												

小項目 2 4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標	イ 精神医療センターの総合整備の推進 精神医療センターについては、医療観察法等、新たな精神科医療への対応や、建築後約40年経過し老朽化が進んでいること等の課題があることから、 芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備計画の推進に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																								
			自己点数	評価点数	コメント																								
<p>(2) 医療機器・施設整備の推進</p> <p>イ 施設整備の推進</p> <p>(1) 精神医療センター総合整備の推進</p> <p>医療観察法指定入院医療機関としての病棟整備をはじめ、新たな精神科医療への対応を図るため、芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備を推進する。</p> <p>(ウ) その他の施設整備の推進</p> <p>老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、担うべき診療機能にふさわしい整備を進める。</p>	<p>(2) 医療機器・施設整備の推進</p> <p>イ 施設整備の推進</p> <p>(1) 精神医療センター総合整備の推進</p> <p>・平成24年度から建設を進めている新病院を平成26年8月に完成させ、12月から診療を開始する。</p> <p>・新病院の開設に合わせ、思春期医療などの新たな精神科医療や精神科救急医療の充実強化に必要な医療機器、精神科医療において求められる良好な療養環境の確保に必要な備品等を重点的に整備する。</p>	<p>・精神医療センター総合整備計画に基づき、施設の老朽化や新たな精神科医療への対応、さらには芹香病院とせりがや病院の統合による効率的な病院運営を図るため、建築工事を着実に進め、平成26年12月に新病院を開院した。</p> <p>・芹香病院とせりがや病院の統合など新病院の円滑な運営体制について、院内に設置した総合運営検討会議等で検討を進めたほか、医療の充実強化に必要な医療機器や良好な環境の確保に必要な備品等を重点的に整備した。</p> <p>・新病院への移転にあたっては、詳細な検討やリハールなどを行い、患者を安全に移送した。</p> <p>・両病院の統合を円滑に行い、順調に運営を始めることができた。</p>	実績に対する評価		A	A																							
			課題																										
			<p>【新病院（本館）の概要】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>病床数</td><td>8 病棟290床</td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>5,570.52㎡</td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>18,462.53㎡</td></tr> <tr><td>建物構造</td><td>鉄筋コンクリート造 5階建</td></tr> <tr><td></td><td>免震構造、太陽光発電設備を設置</td></tr> </table>					病床数	8 病棟290床	建築面積	5,570.52㎡	延床面積	18,462.53㎡	建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建		免震構造、太陽光発電設備を設置												
病床数	8 病棟290床																												
建築面積	5,570.52㎡																												
延床面積	18,462.53㎡																												
建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建																												
	免震構造、太陽光発電設備を設置																												
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項		22～26年度	22～26年度																										
<p>特徴</p> <p>【精神医療センター総合整備の概要】</p> <p>専門医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期医療や医療観察法医療などの新たな機能 ・ ストレスケア医療や依存症医療などの専門医療の提供 ・ 精神科救急医療の充実・強化 <p>外来医療の充実と地域生活支援 臨床研究の充実と地域生活支援</p> <p>社会復帰に向けた各種リハビリ機能の充実 吹き抜けに樹木を配置するなど院内に居ながら風と緑を感じられる環境</p> <p>（病棟構成）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>病棟名</th> <th>病床数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2階 2 A 病棟（身体ケア）</td><td>35</td></tr> <tr><td>2階 2 B 病棟（依存症）</td><td>45</td></tr> <tr><td>3階 3 A 病棟（地域移行支援）</td><td>40</td></tr> <tr><td>3階 3 B 病棟（ストレスケア）</td><td>30</td></tr> <tr><td>4階 4 A 病棟（高度ケア）</td><td>40</td></tr> <tr><td>4階 4 B 病棟（思春期）</td><td>30</td></tr> <tr><td>5階 5 A 病棟（救急A）</td><td>30</td></tr> <tr><td>5階 5 B 病棟（救急B）</td><td>40</td></tr> <tr><td>別棟 F 病棟（医療観察法）</td><td>33</td></tr> <tr><td>合計</td><td>323</td></tr> </tbody> </table>		病棟名	病床数	2階 2 A 病棟（身体ケア）	35	2階 2 B 病棟（依存症）	45	3階 3 A 病棟（地域移行支援）	40	3階 3 B 病棟（ストレスケア）	30	4階 4 A 病棟（高度ケア）	40	4階 4 B 病棟（思春期）	30	5階 5 A 病棟（救急A）	30	5階 5 B 病棟（救急B）	40	別棟 F 病棟（医療観察法）	33	合計	323	22～26年度		A	A		
病棟名	病床数																												
2階 2 A 病棟（身体ケア）	35																												
2階 2 B 病棟（依存症）	45																												
3階 3 A 病棟（地域移行支援）	40																												
3階 3 B 病棟（ストレスケア）	30																												
4階 4 A 病棟（高度ケア）	40																												
4階 4 B 病棟（思春期）	30																												
5階 5 A 病棟（救急A）	30																												
5階 5 B 病棟（救急B）	40																												
別棟 F 病棟（医療観察法）	33																												
合計	323																												

小項目 2 5 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(3) 地域医療連携の強化

中期
目標

(3) 地域医療連携の強化

地域の医療機関と適切な役割分担に基づく連携を図り、県全体として効率的な医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																																																																																																																																																						
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>(3) 地域医療連携の強化</p> <p>県全体に効率的な医療を提供するため、高度・専門医療を提供する医療機関として紹介・逆紹介を推進するとともに、地域連携クリティカルパスの充実に取り組む。</p> <p>(参考) 紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,528件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>6,772件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>397件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>240件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>4,838件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,613件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 逆紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3,606件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>3,450件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>357件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,586件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,318件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度実績	足柄上病院	4,528件	こども医療センター	6,772件	芹香病院	397件	せりがや病院	240件	がんセンター	4,838件	循環器呼吸器病センター	3,613件	病院名	平成20年度実績	足柄上病院	3,606件	こども医療センター	3,450件	芹香病院	357件	せりがや病院	200件	がんセンター	1,586件	循環器呼吸器病センター	3,318件	<p>(3) 地域医療連携の強化</p> <p>・各病院において、地域医療機関等との紹介・逆紹介を推進するため、地域連携クリティカルパスの取組、医療従事者向け公開講座（医療セミナー）の開催等により、地域医療連携の強化に取り組む。</p> <p>(参考) [紹介件数の及び紹介率の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>7,114件</td> <td>38.1%</td> <td>7,115件</td> <td>37.4%</td> <td>7,460件</td> <td>38.4%</td> <td>7,943件</td> <td>42.4%</td> <td>8,277件</td> <td>45.1%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,084件</td> <td>95.4%</td> <td>7,221件</td> <td>95.7%</td> <td>7,494件</td> <td>96.7%</td> <td>7,662件</td> <td>97.3%</td> <td>7,470件</td> <td>98.5%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>595件</td> <td>-</td> <td>539件</td> <td>-</td> <td>607件</td> <td>-</td> <td>545件</td> <td>-</td> <td>542件</td> <td>44.8%</td> </tr> <tr> <td>(芹香病院)</td> <td>335件</td> <td>47.1%</td> <td>297件</td> <td>52.4%</td> <td>322件</td> <td>53.8%</td> <td>289件</td> <td>50.6%</td> <td>402件</td> <td>49.8%</td> </tr> <tr> <td>(せりがや病院)</td> <td>260件</td> <td>35.4%</td> <td>242件</td> <td>34.9%</td> <td>285件</td> <td>38.3%</td> <td>256件</td> <td>35.7%</td> <td>140件</td> <td>33.5%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>5,195件</td> <td>99.0%</td> <td>5,079件</td> <td>99.2%</td> <td>5,478件</td> <td>99.8%</td> <td>5,964件</td> <td>99.2%</td> <td>6,461件</td> <td>99.2%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>4,550件</td> <td>71.7%</td> <td>4,200件</td> <td>69.2%</td> <td>4,052件</td> <td>70.1%</td> <td>4,319件</td> <td>69.1%</td> <td>4,328件</td> <td>71.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24,538件</td> <td>-</td> <td>24,154件</td> <td>-</td> <td>25,091件</td> <td>-</td> <td>26,433件</td> <td>-</td> <td>27,078件</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) [逆紹介件数の及び逆紹介率の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>2,768件</td> <td>16.1%</td> <td>2,889件</td> <td>16.3%</td> <td>3,424件</td> <td>19.1%</td> <td>4,304件</td> <td>25.1%</td> <td>4,497件</td> <td>26.7%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>4,061件</td> <td>54.7%</td> <td>4,325件</td> <td>57.3%</td> <td>4,880件</td> <td>62.9%</td> <td>5,166件</td> <td>65.6%</td> <td>5,622件</td> <td>72.3%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>563件</td> <td>-</td> <td>701件</td> <td>-</td> <td>595件</td> <td>-</td> <td>525件</td> <td>-</td> <td>521件</td> <td>42.5%</td> </tr> <tr> <td>(芹香病院)</td> <td>352件</td> <td>49.5%</td> <td>481件</td> <td>84.8%</td> <td>351件</td> <td>58.7%</td> <td>255件</td> <td>44.7%</td> <td>336件</td> <td>41.6%</td> </tr> <tr> <td>(せりがや病院)</td> <td>211件</td> <td>28.7%</td> <td>220件</td> <td>31.7%</td> <td>244件</td> <td>32.8%</td> <td>270件</td> <td>37.6%</td> <td>185件</td> <td>44.3%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,746件</td> <td>33.3%</td> <td>1,518件</td> <td>29.7%</td> <td>1,508件</td> <td>27.5%</td> <td>2,358件</td> <td>39.2%</td> <td>3,680件</td> <td>56.5%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3,279件</td> <td>51.7%</td> <td>3,730件</td> <td>61.4%</td> <td>4,244件</td> <td>73.4%</td> <td>3,982件</td> <td>63.7%</td> <td>4,232件</td> <td>70.1%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,417件</td> <td>-</td> <td>13,163件</td> <td>-</td> <td>14,651件</td> <td>-</td> <td>16,335件</td> <td>-</td> <td>18,552件</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>精神医療センターは平成26年12月1日に統合したため、平成26年度の実績について、芹香病院の件数は、4月から11月までの芹香病院と12月以降の精神医療センターの実績を計上し、せりがや病院の件数は4月から11月までのせりがや病院の実績を計上している。（以降についても同様）</p>	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		紹介件数	紹介率	足柄上病院	7,114件	38.1%	7,115件	37.4%	7,460件	38.4%	7,943件	42.4%	8,277件	45.1%	こども医療センター	7,084件	95.4%	7,221件	95.7%	7,494件	96.7%	7,662件	97.3%	7,470件	98.5%	精神医療センター	595件	-	539件	-	607件	-	545件	-	542件	44.8%	(芹香病院)	335件	47.1%	297件	52.4%	322件	53.8%	289件	50.6%	402件	49.8%	(せりがや病院)	260件	35.4%	242件	34.9%	285件	38.3%	256件	35.7%	140件	33.5%	がんセンター	5,195件	99.0%	5,079件	99.2%	5,478件	99.8%	5,964件	99.2%	6,461件	99.2%	循環器呼吸器病センター	4,550件	71.7%	4,200件	69.2%	4,052件	70.1%	4,319件	69.1%	4,328件	71.7%	計	24,538件	-	24,154件	-	25,091件	-	26,433件	-	27,078件	-	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		逆紹介件数	逆紹介率	足柄上病院	2,768件	16.1%	2,889件	16.3%	3,424件	19.1%	4,304件	25.1%	4,497件	26.7%	こども医療センター	4,061件	54.7%	4,325件	57.3%	4,880件	62.9%	5,166件	65.6%	5,622件	72.3%	精神医療センター	563件	-	701件	-	595件	-	525件	-	521件	42.5%	(芹香病院)	352件	49.5%	481件	84.8%	351件	58.7%	255件	44.7%	336件	41.6%	(せりがや病院)	211件	28.7%	220件	31.7%	244件	32.8%	270件	37.6%	185件	44.3%	がんセンター	1,746件	33.3%	1,518件	29.7%	1,508件	27.5%	2,358件	39.2%	3,680件	56.5%	循環器呼吸器病センター	3,279件	51.7%	3,730件	61.4%	4,244件	73.4%	3,982件	63.7%	4,232件	70.1%	計	12,417件	-	13,163件	-	14,651件	-	16,335件	-	18,552件	-	<p>・各病院が有する特性や機能を踏まえ、紹介・逆紹介の拡大に努め、地域医療連携に関する各種講座や会議の開催など、地域医療機関との連携の強化を図った。</p> <p>・神奈川県立病院地域医療連携連絡会議を4回開催し、各病院の地域医療連携に関する情報を共有するとともに、県民への啓発活動として、地域医療連携に関する案内をホームページに掲載した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>紹介件数では足柄上病院、がんセンター、循環器呼吸器病センターが平成25年度を上回る結果となり、逆紹介件数では、精神医療センターを除く全ての病院で平成25年度を上回る結果となり、各病院が地域医療機関等との連携強化に関する各種取り組みを推進した。</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>各病院において、高い逆紹介率実績を残している。</p>																
病院名	平成20年度実績																																																																																																																																																																																																																																																										
足柄上病院	4,528件																																																																																																																																																																																																																																																										
こども医療センター	6,772件																																																																																																																																																																																																																																																										
芹香病院	397件																																																																																																																																																																																																																																																										
せりがや病院	240件																																																																																																																																																																																																																																																										
がんセンター	4,838件																																																																																																																																																																																																																																																										
循環器呼吸器病センター	3,613件																																																																																																																																																																																																																																																										
病院名	平成20年度実績																																																																																																																																																																																																																																																										
足柄上病院	3,606件																																																																																																																																																																																																																																																										
こども医療センター	3,450件																																																																																																																																																																																																																																																										
芹香病院	357件																																																																																																																																																																																																																																																										
せりがや病院	200件																																																																																																																																																																																																																																																										
がんセンター	1,586件																																																																																																																																																																																																																																																										
循環器呼吸器病センター	3,318件																																																																																																																																																																																																																																																										
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																																																																																																																																																																																																																		
	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率																																																																																																																																																																																																																																																	
足柄上病院	7,114件	38.1%	7,115件	37.4%	7,460件	38.4%	7,943件	42.4%	8,277件	45.1%																																																																																																																																																																																																																																																	
こども医療センター	7,084件	95.4%	7,221件	95.7%	7,494件	96.7%	7,662件	97.3%	7,470件	98.5%																																																																																																																																																																																																																																																	
精神医療センター	595件	-	539件	-	607件	-	545件	-	542件	44.8%																																																																																																																																																																																																																																																	
(芹香病院)	335件	47.1%	297件	52.4%	322件	53.8%	289件	50.6%	402件	49.8%																																																																																																																																																																																																																																																	
(せりがや病院)	260件	35.4%	242件	34.9%	285件	38.3%	256件	35.7%	140件	33.5%																																																																																																																																																																																																																																																	
がんセンター	5,195件	99.0%	5,079件	99.2%	5,478件	99.8%	5,964件	99.2%	6,461件	99.2%																																																																																																																																																																																																																																																	
循環器呼吸器病センター	4,550件	71.7%	4,200件	69.2%	4,052件	70.1%	4,319件	69.1%	4,328件	71.7%																																																																																																																																																																																																																																																	
計	24,538件	-	24,154件	-	25,091件	-	26,433件	-	27,078件	-																																																																																																																																																																																																																																																	
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																																																																																																																																																																																																																		
	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率																																																																																																																																																																																																																																																	
足柄上病院	2,768件	16.1%	2,889件	16.3%	3,424件	19.1%	4,304件	25.1%	4,497件	26.7%																																																																																																																																																																																																																																																	
こども医療センター	4,061件	54.7%	4,325件	57.3%	4,880件	62.9%	5,166件	65.6%	5,622件	72.3%																																																																																																																																																																																																																																																	
精神医療センター	563件	-	701件	-	595件	-	525件	-	521件	42.5%																																																																																																																																																																																																																																																	
(芹香病院)	352件	49.5%	481件	84.8%	351件	58.7%	255件	44.7%	336件	41.6%																																																																																																																																																																																																																																																	
(せりがや病院)	211件	28.7%	220件	31.7%	244件	32.8%	270件	37.6%	185件	44.3%																																																																																																																																																																																																																																																	
がんセンター	1,746件	33.3%	1,518件	29.7%	1,508件	27.5%	2,358件	39.2%	3,680件	56.5%																																																																																																																																																																																																																																																	
循環器呼吸器病センター	3,279件	51.7%	3,730件	61.4%	4,244件	73.4%	3,982件	63.7%	4,232件	70.1%																																																																																																																																																																																																																																																	
計	12,417件	-	13,163件	-	14,651件	-	16,335件	-	18,552件	-																																																																																																																																																																																																																																																	
			<p>課題</p> <p>地域連携クリティカルパスの充実など、地域の中でそれぞれの役割を担う医療機関との間で連携を推進していく必要がある。</p>																																																																																																																																																																																																																																																								

・足柄上病院は、足柄上臨床研究会の開催、地域医療機関への訪問、紹介元医療機関への患者状況の報告等により、足柄上医師会や地域医療機関との関係づくりを進め、紹介率・逆紹介率の向上に取り組む。

〔足柄上病院の紹介率・逆紹介率の目標値〕

区分	平成26年度目標値
紹介率	45%
逆紹介率	25%

・子ども医療センターは、紹介元となる医療機関、特に診療所との連携を強化するために、診療所で扱うことの多いアレルギー疾患等に関する勉強会を開催するほか、従来の病院訪問に診療所訪問を加え、意見交換などを行う。

・子ども医療センターは、在宅医療を推進するため、訪問診療を担う地域医療機関の医師とのカンファレンスを新たに開催するほか、県内全小児専門訪問看護ステーションを対象とした医療ケア実技研修会を開催するなど、在宅医療を担う地域医療機関への医療支援を行う。

〔子ども医療センターの退院後訪問看護件数の目標値〕

平成26年度目標値
20件

〔足柄上病院〕

・リハビリテーション等の回復期治療を担う地域医療機関との連携強化に努めるとともに、平成26年度は鶴巻温泉病院など3医療機関と「脳卒中地域連携パス」29件を運用した。

・足柄上医師会との臨床研究会の開催や照会元機関への状況報告を行うとともに、地域医療機関等に訪問し、在宅療養支援の連携を図るなど、紹介率・逆紹介率の向上に努めた。

〔足柄上病院の紹介率・逆紹介率の実績と目標値〕

区分	平成25年度		平成26年度	
	目標値	実績	目標値	実績
紹介率	45%	42.4%	45%	45.1%
逆紹介率	20%	25.1%	25%	26.7%

・高度医療機器の共同利用
C T 218件 M R I 55件 計273件

〔子ども医療センター〕

・県との契約に基づき、専任の職員を配置した小児在宅医療相談窓口を設置したほか、小児在宅に関する医療ケアマニュアルや療養支援ガイドブックを作成するなどの取組を行った。

・退院・在宅医療支援室の看護師をはじめ多職種が連携し、新生児及び15歳以上の患者を対象とした570件の退院支援カンファレンスを行い、在宅医療の推進を図った。

・紹介元機関のうち、診療所との連携を強化するため、扱うことの多いアレルギー疾患等に関する勉強会を3回開催し、延100人が参加したほか、新たに診療所の訪問による意見交換を行った結果、登録医療機関数は前年度に比べ188医療機関増の574医療機関となった。

・在宅医療を推進するため、新たに訪問診療を担う地域医療機関の医師とのカンファレンスを開催し、小児在宅医療に関する課題について意見交換を行った。

〔子ども医療センターの退院後訪問看護件数の実績と目標値〕

平成25年度		平成26年度	
目標値	実績	目標値	実績
20件	12件	20件	14件

・精神医療センターは、地域医療機関を対象とした研修、空床情報提供、個別訪問等を行い、地域医療機関との連携強化を図るとともに、関係機関と協力しながら、地域生活が困難な患者を対象とした訪問看護に積極的に取り組む。

・がんセンターは、がん患者の医療連携を推進する取組として設置した「連携病床」について、地域ニーズを考慮した運用を行うなど、医療連携機能を推進する。

・がんセンターは、電子カルテシステムを利用した地域連携システムを活用し、地域の医療機関との情報共有の深化を図る。

・がんセンターは、歯科医療連携による口腔ケアを推進し、がん治療の副作用・合併症の予防・軽減、がん患者の生活の質の向上を図る。

・循環器呼吸器病センターは、地域連携部門の機能強化を図り、近隣の診療所や訪問看護ステーション等への個別訪問を増やすなどにより紹介・逆紹介件数の増加を図る。また、CT、MRI等の高度医療機器の地域医療機関との共同利用を推進するため、オンライン検査予約システムの情報提供を積極的に行い、登録医療機関の増加を図る。

・神奈川県立病院地域医療連携連絡会議において、県立病院間における地域連携に係る課題抽出を行い、連携方策を検討するとともに、他医療機関との役割分担の明確化と連携の強化に取り組む。

[こども医療センター続き]

・退院後の初回訪問時に看護師が同行する訪問看護14件のうち3件は訪問診療医との引継ぎを行ったほか、医療ケア実技研修会を6回、小児の在宅医療を支える看護師交流会を1回開催し、在宅医療を担う地域医療機関への医療支援を行った。その結果、在宅患者受入訪問看護ステーションは前年度に比べ、42機関増の189機関となった。

[精神医療センター]

・精神科救急システムの構成団体（県、横浜市、川崎市、相模原市）と連携、協議を行い、精神科救急の受入を推進した。

・近隣大学の訪問やストレスケア研究会の開催など、地域と連携したストレスケア医療を推進した。

・医療観察法医療の普及に向けた横浜地方裁判所裁判官に対する病棟紹介や、神奈川司法精神科医療福祉ネットワーク会議（年4回）の主催など、医療機関等との連携強化を図った。

・精神障害者の地域移行や地域生活支援のため、保健所やサービス事業所が参加したケア会議に参加し、地域の医療福祉の質の向上に努めた。

・薬物乱用防止教室や、平成28年度の「刑の一部執行猶予制度」の実施に向けた連絡会の開催などにより、関係機関との連携を強化した。

[がんセンター]

・がん地域連携クリニカルパスについて、平成26年度は悪性リンパ腫59件、胃がん1件の60件を運用した。

・がん患者の医療連携を推進する取組として設置した「連携病床」について、地域ニーズを考慮した運用を行うなど、医療連携機能を推進した。

・電子カルテシステムを利用した地域連携システムを活用し、地域の医療機関との情報共有の深化を図った。

・歯科医療連携による口腔ケアを推進し、がん治療の副作用・合併症の予防・軽減、がん患者の生活の質の向上を図った。

		<p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関のニーズに応え、X線CTにかかるオンライン検査予約枠の拡大を図り、高度医療機器の共同利用推進に努めた。 ・地域の行政、医療機関、医療関係団体などが委員となる地域医療支援事業運営委員会を年2回開催し、患者動向や診療体制についての情報提供や意見交換を行った。 				
		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度		
		各病院が地域医療機関等との連携を推進し、地域連携パスの拡大や、紹介件数、逆紹介件数の増加に努めた結果、紹介件数、逆紹介件数はともに平成22年度を上回る結果となった。	A	A		

小項目 2 6 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
- 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
- また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>(4) 臨床研究の推進</p> <p>ア 臨床研究</p> <p>(7) がんセンター</p> <p>・臨床研究所を有するがんセンターについては、研究部門（臨床研究所）と病院部門が連携し、がん医療の分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。</p> <p>・神奈川県がん登録事業を継続実施し、協力病院の院内がん登録の整備を進め、登録情報の精度の充実を図る。 （参考）神奈川県がん登録事業の登録件数実績（平成21年度）47,835件</p> <p>・神奈川がん臨床研究・情報機構の運営を通じて、大学等の研究機関及び企業との共同研究等に取り組み、県内の医療水準の向上を図る。</p>	<p>(4) 臨床研究の推進</p> <p>ア 臨床研究</p> <p>・こども医療センターは、高い資質を持つ人材を任期付き研究員として採用し、医師等とともに、基礎と臨床をつなぐ橋渡し研究の活性化を目指す。また、疫学調査や疾患データベースの作成等、小児臨床研究機関としての実績の向上を目指す。</p> <p>・こども医療センターの豊富な臨床症例を研究活動に生かし、小児医療の質の向上を図るため、連携大学院の協定を締結した横浜市立大学や慶應義塾大学と共に、臨床研究を推進する。</p> <p>・精神医療センターは、反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS）や鍼灸の精神科医療への応用、物質依存に対する認知行動療法プログラムの研究に取り組む。</p>	<p>・県民に提供できる医療水準の向上を目指し、国際的に通用する臨床試験を遂行するため、臨床研究基盤及び推進体制の整備に向けた検討を行った。</p> <p>・各病院が特性及び機能を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組んだ。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・"Transient vascularization of transplanted human adult-derived progenitors promotes self-organizing cartilage(一時的な血管化を再現する独自のヒト軟骨培養法)"を"The Journal of Clinical Investigation"(IF13.8)に発表するなど学会誌発表や学会発表を行った。</p> <p>・研究員の勤務発明(生体試料中のアミンの測定方法およびその方法を用いる患者のスクリーニング方法)が特許原簿に登録された。また、別の勤務発明についても、国際出願中であり、民間企業との実施許諾契約等の技術移転が成約した。</p> <p>・横浜市立大学や慶應義塾大学との協定に基づき、医師の派遣を行うなど、連携した取組を推進した。</p> <p>[精神医療センター]</p> <p>・ニューロモデュレーション研究や依存症研究、東洋医学研究等の臨床研究の充実に努めたほか、反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS）に関する総説の執筆や学会発表を行った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>各病院において臨床研究を推進し、研究結果の論文掲載や、学会での発表を行うとともに、こども医療センターにおける勤務発明の特許原簿への登録など、診断技法・治療法の開発に向け取り組んだ。</p>	A	A	勤務発明が特許につながれば、県からの負担金の減少にもつながる。引き続き、産官学連携の取組みを推進すべきである。
			<p>課題</p> <p>より良い診断法や治療法を確立するため、国際標準に則った臨床研究の基盤及び支援体制の整備を行う必要がある。</p>			

(1) その他の病院における臨床研究の推進

各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。

・がんセンターは、臨床研究所研究員と臨床各科の医師あるいは外部機関の研究員等とがんの早期発見、治療等についての共同研究を行う。その研究成果については、年度ごとの業績集の発行や成果報告会を開催して報告を行うとともに、英文原著論文発表や学会発表を行う。

[臨床研究に関する実績と目標値]

区分	平成24年度実績	平成26年度目標値
英文論文数	39編	25編
論文インパクトファクターの総和	76	50
文部科学省・厚生労働省科学研究費取得件数	9件	6件

・がんセンターは、病院内の対がん活動の状況を把握し、がんの早期発見と治療、予後の向上に役立てることにより、地域レベル、国レベルのがん対策や全国登録などの共同研究への参加を容易にして、研究・研修にも役立てるため、協力病院の院内がん登録の整備を進める。

(参考) 神奈川県がん登録事業の登録件数実績(平成24年度) 70,161件

・がんセンターは、神奈川がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集・試料提供事業を実施する。

[神奈川がん臨床研究・情報機構における

腫瘍組織収集の実績と目標値]

平成24年度実績	平成26年度目標値
650件	600件

[がんセンター]

・臨床研究所研究員と臨床各科の医師あるいは外部機関の研究員等とがんの早期発見、治療等についての共同研究を行った。その研究成果については、業績集の発行や成果報告会において報告を行うとともに、英文原著論文発表や学会発表を行った。

・平成26年9月よりワクチンセンターにおいて臨床試験を開始した。

・神奈川県のがん登録事業を推進し、登録件数の実績は71,919件となった。

・腫瘍組織収集(凍結組織)の実績は767件と目標の600件を上回った。

(参考)[神奈川県がん登録事業の登録件数実績]

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
70,893件	70,161件	78,665件	71,919件

[臨床研究に関する実績と目標値]

区分	平成24年度実績	平成25年度目標値	平成25年度実績	平成26年度目標値	平成26年度実績
英文論文数	39編	20編	34編	25編	66編
論文インパクトファクターの総和	76	40	73.5	50	217.6
文部科学省・厚生労働省科学研究費取得件数	9件	研究員の80%以上	研究員の76.9%	6件	13件

[神奈川がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織(凍結組織)収集の実績と目標値]

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
目標値	実績								
600件	506件	540件	648件	540件	650件	540件	613件	600件	767件

中期目標期間(22~26年度)に関する特記事項

・平成23年度にこども医療センターに臨床研究所を設置し、研究体制を強化した。

・がんセンターにおけるがん登録事業及び試料収集事業等を実施するとともに、各病院において、治療法の開発及び臨床応用に向けた取組みを推進した。

22~26年度

A

22~26年度

A

小項目 2 7 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
- 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
- また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																		
			自己点数	評価点数	コメント																		
<p>(4) 臨床研究の推進</p> <p>イ 治験</p> <p>(7) こども医療センター</p> <p>厚生労働省から指定された治験拠点医療機関として、他の医療機関と連携して、小児医療の治験に積極的に取り組む。</p> <p>(1) その他の病院における治験の推進</p> <p>新薬の開発等に貢献し、治療の効果及び安全性を高めるため、各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。</p> <p>(参考) 治験実施状況(平成20年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>8件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>13件</td> <td>60件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>28件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>22件</td> <td>38件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	8件	14件	こども医療センター	13件	60件	芹香病院	1件	0件	がんセンター	28件	47件	循環器呼吸器病センター	22件	38件	<p>(4) 臨床研究の推進</p> <p>イ 治験</p> <p>・こども医療センター及びがんセンターは、小児がん医薬品及び希少疾病用医薬品の治験や医師主導型治験など他の医療機関では実施が困難な治験に取り組む。</p> <p>・こども医療センターは、小児治験ネットワークを通じた他の医療機関と連携した小児医療の治験にも積極的に取り組み、治験の質の向上及び効率化を図り、小児医薬品の早期開発に向けた取り組みを推進する。</p> <p>・循環器呼吸器病センターは、肺がん包括診療センターの取組や実績を積極的に外部に発信し、新たな治療法や抗がん剤開発に向けた治験や臨床試験への参加拡大を図る。</p>	<p>・各病院において、医薬品等の新規承認や適用拡大に向け、希少疾病用の治験や国際共同治験、また医師主導治験など、他の医療機関では実施が困難な治験に取り組んだ。</p> <p>[こども医療センター・がんセンター・循環器呼吸器病センター]</p> <p>・横浜市立大学が中心となり、治験や臨床研究の推進に取り組む「横浜臨床研究ネットワーク」に参画した。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・抗がん剤や肺高血圧症治療薬などの医薬品について治験や受託研究に取り組んだ。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・治験受託件数30件のうち、希少疾病用医薬品の治験受託件数は4件、うち小児の抗がん剤の治験受託件数が1件、国際共同治験が6件であった。また、国内未承認の医薬品2件と医療機器1件に係る医師主導治験を実施した。治験契約症例数は、前年度比31件増の91件であった。</p> <p>・国内34の登録施設による小児治験ネットワークを通じた治験契約を10件受託し、他の医療機関と連携した小児医療の治験に積極的に取り組み、治験の質の向上及び効率化を図るなど、小児医薬品の早期開発を推進した。</p> <p>[精神医療センター]</p> <p>・統合失調症患者及びうつ患者を対象とした投与試験を実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>各病院において治験に積極的に取り組んだ結果、治験受託件数では、足柄上病院及び精神医療センターを除く病院において平成25年度を上回り、受託研究件数では、こども医療センター、がんセンターで平成25年度を上回る結果となり、円滑な治験を推進した。</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>他の医療機関では実施が困難な治験に取り組んでおり、評価に値する。</p> <p>地域性による影響はあるが、足柄上病院における治験件数の更なる増加を期待する。</p>
病院名	治験受託件数	受託研究件数																					
足柄上病院	8件	14件																					
こども医療センター	13件	60件																					
芹香病院	1件	0件																					
がんセンター	28件	47件																					
循環器呼吸器病センター	22件	38件																					
			<p>課題</p> <p>より安全で効果の高い治療法や薬の開発に向け、引き続き積極的に治験を推進する必要がある。</p>																				

[がんセンター]

・治験の領域別では、肝細胞がん17件、乳がん14件、膵がん10件、胃がん8件、肺がん5件、大腸がん4件など計77件を実施し、登録症例数累計では延427件となった。

また、そのうち3つの治験（18件）は、平成26年度に設置したワクチンセンターにおいて実施した。

さらに、国内未承認の医薬品6件に係る医師主導治験も実施した。

・ホームページに実施中の治験一覧を掲載し、治験を要望する患者及び治験依頼者への医療機関選定に関する情報提供を行った。

・治験管理システムを活用した治験情報の共有化や進捗管理、多施設において開催していた会議を、電話会議やネット会議に切り替え、業務の効率化を推進するなど、安全な治験の実施や治験受託件数の拡大を図った。

[循環器呼吸器病センター]

・米国シカゴで開催された米国臨床腫瘍学会において、抗がん剤の治験について口演発表を行うなど情報発信に取り組み、治験実施医療機関としての認知度を高めた。

・新規抗がん剤（抗体薬）の治験に積極的に取り組んだ。また、治験実施体制を強化し、マイルストーン方式の採用をはじめ迅速かつ効率的な事務に努め、治験の受託拡大を図った。

(参考) [治験実施状況]

区分	治験受託件数					受託研究件数				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	12件	12件	12件	11件	11件	44件	42件	40件	38件	23件
こども医療センター	15件	17件	22件	24件	30件	64件	63件	62件	53件	57件
精神医療センター（芹香病院）	9件	8件	8件	7件	6件	0件	0件	0件	0件	0件
がんセンター	37件	43件	47件	59件	77件	46件	50件	58件	55件	65件
循環器呼吸器病センター	28件	30件	29件	42件	57件	46件	40件	39件	39件	39件
計	101件	110件	118件	143件	181件	200件	195件	199件	185件	184件

中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項

22～26年度

22～26年度

こども医療センターやがんセンターにおける他の医療機関では実施が困難な治験をはじめとして、各病院が有する機能や特性を生かし、新たな治療法や薬の開発に向けて治験を推進した。

A

A

小項目 2 8 業務実績報告（自己評価）

<p><評価の大項目></p> <p>第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p>

中期目標	<p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>患者の理解と信頼を得た安全で安心な医療を提供するため、看護体制を整備するとともに、医療安全対策や感染症対策、災害対策等を推進すること。</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <p>県立病院が担う安全で安心な医療を支えるため、医療体制を整備するとともに、各病院の基本的な機能を踏まえた手厚い看護の実施に努めること。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>看護体制の整備、医療安全対策、感染症対策及び災害対策等の取組を推進し、安全で安心な医療を提供する。</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <p>・安全で安心な医療を支えるため、こども医療センターにおいて感染制御室を設置する等、医療体制を整備するとともに、医療機器の整備を行う。</p> <p>・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。</p>	<p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <p>・各病院において、院内感染対策チーム、栄養サポートチーム（NST）、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、移植後患者サポートチーム等の多職種で構成するチームの活動により、患者支援の充実を図る。</p> <p>・褥瘡発生防止体制の整備及び症例検討を通じた褥瘡ケアの技術水準の向上に取り組むなど、各県立病院の特性及び機能を生かした褥瘡対策を推進する。</p> <p>・医療ケア実技研修会などの場で地域の医療機関に対し、褥瘡防止に関する情報を発信する。</p>	<p>・各病院において、NSTや褥瘡対策チームなど、多職種で構成するチーム活動により、患者支援や質の高い医療の提供を行った。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・バイキングや野菜収穫体験給食などのイベント給食の実施や、がん治療中の食事の工夫などをまとめた「小児がんと栄養」を刊行するなど、患者の栄養支援を推進した。</p> <p>・褥瘡リスクのある患者について、訪問看護ステーションの訪問看護時に必要な助言を行った。</p> <p>・オープンベース用の褥瘡予防マットレスを導入したほか、点滴シーネの下貼りテープのサイズの見直しを図り、褥瘡の改善に繋がった。</p> <p>[こども医療センター・芹香病院]</p> <p>・こども医療センターの皮膚・排泄ケア認定看護師が芹香病院の褥瘡対策に関する勉強会に出席し助言を行うなど、連携した取組を推進した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>各病院において、医師や看護師をはじめとした医療従事者が連携した各種チームが患者支援に努めるとともに、褥瘡の早期発見・治療やケア技術の向上などに取り組み、安全で安心な医療の提供に寄与した。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>チームによる褥瘡対策や入院患者への食事の工夫等、数字には表れない部分についても、安全安心の視点で、質向上への努力が認められる。</p>
			<p>課題</p> <p>今後も安全で安心な医療を提供していくため、多職種が連携、協働したチームによる患者支援を強化する必要がある。</p>			

[がんセンター]
 ・新たに化学療法患者を対象とした栄養料理教室を8回開催し、栄養が高く簡単に食べやすいレシピを67種作成するなど、患者のQOLの向上に寄与した。

・外来の取組として、退院した患者に対しても褥瘡完治まで認定看護師が関わる体制を整備し、平成26年度より運用を開始した。

[循環器呼吸器病センター]
 ・入院患者の高齢化や重症化が進む結核病棟において、入院基本料10対1看護基準を取得し、看護の質の向上を図った。

(参考) [褥瘡患者発生率]

区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	分子	分母	測定値									
	新規褥瘡発生患者数(新規褥瘡発生件数)	入院患者数(延べ入院患者数)	褥瘡発生率									
足柄上病院	76件	5,960人	1.28%	61件	6,384人	0.96%	83件	6,396人	1.30%	70件	6,418人	1.09%
こども医療センター	102件	127,883人	0.08%	122件	126,949人	0.10%	163件	129,030人	0.13%	204件	127,991人	0.16%
精神医療センター (芹香病院)	6件	2,974人	0.20%	8件	2,887人	0.28%	8件	3,127人	0.26%	4件	4,119人	0.10%
(せりがや病院)	1件	359人	0.28%	0件	426人	0.00%	0件	349人	0.00%	4件	3,791人	0.11%
がんセンター	78件	10,833人	0.72%	114件	11,905人	0.96%	93件	12,017人	0.77%	0件	408人	0.00%
循環器呼吸器病センター	29件	4,238人	0.68%	37件	4,322人	0.86%	30件	4,396人	0.68%	52件	13,394人	0.93%
こども医療センターのみ、分子は新規褥瘡発生件数、分母は延べ入院患者数												

中期目標期間(22~26年度)に関する特記事項

こども医療センターにおける感染制御室の設置、がんセンターの7対1看護基準の取得など体制の整備を行うとともに、多職種チームの活動による患者支援など、安全で安心な医療の提供を推進した。

22~26年度

22~26年度

A

A

小項目 2 9 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (2) 医療安全対策の推進

中期目標

医療事故を未然に防止し、患者の安全を守り、患者が安心して医療を受けられるよう、医療安全対策を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																								
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																								
<p>(2) 医療安全対策の推進</p> <p>医療事故対応マニュアルの充実、医師、看護師等の研修の充実、医療安全会議の開催、インシデント・アクシデントレポートの活用、医療事故の公表等、総合的な医療安全対策を推進する。</p> <p>(参考) インシデント・アクシデント発生件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>6,574件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>773件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,347件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	インシデント	6,574件	アクシデント	773件	計	7,347件	<p>(2) 医療安全対策の推進</p> <p>・各病院における医療安全管理体制をより一層充実させるため、医療安全会議等を活用し、特にヒヤリ・ハット事例の報告徹底を図るとともに、医療事故の発生原因や対策を共有化することにより、安全・安心な医療の実現に努める。</p> <p>・医療安全推進会議等で、医療事故の公表、ヒヤリ・ハット事例の積極的な報告体制の整備など、県立病院共通の医療安全対策の取組を検討し、総合的な医療安全対策を推進することで、引き続き重大事故の未然防止に努める。</p> <p>・医療事故に関する患者と病院間のトラブルを中立的立場から対話を促進し、早期の問題解決を図る体制を整備する。</p>	<p>・ヒヤリ・ハット事例については、レベル0及びレベル1の件数の増加により、総数が前年度対比で増加した。しかし、患者に高度の後遺症が残る可能性が生じた事例（レベル4）や、患者が死亡する事例（レベル5）については、4年連続で発生していない。</p> <p>・医療安全対策ワーキンググループを5回開催し、各県立病院の医療事故等の事例報告、事故防止等、再発防止策を確認、検討し共有した。</p> <p>・ADR検討会議を4回開催し、全病院に平成27年4月から配置することとした院内医療メディエーターに関する必要な規程等を整備するとともに、医療メディエーター養成のため、3月に研修会を開催した。</p> <p>(参考) [ヒヤリ・ハット事例、医療事故のレベル別報告件数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">ヒヤリ・ハット事例</td> <td>0</td> <td>1,150件</td> <td>1,128件</td> <td>1,273件</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5,611件</td> <td>5,899件</td> <td>6,065件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>810件</td> <td>760件</td> <td>733件</td> </tr> <tr> <td>3a</td> <td>100件</td> <td>159件</td> <td>157件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">医療事故</td> <td>3b</td> <td>22件</td> <td>12件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,693件</td> <td>7,958件</td> <td>8,242件</td> <td>8,498件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成26年度</th> <th>医療安全会議</th> <th>リスクマネジメント</th> <th>医療安全に関する研修</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>1,145人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>15回</td> <td>6回</td> <td>2,409人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>19回</td> <td>18回</td> <td>1,491人</td> </tr> <tr> <td>(芦香病院)</td> <td>12回</td> <td>11回</td> <td>1,444人</td> </tr> <tr> <td>(せりがや病院)</td> <td>7回</td> <td>7回</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>1,153人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>11回</td> <td>11回</td> <td>1,115人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69回</td> <td>59回</td> <td>7,313回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	ヒヤリ・ハット事例	0	1,150件	1,128件	1,273件	1	5,611件	5,899件	6,065件	2	810件	760件	733件	3a	100件	159件	157件	医療事故	3b	22件	12件	14件	4	0件	0件	0件	5	0件	0件	0件	計	7,693件	7,958件	8,242件	8,498件	平成26年度	医療安全会議	リスクマネジメント	医療安全に関する研修	回数	回数	参加者数	足柄上病院	12回	12回	1,145人	こども医療センター	15回	6回	2,409人	精神医療センター	19回	18回	1,491人	(芦香病院)	12回	11回	1,444人	(せりがや病院)	7回	7回	47人	がんセンター	12回	12回	1,153人	循環器呼吸器病センター	11回	11回	1,115人	計	69回	59回	7,313回	<p>実績に対する評価</p> <p>・レベル0及び1までの報告件数が増加しており、医療安全研修の実施や電子カルテの導入等により報告しやすい環境を整えることが出来た。また、報告内容の分析、対策を実施することで、レベル3 a、レベル3 bの発生件数が減少した。</p> <p>・平成27年4月からのメディエーションの開始に向け、3月に医療メディエーター研修会を実施するなど、安全で安心な医療の提供を推進するとともに、患者及び家族が安心して相談、診療内容等の確認ができる体制づくりに努めた。</p> <p>課題</p> <p>・引き続き医療安全会議の開催やヒヤリ・ハット事例の分析等を実施して、医療事故の未然防止に努める必要がある。</p> <p>・メディエーター連絡協議会を開催し、各病院での事例発表や研修等を行うなど、より効果的な患者相談体制の構築を推進していく。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>軽度（0～1レベル）の事例が多くなる一方で、重度（3以上）の事例が減少しており、望ましい傾向である。</p> <p>なお、研修参加者数については、延参加者数だけではなく、研修受講対象者の受講率についても併せて示す方が望ましい。</p>
区分	平成20年度																																																																																												
インシデント	6,574件																																																																																												
アクシデント	773件																																																																																												
計	7,347件																																																																																												
区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																																																									
ヒヤリ・ハット事例	0	1,150件	1,128件	1,273件																																																																																									
	1	5,611件	5,899件	6,065件																																																																																									
	2	810件	760件	733件																																																																																									
	3a	100件	159件	157件																																																																																									
医療事故	3b	22件	12件	14件																																																																																									
	4	0件	0件	0件																																																																																									
	5	0件	0件	0件																																																																																									
計	7,693件	7,958件	8,242件	8,498件																																																																																									
平成26年度	医療安全会議	リスクマネジメント	医療安全に関する研修																																																																																										
	回数	回数	参加者数																																																																																										
足柄上病院	12回	12回	1,145人																																																																																										
こども医療センター	15回	6回	2,409人																																																																																										
精神医療センター	19回	18回	1,491人																																																																																										
(芦香病院)	12回	11回	1,444人																																																																																										
(せりがや病院)	7回	7回	47人																																																																																										
がんセンター	12回	12回	1,153人																																																																																										
循環器呼吸器病センター	11回	11回	1,115人																																																																																										
計	69回	59回	7,313回																																																																																										

[足柄上病院]

・【足柄上病院周術期肺血栓栓塞症・深部静脈血栓症対策ガイドライン】を改定、各科に關係する深部静脈血栓症の発症リスクを分類し、それぞれのリスク分類ごとの予防方法を定めた。

・持参薬管理の煩雑さを改善するために、患者ごとにソフトケース(収納袋)を準備し情報表示ラベル(氏名・I D、冷所品の有無、継続・中止、薬剤師印)を作成、全病棟での管理方法を統一した。

・医療安全巡回で、心電図モニターに関するテクニカルアラームの調査を行った。モニター関連医療事故防止への取り組みとして、心電図に関する安全使用のため手順を定め周知した。

[こども医療センター]

・輸血委員会と協働で輸血療法に関する問題点を検討し、輸血療法マニュアルの改訂を行った。輸血担当検査技師と共に継続的に病棟を巡回し、現場での輸血療法の確認・指導を実施した。

・平成25年度より引き続き、重大医療事故につながる可能性のある警鐘事例を選定し、関連セクションへ再発防止策の検討と文書化を働きかけ、会議などを通じてセンター全体に周知を図った。

[精神医療センター]

・新棟への患者移送時に、リストバンドを全員に装着し患者誤認予防及び安全でスムーズな移転に取り組んだ。

・新棟での緊急時コールの周知徹底を行うとともに、患者誤認防止及び危険物の持ち込み、荷物確認のお願い等の院内の医療事故防止に関する掲示物の見直しを行った。

[がんセンター]

・新病院移転後、病院全体で、5 S活動(整理・整頓・清潔・清掃・しつけ)の取り組みを行った。日常の安全行動につながる働きやすい環境の改善につとめ、定着化にむけた活動を行った。医療安全研修では、医療機器(除細動器)の取り扱いについて実施し、急変時に、対応できる知識や技術について周知した。

		<p>[循環器呼吸器病センター]</p> <p>・中心静脈カテーテル挿入手技の安全性を高めるため「中心静脈カテーテルの挿入に関する所内ガイドライン」を作成し手順を明確化するとともに登録医制度を導入した。また、挿入報告書の提出を義務付け挿入件数や合併症の発生率等について院内での情報共有を進めた。</p>				
		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度		
		<p>各病院において医療安全会議や研修など、医療安全への意識の向上に積極的に努めた結果、ヒヤリ・ハット事例の報告件数が中期計画機関で大幅に増加するなど、医療事故の未然防止や医療安全対策を推進した。</p>	A	A		

小項目 3 0 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (3) 感染症対策の強化

中期目標

院内感染防止対策を強化するとともに、感染管理体制を充実することにより、感染症に関する取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>(3) 感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策を強化するため、感染防止会議の開催による対策の徹底や、新型インフルエンザの発生等を踏まえた院内感染防止マニュアルの見直しに取り組む。 ・新型インフルエンザ等の診療・治療を行うため、各病院の特性及び機能を生かした感染症に関する取組を推進する。 	<p>(3) 感染症対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県立病院感染防止対策会議で、感染症対策に係る共通課題を引き続き分析する。また、感染管理教育は手指衛生に重点を置き、教育の仕組み、方法等を検討する。 ・各病院において、感染防止会議の開催による対策の徹底、院内感染防止マニュアルの見直し等の取組を引き続き行う。 ・小児感染症、医療関連感染（BSI、SSI等）の発生状況の把握等により、発生予防及び拡大防止に努めるとともに、院内の検出菌の傾向及び耐性化状況の分析や抗菌薬の適正使用などの院内感染対策を強化する。 ・院内感染防止対策の強化を図るため、他の医療機関と連携した感染防止対策に関する合同カンファレンスや相互評価の実施などの取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県立病院感染防止対策会議を4回実施し、感染防止対策に関する情報交換や手指衛生に関するサーベイランスや手指衛生教育評価シートによる評価について検討した。 ・新型インフルエンザが国内で発生した場合を想定し、県と連携した新型インフルエンザ等対策訓練を実施した。 ・各病院において、院内ラウンドや会議・研修、広報誌の発行、また感染症防止対策マニュアルの見直しなど、感染拡大及び発生の防止に向けた取組を推進した。 〔足柄上病院、こども医療センター、がんセンター、循環器呼吸器病センター〕 ・県立病院間による相互評価ラウンドを実施し、特にこども医療センター及びがんセンターにおいて県立病院以外の病院との間で実施するなど、感染防止への啓発及び感染の早期発見、拡大防止に努めた。 ・他医療機関との合同カンファレンス等を行い、感染症に関する情報共有やサーベイランス等の取組みなど、感染防止対策を推進した。 〔こども医療センター、がんセンター、循環器呼吸器病センター〕 ・小児感染症、医療関連感染（BSI・SSI等）の発生状況を把握し、対策を徹底するとともに、院内の検出菌の傾向分析や抗菌薬の適正使用を推進した。 〔足柄上病院、こども医療センター、精神医療センター、がんセンター〕 ・職員に風疹や麻疹、また水痘等のワクチン接種を行い、院内感染の防止に努めた。 	<p>実績に対する評価</p> <p>・各県立病院において、手指衛生に関するサーベイランス及び教育評価シートを用いた感染管理教育の実施など、感染症対策に関する取組を推進した。</p>	A	A	<p>風疹、麻疹対策、院内感染防止会議の実施等、対策に取り組んでいる。</p>
			<p>課題</p> <p>引き続き手指衛生の実践状況の調査を行い、感染症防止対策を強化していく必要がある。</p>			

(参考) [院内感染防止会議の開催実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	12回	12回	12回	12回	12回
こども医療センター	11回	11回	12回	12回	11回
精神医療センター	23回	24回	23回	23回	19回
(芹香病院)	11回	12回	12回	12回	12回
(せりがや病院)	12回	12回	11回	11回	7回
がんセンター	12回	12回	14回	12回	12回
循環器呼吸器病センター	11回	12回	16回	11回	11回
計	69回	71回	77回	70回	65回

(参考) [感染症防止院内研修の開催実績]

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	10回	14回	20回	21回
こども医療センター	7回	7回	5回	8回
精神医療センター	6回	6回	6回	4回
(芹香病院)	3回	3回	3回	3回
(せりがや病院)	3回	3回	3回	2回
がんセンター	19回	13回	12回	21回
循環器呼吸器病センター	15回	16回	12回	14回
計	57回	56回	55回	68回

うち1回は合同開催

中期目標期間(22~26年度)に関する特記事項

22~26年度 22~26年度

各病院において、感染防止対策会議や研修の開催による対策の徹底や、院内防止マニュアルの見直しなどにより、院内感染防止対策の強化に努めた。

A

A

小項目 3 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (4) 災害対策の推進

中期目標

災害発生等における災害医療拠点病院及び地域における災害時医療を担う病院としての役割を果たすこと。
また、災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																								
			自己点数	評価点数	コメント																								
<p>(4) 災害対策の推進</p> <p>・災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施する。また、大規模災害発生時に病院機能を確保、維持するため、建物の耐震化整備に努める。</p> <p>・災害時には、神奈川県地域防災計画の個別計画である神奈川県医療救護計画に基づき、県立病院救護班を編成し、被災地等に派遣する。特に、災害医療拠点病院である足柄上病院は、災害時の患者の受入れ等、県西地域医療圏における災害医療救護の中心的役割を担う。</p> <p>(参考) 防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,630人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	防災訓練実施回数	14回	防災訓練参加者数	2,630人	<p>(4) 災害対策の推進</p> <p>・各病院で、災害発生時等に病院機能を確保、維持できるよう医薬品・災害用医療資材等を備蓄するとともに、施設の点検及び更新、定期的な防災訓練等を実施する。</p> <p>・精神医療センターは、免震構造の新病院を12月に開院する。</p> <p>・神奈川県における災害対策基本法等に規定する指定地方公共機関として、災害時には、神奈川県医療救護計画に基づく県立病院救護班を編成し、被災地等に派遣する。</p> <p>・足柄上病院は、神奈川県DMAT指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMATを被災地に派遣し、トリアージや治療等の医療支援活動を行う。</p> <p>・足柄上病院は、県西地域医療圏における災害医療拠点病院として、災害時を想定した患者の受入れ訓練等を実施する。</p>	<p>・各病院において、災害発生時に備え医薬品等の備蓄を行うとともに、多様な状況の想定や手法による防災訓練を実施した。</p> <p>(参考) [防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>12回</td> <td>14回</td> <td>14回</td> <td>15回</td> <td>18回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,316人</td> <td>1,649人</td> <td>1,537人</td> <td>1,442人</td> <td>1,501人</td> </tr> </tbody> </table> <p>[足柄上病院]</p> <p>・DMAT体制強化のため、平成26年11月に新たに隊員2名を養成するとともに、厚生労働省主催のDMAT研修に3名参加し、活動に必要な知識、技術の向上に努めた。</p> <p>・県西地域の災害拠点病院として災害時対応の強化を図るため、机上訓練及びトリアージポスト設置訓練を7月に実施した。また、8月には大規模災害発生時を想定したビッグレスキューかながわ（神奈川県・小田原市合同総合訓練）に参加し、夜間・休日の災害発生時における初動対応や、トリアージ訓練を他の医療機関DMATと連携し実践するなど災害時の救急医療体制の強化に努めた。</p> <p>・地域住民に対しDMATの役割や活動等について講演を行った。</p>	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	防災訓練実施回数	12回	14回	14回	15回	18回	防災訓練参加者数	2,316人	1,649人	1,537人	1,442人	1,501人	<p>実績に対する評価</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>がんセンター、精神医療センターにおける免震構造の採用、足柄上病院におけるDMAT体制強化など、十分に取り組んでいる。</p>
	区分	平成20年度																											
防災訓練実施回数	14回																												
防災訓練参加者数	2,630人																												
区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																								
防災訓練実施回数	12回	14回	14回	15回	18回																								
防災訓練参加者数	2,316人	1,649人	1,537人	1,442人	1,501人																								
			<p>課題</p> <p>今後も、災害発生時に迅速に対応できるよう、効果的な防災訓練を行うとともに、地域の機関等と連携協力した災害対策を推進していく必要がある。</p>																										

[こども医療センター]
 ・夜間想定防災訓練、転入職員対象防災訓練といった目的や対象を明確にした防災訓練に加え、新たに机上防災訓練を実施した。また、訓練内容も出火場所を秘匿とするなど、より実践的な訓練とした。

・南区災害医療連絡会議で、災害時医療に関する意見交換や情報共有を行っており、衛星携帯電話を使用した通信訓練を定期的実施した。

[精神医療センター]
 ・免震構造による新病院を平成26年12月に開院した。

・新病院開院にあわせて消防計画を策定するとともに、夜間想定防災訓練や消防訓練機器取扱訓練を実施した。

[がんセンター]
 ・夜間防災訓練や患者避難のための誘導訓練など、多角的な訓練を実施した。

[循環器呼吸器病センター]
 ・大規模災害を想定したトリアージ訓練を含めた総合訓練や夜間時における火災発生を想定した訓練をいずれも状況付与型訓練として実施した。

・地震等の発生時に、病院敷地内にある井戸水を生活用水として確保できるよう、井戸ポンプの改修を行った。

中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項

22～26年度 22～26年度

がんセンター及び精神医療センターの新病院への免震構造の採用や、東日本大震災を踏まえ、被災地への医療救護活動やこども医療センターの自家発電装置の更新、また緊急燃料供給施設への指定など、地域における災害時医療を担う病院として取組を推進した。

A

A

小項目 3 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (5) 情報セキュリティの強化

中期目標

個人情報の保護を徹底するため、情報システムにおけるセキュリティ対策を強化すること。
また、職員に対して情報セキュリティの必要性を周知徹底する等、個人レベルでの情報セキュリティのために必要な取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																												
			自己点数	評価点数	コメント																												
<p>(5) 情報セキュリティの強化</p> <p>・情報システムにおける個人情報漏えいを防ぐため、ネットワーク、電子メールサーバー等の情報基盤の整備に併せて、ウイルスチェック、不正アクセス対策を講じる等、セキュリティの向上を図る。</p> <p>・職員からの個人情報漏えいを防ぐため、情報セキュリティ研修の実施等、個人レベルでの情報セキュリティの意識を啓発する取組を進める。</p>	<p>(5) 情報セキュリティの強化</p> <p>・人事給与システムをはじめとした業務システム等の利用基盤となる、本部事務局及び各病院を結ぶ情報ネットワークの運用にあたり、セキュリティ対策を行う。</p> <p>・各所属に設置するファイルサーバのデータのバックアップを自動的に取得するとともに、定期的に遠隔地に保管する。</p> <p>・情報セキュリティポリシーに対する理解を深めるとともに、日常業務における情報管理のポイントや注意事項を周知するため、職員を対象に情報セキュリティ研修を実施する。</p>	<p>・神奈川県立病院機構独自のネットワークに関して、ネットワークへ接続するには、共通利用パソコンなど、予め登録してあるものに制限している。また、ウイルス対策ソフトは、最新の情報に更新しセキュリティ対策を行っている。</p> <p>・各所属に設置したファイルサーバのデータ及び人事給与システムや財務会計システムのバックアップを自動取得し、災害等によるデータ損失を防止する対策を講じている。</p> <p>・新採用及び転入職員等に情報セキュリティポリシーに関する研修を実施し、日常業務における情報管理、セキュリティ対策のポイントや注意事項を説明し、理解を深めた。</p> <p>(参考)「情報セキュリティ研修参加者数の実績」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>対象</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月10日</td> <td>新採用職員・転入職員対象</td> <td>262人</td> </tr> <tr> <td>10月17日</td> <td>こども医療センター</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>10月23日</td> <td>こども医療センター</td> <td>86人</td> </tr> <tr> <td>2月19日</td> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>3月19日</td> <td>精神医療センター</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>3月19日</td> <td>足柄上病院</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>3月23日</td> <td>がんセンター</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>631人</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	対象	参加者数	4月10日	新採用職員・転入職員対象	262人	10月17日	こども医療センター	120人	10月23日	こども医療センター	86人	2月19日	循環器呼吸器病センター	23人	3月19日	精神医療センター	33人	3月19日	足柄上病院	38人	3月23日	がんセンター	69人		計	631人	<p>実績に対する評価</p> <p>・ネットワークシステムの運用にあたり、ウイルス対策ソフトを最新の状態に更新し、ネットワークへの接続の制限をするなどをしてセキュリティー対策を図った。</p> <p>・各所属において、情報セキュリティポリシーに関する研修を実施し、情報管理について職員の意識が高まった。</p>	A	A	<p>遵守意識が大切である。新人採用、職員の交代等があるので、セキュリティポリシーを浸透させるべく周知を図り、常に遵守意識を高めていくことが重要である。</p>
			実施日	対象	参加者数																												
			4月10日	新採用職員・転入職員対象	262人																												
10月17日	こども医療センター	120人																															
10月23日	こども医療センター	86人																															
2月19日	循環器呼吸器病センター	23人																															
3月19日	精神医療センター	33人																															
3月19日	足柄上病院	38人																															
3月23日	がんセンター	69人																															
	計	631人																															
課題		<p>病院運営を支える情報ネットワークシステムにおいて、年々増加するコンピュータウイルスやハッキング等に対応する最新のセキュリティー対策を講じていく必要がある。</p>																															
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項		22～26年度	22～26年度																														
		<p>・平成24年度に病院機構独自のネットワークを整備した。</p> <p>・研修の実施による個人情報やセキュリティに関する意識の向上や、システムへのセキュリティ対策を迅速に講じるなど、セキュリティの向上を推進した。</p>	A	A																													

小項目 3 3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標	<p>患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。</p> <p>また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。</p> <p>(1)患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。</p> <p>また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。</p> <p>さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。</p>
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価													
			自己点数	評価点数	コメント													
<p>3 患者の視点に立った病院運営</p> <p>患者との相互理解を深める取組や病院、医療情報の提供、患者の利便性の向上を図る取組を推進し、患者が自らの治療に主体的に関わることができるような患者の視点に立った病院運営を進める。</p> <p>(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>・患者、家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるよう、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進するとともに、クリティカルパスの適用範囲を拡大する。</p> <p><small>（参考）クリティカルパスの作成件数実績</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	48件	こども医療センター	22件	芹香病院	1件	がんセンター	23件	循環器呼吸器病センター	18件	<p>3 患者の視点に立った病院運営</p> <p>(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>・診療計画書を利用して治療内容を説明する等、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進する。</p> <p>・各病院においてクリティカルパスの適用拡大を推進する。</p>	<p>・各病院において、患者や家族が理解して医療を選択できるよう、インフォームドコンセントを推進するとともに、医療内容の標準化や共有化に向けたクリティカルパスの作成や見直しなど拡大に努めた。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・クリティカルパス検討会議（年6回）を開催し、平成26年度に「頸椎形成術」など新規のクリティカルパス3件を作成するとともに、「腰椎形成術」など2件の見直しを行った。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・クリティカルパス検討会議を1回開催し、泌尿器科、耳鼻咽喉科の27件のパスの見直しを行った。</p> <p>[精神医療センター]</p> <p>・6月に新病院開院に向けて設置した精神医療センタークリティカルパス会議を10回開催し、うつ病パスの評価・修正を行った。</p> <p>[がんセンター]</p> <p>・クリティカルパス検討会議を12回開催し、新規に「シスプラチン+ナベルピン療法クリティカルパス」をはじめとして14件を作成した。</p> <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <p>・クリティカルパス検討会議を7回開催し、適宜見直すとともに、新たに「デバイス植え込み手術」のパスを作成した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>患者や家族が安心して医療を受けられるよう、クリティカルパスにより入退院に必要な治療過程を説明を行い、インフォームドコンセントを推進することで医療の安全や医療の質の向上に寄与した。</p>	A	A	<p>全てにおいてクリティカルパスを導入できるわけではないので、作成件数だけではなく、クリティカルパスに適合しなかった症例の分析、それに対応するための評価・修正が適切に行われる体制整備が重要である。</p>
病院名	平成20年度																	
足柄上病院	48件																	
こども医療センター	22件																	
芹香病院	1件																	
がんセンター	23件																	
循環器呼吸器病センター	18件																	

(参考) [クリティカルパスの件数実績]

病院名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度			
					新規	改定(見直し)	廃止	件数
足柄上病院	66件	70件	71件	73件	3件	2件	0件	76件
こども医療センター	28件	29件	89件	88件	0件	27件	1件	87件
精神医療センター (芹香病院)	5件 3件	6件 3件	7件 3件	9件 4件	0件 0件	1件 1件	0件 0件	9件 4件
(せりがや病院)	2件	3件	4件	5件	0件	0件	0件	5件
がんセンター	50件	32件	37件	47件	14件	16件	0件	61件
循環器呼吸器病センター	18件	20件	21件	21件	1件	3件	0件	22件
計	167件	157件	225件	238件	18件	49件	1件	255件

課題

引き続き患者や家族が治療や検査内容を理解していただくよう、積極的にクリティカルパスの導入及び見直しを進め、適用の拡大を図っていく。

中期目標期間(22~26年度)に関する特記事項

各病院が患者や家族の医療への理解促進に努めた結果、中期計画期間においてクリティカルパスの件数は増加しており、インフォームドコンセントの推進や医療の標準化など、医療の質の向上に寄与した。

22~26年度

A

22~26年度

A

小項目 3 4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標	<p>患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。</p> <p>また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。</p> <p>(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。</p> <p>また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。</p> <p>さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。</p>
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>・患者、家族が安心して医療を受けられるよう、地域医療連携室等で医療、福祉についての多様な相談を実施する。</p> <p>また、がんセンターにおいては、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に対するがんの電話相談を充実する。</p> <p>(参考) がんセンターにおける電話相談件数実績 (平成21年度) 5,394件</p>	<p>・地域医療連携室等で、患者、家族が安心して医療を受けられるよう、医療、経済、福祉に関する多様な相談を受け、その妨げとなる不安解消のための情報提供及び助言を行う。</p> <p>・子ども医療センターは、小児がん拠点病院として、小児がん相談支援室を中心に、地域と連携して在宅の患者の支援を強化するため、地域の医療・福祉・教育機関からの相談に対応する。</p> <p>・子ども医療センターは、認定遺伝カウンセラー等を配置した「新しい命のためのサポートセンター」において、遺伝に係る心配・不安のある患者・家族、妊娠・出産・育児に不安のある人等に適切な遺伝情報や社会の支援体制等を含む様々な情報提供を行い、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する。</p> <p>・がんセンターは、「相談支援センター」において、がんに関する医療・福祉等の幅広い電話相談に応じる。 (参考)がんセンターにおける電話相談件数実績(平成24年度) 4,816件</p>	<p>・各病院の地域医療連携室等において、患者及び家族が医療内容を適切に理解し安心して治療や検査を行えるよう、医療関係のみならず福祉関係や経済関係の問題も含めた多様な相談に次のとおり対応した。</p> <p>[足柄上病院] 地域医療連携室、患者さん相談室において専門相談員が患者・家族との対面相談を行い、問題解決のための相談を実施した。</p> <p>[子ども医療センター] ・小児がん拠点病院として、小児がん相談支援室が中心となり、医師・小児看護専門看護師をはじめ、がん相談支援に関する研修を受けた相談員などが、小児がんに関する相談について、子ども医療センターの患者・家族のみならず、他病院の患者や地域医療機関等から1,107件(前年度比280件の増)の相談に対応した。</p> <p>・「新しい命のためのサポートセンター」では、産婦人科、遺伝科などの医師や認定遺伝カウンセラーらが先天性の障がいや疾患に関する相談に応じ、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援した。</p> <p>遺伝カウンセリング外来 79家族 妊娠前外来 27家族 胎児相談外来 35家族 胎児心臓病外来 延304人</p> <p>・神奈川県から受託している小児救急電話相談(#8000)事業について、14,747件(前年度比630件増)の相談に対応した。</p>	実績に対する評価	A	A	<p>新しい命のためのサポートセンターにおけるカウンセラーの配置、小児救急相談など、患者の視点に立った医療サービスに着実に取り組んでいる。</p>	
			課題				
					<p>病院内の相談窓口や実施している取組内容の掲示場所を工夫するなど、相談支援体制を充実する。</p>		

・がんセンターは、患者・家族のがんに対する不安や疑問に対応するため、相談個室、患者向けの情報コーナー、患者サロン等において、がんに関する各種情報の提供や、患者と同じ経験を持つ者による支援（ピア・サポート）等に取り組む。

[精神医療センター]

・福祉医療相談科において、救急・ストレスケアをはじめとした患者、家族からの各種相談に対応するとともに、病棟専任スタッフが患者や家族に対する医療観察法制度の説明や相談に応じる家族会を開催した。

・依存症により生じた家族関係や就業・経済的問題など、社会的側面の問題を持つ患者・家族からの相談に応じるとともに、急増した危険ハープ等で不安を抱えた家族の面接相談を積極的に行った。

[がんセンター]

・6月からがん情報サービスの電話相談と統合運営を開始した。

・医療相談支援室において、看護師又はソーシャルワーカーが、経済的問題及び家庭環境に係る医療福祉問題などの多様な相談に対応した。

・がんセンターは、患者・家族のがんに対する不安や疑問に対応するため、相談個室、患者向けの情報コーナー、患者サロン等において、がんに関する各種情報の提供や、患者と同じ経験を持つ者による支援（ピア・サポート）等に取り組んだ。

患者サロン運営回数 4回/月 利用者数 718名
情報コーナー 情報検索PC 2台

[循環器呼吸器病センター]

・地域連携室の看護師、ソーシャルワーカーが地域の医療機関を積極的に訪問し、連携を深めることにより、逆紹介をはじめとする医療相談や福祉相談の充実を図った。

(参考) [相談件数実績 (地域医療連携室等への診療相談)]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	11,473件	11,264件	11,439件	10,793件	13,366件
こども医療センター	24,130件	21,933件	27,137件	15,751件	16,768件
精神医療センター	4,863件	5,070件	5,315件	4,661件	4,586件
(芦香病院)	4,593件	4,679件	4,817件	4,208件	4,173件
(せりがや病院)	270件	391件	498件	453件	413件
がんセンター	9,825件	9,354件	8,352件	7,927件	8,787件
循環器呼吸器病センター	8,284件	11,416件	14,497件	13,786件	11,513件
計	58,575件	59,037件	66,740件	52,918件	55,020件

(参考) [がんセンターにおける相談件数 (内訳)]

平成26年度実績	医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計
相談延件数	8,601件	186件	8,787件
うち電話			4,447件

中期目標期間 (22~26年度) に関する特記事項

各病院において、患者や家族の医療や療養生活に対する問題などを軽減するため、多様な相談に対応するとともに、がんセンターは都道府県がん診療連携拠点病院として、またこども医療センターは小児がん拠点病院としての機能を生かした相談支援に努めた。

22~26年度

A

22~26年度

A

小項目 3 5 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標	<p>患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。</p> <p>また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。</p> <p>(1)患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。</p> <p>また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。</p> <p>さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。</p>
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																		
			自己点数	評価点数	コメント																																																																		
<p>・高度・専門医療を提供する医療機関として、セカンドオピニオンに積極的に取り組む。</p> <p>(参考) [セカンドオピニオン件数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>789件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	3件	こども医療センター	40件	芹香病院	5件	がんセンター	789件	循環器呼吸器病センター	48件	<p>・患者がより良い治療方法を自己決定できるように、ホームページによる案内に努める等、セカンドオピニオンを推進する。</p> <p>(参考) [セカンドオピニオン件数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>39件</td> <td>33件</td> <td>63件</td> <td>32件</td> <td>52件</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター (芹香病院)</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>12件</td> <td>11件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>(せりがや病院)</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>12件</td> <td>11件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>(せりがや病院)</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>686件</td> <td>668件</td> <td>689件</td> <td>792件</td> <td>819件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>43件</td> <td>40件</td> <td>55件</td> <td>51件</td> <td>72件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>772件</td> <td>747件</td> <td>819件</td> <td>886件</td> <td>948件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	足柄上病院	1件	2件	0件	0件	0件	こども医療センター	39件	33件	63件	32件	52件	精神医療センター (芹香病院)	3件	4件	12件	11件	5件	(せりがや病院)	2件	3件	12件	11件	5件	(せりがや病院)	1件	1件	0件	0件	0件	がんセンター	686件	668件	689件	792件	819件	循環器呼吸器病センター	43件	40件	55件	51件	72件	計	772件	747件	819件	886件	948件	<p>各病院において、患者自らが治療の理解を深め、納得して治療法を選択できるよう、ホームページへの掲載や院内での掲示などにより、セカンドオピニオンの推進に努めた。</p> <p>各病院においてホームページへの掲載や電話での対応などにより、セカンドオピニオンを推進した結果、こども医療センター、がんセンター、循環器呼吸器病センターで平成25年度件数を上回るなど、患者の適切な医療への理解及び選択に寄与した。</p> <p>課題</p> <p>引き続き、患者が治療法を納得して選択し、安心して医療が受けられるよう、セカンドオピニオンを積極的に推進していく。</p>	A	A	<p>他の病院から意見を求めて来る患者の積極的受入れについて努力が伺える。セカンドオピニオンには2つの側面があり、他病院の意見を聴きたいという院内患者の意向を快く受け入れ、支援する風土の醸成も重要である。</p>
	病院名	平成20年度																																																																					
足柄上病院	3件																																																																						
こども医療センター	40件																																																																						
芹香病院	5件																																																																						
がんセンター	789件																																																																						
循環器呼吸器病センター	48件																																																																						
区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																																		
足柄上病院	1件	2件	0件	0件	0件																																																																		
こども医療センター	39件	33件	63件	32件	52件																																																																		
精神医療センター (芹香病院)	3件	4件	12件	11件	5件																																																																		
(せりがや病院)	2件	3件	12件	11件	5件																																																																		
(せりがや病院)	1件	1件	0件	0件	0件																																																																		
がんセンター	686件	668件	689件	792件	819件																																																																		
循環器呼吸器病センター	43件	40件	55件	51件	72件																																																																		
計	772件	747件	819件	886件	948件																																																																		
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度																																																																			
<p>各病院において中期計画期間を通じてセカンドオピニオンを推進した結果、件数は足柄上病院を除く全ての病院が平成22年度を上回った。</p>			A	A																																																																			

小項目 3 6 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 3 患者の視点に立った病院運営
 - (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。
 また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。
 (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供
 患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。
 さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																																																																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																																																																																									
・県民の意見を反映し患者の視点に立った病院運営を実現するため、患者満足度調査等を実施する。 (参考) [満足度調査結果(平成22年度)] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">入院</th> <th colspan="2">外来</th> </tr> <tr> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>125人</td> <td>95.6%</td> <td>450人</td> <td>51.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>216人</td> <td>79.0%</td> <td>1,180人</td> <td>53.3%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>136人</td> <td>65.5%</td> <td>272人</td> <td>62.0%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>44人</td> <td>66.5%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>285人</td> <td>91.5%</td> <td>787人</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>136人</td> <td>88.2%</td> <td>215人</td> <td>85.6%</td> </tr> </tbody> </table> 「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。	区分	入院		外来		回答総数	満足度	回答総数	満足度	足柄上病院	125人	95.6%	450人	51.0%	こども医療センター	216人	79.0%	1,180人	53.3%	芹香病院	136人	65.5%	272人	62.0%	せりがや病院	44人	66.5%	-	-	がんセンター	285人	91.5%	787人	83.1%	循環器呼吸器病センター	136人	88.2%	215人	85.6%	・県民の意見を反映し、患者の視点に立った病院運営を実現するため、各病院で患者満足度調査等を実施し、全体的な病院の評価（総合的な満足度）の結果を公表する。 (参考) [満足度調査結果(平成24年度)] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">入院</th> <th colspan="4">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>93人</td> <td>98人</td> <td>94.9%</td> <td>200</td> <td>217人</td> <td>258人</td> <td>84.1%</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>135人</td> <td>158人</td> <td>85.4%</td> <td>313</td> <td>723人</td> <td>972人</td> <td>74.4%</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>69人</td> <td>111人</td> <td>62.2%</td> <td>127</td> <td>171人</td> <td>345人</td> <td>49.6%</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>33人</td> <td>43人</td> <td>76.7%</td> <td>52</td> <td>98人</td> <td>105人</td> <td>93.3%</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>284人</td> <td>311人</td> <td>91.3%</td> <td>378</td> <td>574人</td> <td>704人</td> <td>81.5%</td> <td>843</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>163人</td> <td>185人</td> <td>88.1%</td> <td>400</td> <td>342人</td> <td>397人</td> <td>86.1%</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> 「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。	区分	入院				外来				満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数	足柄上病院	93人	98人	94.9%	200	217人	258人	84.1%	390	こども医療センター	135人	158人	85.4%	313	723人	972人	74.4%	2,000	芹香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345	せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112	がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843	循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600	・各病院において、患者の病院に対する評価や意見を把握し、改善を図るため、入院・外来患者を対象とした患者満足度調査を実施するなど、患者サービスの向上に努めた。 ・患者満足度調査においては、共通項目として、「全体的にこの病院に満足している」の設問を設定しており、その結果は次のとおり。	実績に対する評価 各病院において患者満足度調査を実施し、意見や評価の把握に努めるとともに、結果を踏まえた改善に努めるなど、患者が利用しやすい病院づくりに努めた。	A	A	平成22年度と比べて満足度が向上しており、努力の結果が伺える。 また、満足度調査は実施することも重要だが、結果をどう改善につなげたかも重要であり、多様な意見を取り入れ改善していこうとする姿勢が実績から見て取れる。 このことは、潜在的に医療訴訟の減少にも寄与していると推定される。																																																																										
		区分	入院		外来																																																																																																																																																																																									
回答総数	満足度		回答総数	満足度																																																																																																																																																																																										
足柄上病院	125人	95.6%	450人	51.0%																																																																																																																																																																																										
こども医療センター	216人	79.0%	1,180人	53.3%																																																																																																																																																																																										
芹香病院	136人	65.5%	272人	62.0%																																																																																																																																																																																										
せりがや病院	44人	66.5%	-	-																																																																																																																																																																																										
がんセンター	285人	91.5%	787人	83.1%																																																																																																																																																																																										
循環器呼吸器病センター	136人	88.2%	215人	85.6%																																																																																																																																																																																										
区分	入院				外来																																																																																																																																																																																									
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数																																																																																																																																																																																						
足柄上病院	93人	98人	94.9%	200	217人	258人	84.1%	390																																																																																																																																																																																						
こども医療センター	135人	158人	85.4%	313	723人	972人	74.4%	2,000																																																																																																																																																																																						
芹香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345																																																																																																																																																																																						
せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112																																																																																																																																																																																						
がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843																																																																																																																																																																																						
循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600																																																																																																																																																																																						
(参考) [満足度調査結果(平成23年度)] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">入院</th> <th colspan="3">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>95人</td> <td>99人</td> <td>96.0%</td> <td>171人</td> <td>221人</td> <td>77.4%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>129人</td> <td>160人</td> <td>80.6%</td> <td>1,012人</td> <td>1,298人</td> <td>78.0%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>79人</td> <td>125人</td> <td>63.2%</td> <td>156人</td> <td>301人</td> <td>51.8%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>31人</td> <td>43人</td> <td>72.1%</td> <td>131人</td> <td>165人</td> <td>79.4%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>261人</td> <td>295人</td> <td>88.5%</td> <td>630人</td> <td>765人</td> <td>82.4%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>183人</td> <td>210人</td> <td>87.1%</td> <td>365人</td> <td>412人</td> <td>88.6%</td> </tr> </tbody> </table> 「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。	区分	入院			外来			満足評価	回答総数	満足度	満足評価	回答総数	満足度	足柄上病院	95人	99人	96.0%	171人	221人	77.4%	こども医療センター	129人	160人	80.6%	1,012人	1,298人	78.0%	芹香病院	79人	125人	63.2%	156人	301人	51.8%	せりがや病院	31人	43人	72.1%	131人	165人	79.4%	がんセンター	261人	295人	88.5%	630人	765人	82.4%	循環器呼吸器病センター	183人	210人	87.1%	365人	412人	88.6%	(参考) [満足度調査結果(平成25年度)] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">入院</th> <th colspan="4">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>73人</td> <td>78人</td> <td>93.6%</td> <td>200</td> <td>187人</td> <td>226人</td> <td>82.7%</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>178人</td> <td>193人</td> <td>92.2%</td> <td>352</td> <td>723人</td> <td>913人</td> <td>79.2%</td> <td>1,717</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>82人</td> <td>121人</td> <td>67.8%</td> <td>158</td> <td>138人</td> <td>280人</td> <td>49.3%</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>30人</td> <td>35人</td> <td>85.7%</td> <td>39</td> <td>123人</td> <td>139人</td> <td>88.5%</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>313人</td> <td>332人</td> <td>94.3%</td> <td>344</td> <td>720人</td> <td>789人</td> <td>91.3%</td> <td>876</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>161人</td> <td>178人</td> <td>90.4%</td> <td>300</td> <td>362人</td> <td>405人</td> <td>89.4%</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> 「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。	区分	入院				外来				満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数	足柄上病院	73人	78人	93.6%	200	187人	226人	82.7%	400	こども医療センター	178人	193人	92.2%	352	723人	913人	79.2%	1,717	芹香病院	82人	121人	67.8%	158	138人	280人	49.3%	280	せりがや病院	30人	35人	85.7%	39	123人	139人	88.5%	159	がんセンター	313人	332人	94.3%	344	720人	789人	91.3%	876	循環器呼吸器病センター	161人	178人	90.4%	300	362人	405人	89.4%	600	(参考) [満足度調査結果(平成26年度)] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">入院</th> <th colspan="4">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>69人</td> <td>75人</td> <td>92.0%</td> <td>200</td> <td>205人</td> <td>243人</td> <td>84.4%</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>129人</td> <td>132人</td> <td>97.7%</td> <td>328</td> <td>840人</td> <td>863人</td> <td>97.3%</td> <td>1,936</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>110人</td> <td>163人</td> <td>67.5%</td> <td>209</td> <td>157人</td> <td>250人</td> <td>62.8%</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>324人</td> <td>348人</td> <td>93.1%</td> <td>670</td> <td>798人</td> <td>887人</td> <td>90.0%</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>188人</td> <td>205人</td> <td>91.7%</td> <td>400</td> <td>271人</td> <td>315人</td> <td>86.0%</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> 「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。	区分	入院				外来				満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数	足柄上病院	69人	75人	92.0%	200	205人	243人	84.4%	400	こども医療センター	129人	132人	97.7%	328	840人	863人	97.3%	1,936	精神医療センター	110人	163人	67.5%	209	157人	250人	62.8%	276	がんセンター	324人	348人	93.1%	670	798人	887人	90.0%	1,000	循環器呼吸器病センター	188人	205人	91.7%	400	271人	315人	86.0%	600
区分		入院			外来																																																																																																																																																																																									
	満足評価	回答総数	満足度	満足評価	回答総数	満足度																																																																																																																																																																																								
足柄上病院	95人	99人	96.0%	171人	221人	77.4%																																																																																																																																																																																								
こども医療センター	129人	160人	80.6%	1,012人	1,298人	78.0%																																																																																																																																																																																								
芹香病院	79人	125人	63.2%	156人	301人	51.8%																																																																																																																																																																																								
せりがや病院	31人	43人	72.1%	131人	165人	79.4%																																																																																																																																																																																								
がんセンター	261人	295人	88.5%	630人	765人	82.4%																																																																																																																																																																																								
循環器呼吸器病センター	183人	210人	87.1%	365人	412人	88.6%																																																																																																																																																																																								
区分	入院				外来																																																																																																																																																																																									
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数																																																																																																																																																																																						
足柄上病院	73人	78人	93.6%	200	187人	226人	82.7%	400																																																																																																																																																																																						
こども医療センター	178人	193人	92.2%	352	723人	913人	79.2%	1,717																																																																																																																																																																																						
芹香病院	82人	121人	67.8%	158	138人	280人	49.3%	280																																																																																																																																																																																						
せりがや病院	30人	35人	85.7%	39	123人	139人	88.5%	159																																																																																																																																																																																						
がんセンター	313人	332人	94.3%	344	720人	789人	91.3%	876																																																																																																																																																																																						
循環器呼吸器病センター	161人	178人	90.4%	300	362人	405人	89.4%	600																																																																																																																																																																																						
区分	入院				外来																																																																																																																																																																																									
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数																																																																																																																																																																																						
足柄上病院	69人	75人	92.0%	200	205人	243人	84.4%	400																																																																																																																																																																																						
こども医療センター	129人	132人	97.7%	328	840人	863人	97.3%	1,936																																																																																																																																																																																						
精神医療センター	110人	163人	67.5%	209	157人	250人	62.8%	276																																																																																																																																																																																						
がんセンター	324人	348人	93.1%	670	798人	887人	90.0%	1,000																																																																																																																																																																																						
循環器呼吸器病センター	188人	205人	91.7%	400	271人	315人	86.0%	600																																																																																																																																																																																						

		<p>< 患者満足度調査の意見を踏まえた取組 > [足柄上病院] ・ 病院敷地内の休憩広場に、患者さんが楽しめるよう季節の花を植えたプランター50鉢を設置した。</p> <p>[こども医療センター] ・ ホームページをこどもも親しみやすいデザインにするなどのリニューアルを行った。 ・ 幼児向け以外の図書も購入し、プレイルームや待合室に配架した。 ・ エレベータの行き先の違いが分かるようにデザインを改めた。 ・ 外来食堂でメニューの多様化を図ったほか、呼び出しシステムを導入し、利用者が待ち時間を負担に感じないような工夫を行った。</p> <p>[精神医療センター] ・ 新病院開院に伴い、コンビニエンスストアや食堂、ATMを整備するとともにラウンジにテーブルやイスを設置した。 ・ 外来看護師が定期的にラウンドを実施し、車の乗降などを補助した。</p> <p>[がんセンター] ・ 入院、外来、化学療法などの料金表を作成することで患者や家族にとって費用が明確にわかるように工夫した。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・ 患者・家族の来院時の利便性向上のため、無料送迎バスの最終便の延長、駐車場事前精算機の新設、歩道の改修工事等を実施した。</p> <p>< その他患者サービス向上の取組 > [こども医療センター] ・ 患者家族待合室やトイレの内装の改修を行ったほか、一部病棟に給茶機を設置し、患者・家族が快適に病院を利用できるような取組を行った。 ・ 病棟内でお好み焼き、ハローウィングクッキー作りなどの親子イベント給食を実施し、患者の栄養支援の強化を図った。</p> <p>[がんセンター] ・ 情報コーナーに栄養サポートに関するパネルを掲示し、季節ごとの簡単料理メニューの献立を配布するなど外来満足度向上に向けた取り組みを行った。また、入院患者に対して年3回の嗜好調査を実施し、給食に取り入れることで汁物とおかずについて満足度が向上した。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>今後も、患者サービスを向上するため、患者満足度調査の結果を全職員が認識し、意見の反映に努めるとともに、全病院がその結果及び改善策を共有するなど、機構全体の病院運営に繋げていく必要がある。</p>		
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項		22～26年度	22～26年度		
各病院において、患者満足度調査の実施をはじめとした患者の意見の把握及び改善に努めるなど、患者サービスの向上に寄与した。		A	A		

小項目 3 7 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (2) 県民への病院・医療情報提供の充実

中期目標

疾患・予防等に関する知識や県立病院が行う治療の方法と実績等を、広く県民に、分かりやすく情報発信し、普及・啓発を行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
			自己点数	評価点数	コメント																						
<p>(2) 県民への病院・医療情報提供の充実</p> <p>疾患・予防等に関する知識について、公開講座等を通じて、広く県民に普及、啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法と実績やがんセンターにおける都道府県がん診療連携拠点病院としての情報等について、ホームページや広報誌等を通じて、情報発信を行う。</p>	<p>(2) 県民への病院・医療情報提供の充実</p> <p>・地域保健医療活動として公開講座等を通じて、疾患・予防等に関する知識の普及、啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法や実績、がんの診断や治療に関する情報等を、ホームページや広報誌等を通じて提供する。</p> <p>〔公開講座の実績と目標値〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>19回</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>8回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>9回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>52回</td> <td>50回</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成24年度実績	平成26年度目標値	足柄上病院	19回	20回	こども医療センター	12回	12回	精神医療センター	8回	6回	がんセンター	4回	4回	循環器呼吸器病センター	9回	8回	計	52回	50回	<p>・各病院の有する機能や特性を踏まえた治療法、また医療情報を適切に理解していただくため、各病院において、次のとおり公開講座の開催や広報誌、及びホームページを通じた情報の提供に努めた。</p> <p>・ホームページについて、動画の掲載を開始するとともに、ツイッターやブログを活用した講座やセミナーのお知らせや院内イベントの掲載を行うなど、より親しみやすい内容と見やすい構成とした。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・公開講座等の開催（20回） 医学講座（2回）「ときどき入院、ほぼ在宅」など 出前講座（12回）「給食従事者のための腰痛予防」など 講演会（6回）「糖尿病について」</p> <p>・広報誌の発行 病院情報誌「かけはし」の発行及び病院ホームページへの掲載（年3回）発行部数 2,000部 タウンニュース掲載 医療レポート 年5回</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・公開講座等の開催 「学術集談会」「公開講座」「小児救急キッズセミナー」「心肺蘇生講習会」「小児がん相談支援セミナー」など22回開催したほか、百貨店と連携したアレルギー講演会を1回開催した。</p> <p>・ホームページをこどもも親しみやすいデザインにするなどのリニューアルを行ったほか、英語版、中国語版、韓国・朝鮮語版のホームページを整備した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・各病院において、医療知識を正しく取得していただくため、公開講座や広報誌、ホームページなどを通じて情報発信し、普及啓発に努めた。</p> <p>・公開講座の開催回数は、こども医療センター、精神医療センター、がんセンターにおいて目標値を上回り、積極的に情報提供を推進した。</p>	A	A	<p>公開講座や情報誌の発行等、患者の視点を取り入れた取組みに力を入れており、患者獲得や地域の医療水準の向上に寄与している。</p> <p>なお、公開講座への参加者数（加えて、参加者の満足度）を把握できるとより望ましい。</p>
		病院名	平成24年度実績	平成26年度目標値																							
足柄上病院	19回	20回																									
こども医療センター	12回	12回																									
精神医療センター	8回	6回																									
がんセンター	4回	4回																									
循環器呼吸器病センター	9回	8回																									
計	52回	50回																									
<p>課題</p> <p>引き続き、県民のニーズの把握とに努め、多様な媒体を活用してタイムリーに発信していくとともに、より多くの方に提供できるよう、提供方法や内容についても検討していく必要がある。</p>																											

[こども医療センター続き]
・広報誌の発行
「こども医療通信」季刊 発行部数3,000部～5,000部
「地域連携室だより」年3回 発行部数3,000部

・医師や看護師を志す高校生や地域の方々を対象とした病院見学会を開催した。

・ファシリティ・ドッグ「ベイリー」をはじめ、各診療科の医師や看護師などがテレビや新聞などの取材を受けたほか、毎週土曜日、FM戸塚のラジオ番組「ラジオの絆」で病院の様々な取組の紹介を行った。

[精神医療センター]
・公開講座等の開催
「うつ病診断補助の臨床マーカー最前線 - 目に見えるようになりつつあるこころの病 - 」など8回

・広報誌の発行
センターだより 1,500部

・新病院の開院にあわせてホームページを更新するとともに、外来・入院のご案内など各種パンフレットを作成した。

[がんセンター]
・公開講座等の開催
「科学技術週間公開講座」、「市民講座」、「ブラックジャックセミナー」、「重粒子線について」など7回

・広報誌「がんセンターだより」年3回発行 2,250部

・ホームページのリニューアル
見やすく、分かりやすいように、写真やイラストなどを盛り込み、分かりやすい医療情報の提供に努めた。

[循環器呼吸器病センター]
・公開講座等の開催
「COPD・禁煙・呼吸リハビリ」など8回

・広報誌の発行
「肺がん包括センターだより（年10回発行）」など

(参考) [公開講座の実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
				目標値	実績	目標値	実績
足柄上病院	12回	13回	19回	18回	17回	20回	20回
こども医療センター	9回	8回	12回	8回	19回	12回	23回
精神医療センター (芹香病院)	5回	9回	8回	13回	16回	6回	8回
(せりがや病院)	4回	7回	7回	12回	15回		
	1回	2回	1回	1回	1回		
がんセンター	6回	3回	4回	4回	5回	4回	7回
循環器呼吸器病センター	10回	8回	9回	7回	8回	8回	8回
計	42回	41回	52回	50回	65回	50回	66回

中期目標期間(22~26年度)に関する特記事項

各病院において、治療法や疾患情報を多くの方に知っていただくため、公開講座や広報誌、またホームページを用いた情報提供を推進した。

22~26年度

A

22~26年度

A

小項目 3 8 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
 また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
(3) 患者の利便性の向上 ・診療、検査、支払等の待ち時間を短縮するための取組や、在院日数の適正化により待機患者の減少を図る取組を実施し、患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるようにする。	(3) 患者の利便性の向上 ・各病院において、待ち時間に対する満足度調査を実施し、予約制度の運用の工夫、見直しなどによる待ち時間の改善や、患者に待ち時間を負担に感じさせない取組を引き続き行う。 ・がんセンターは、会計、入退院・検査予約、相談などの窓口の一元化により、患者の利便性の向上を図る。また、外来の診察が近づいたことを知らせる患者呼出機及び、情報コーナー等を活用し、外来患者が待ち時間を有効に利用できる工夫を図る。 ・精神医療センター及び循環器呼吸器病センターは、電子カルテシステムの導入に伴い、外来患者の診察待ち状況を表示する機器を設置するなど患者の待ち時間の負担軽減を図る。	・各病院において、待ち時間の短縮を図るとともに、患者の負担を軽減する取組を行った。 ・診療の待ち時間に対する患者満足度調査を行っている足柄上病院及びがんセンターでは約6割、精神医療センター及び循環器呼吸器病センターでは約7割の利用者が「満足」や「普通」という旨の回答であった。 ・各病院が行った待ち時間対策は次のとおり。 [足柄上病院] ・外来待合室に医療情報用ディスプレイやタッチパネルパソコンによる認知症スクリーニング用プログラム及び全自動血圧計を設置することなどにより、待ち時間の負担軽減を図った。 [こども医療センター] ・採血時に検査科と外来看護師が連携し、受付などの業務を行い、検査待ち時間の短縮を図った。 ・クレジットカードによる入院費用支払保証書の提出を受け、月初や退院時の会計手続を不要とし、会計待ちを不要とするサービスに積極的に取り組んだ。 ・院外の調剤薬局における待ち時間短縮のため、患者が処方箋を調剤薬局へ送信できるようファックスを設置した。 ・患者の手術室入室後、家族にPHSを渡し、待ち時間に対する負担軽減を図った。	実績に対する評価	A	A	待ち時間についてはある程度は仕方ない部分があり、いつ呼ばれるかわからず、一定場所で待ち続けなければならないといった行動の制約をいかに減らすことができるかが待ち時間対策のポイントである。 がんセンターで取り入れた患者呼び出しカード制度は良い取組みであり、他の病院においても待ち時間対策への工夫が伺える。
			待ち時間対策の推進により、患者の負担感を軽減し利便性の向上を図った。			
			課題			
			待ち時間に対する患者の負担感を軽減する取組を引き続き行っていく必要がある。			

[精神医療センター]
 ・院外処方 の推進により、外来の待ち時間の短縮を図るとともに、電子カルテシステムの稼働に合わせて外来患者の診察待ち状況や会計待ち状況を表示する機器を設置し、待ち時間の負担軽減を図った。

[がんセンター]
 ・外来診療待機用にソファ及び椅子を配置した。

[循環器呼吸器病センター]
 ・平成27年1月の電子カルテシステムの稼働に合わせて診察の進行状況を表示する案内板を外来各所に設置したほか、外来待合室のテレビや照明を増設するなど、待ち時間の負担軽減に努めた。

(参考) [外来診療待ち時間実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	90分程度	60分程度	60分程度	60分程度	60分程度
こども医療センター	35分程度	30分程度	30分程度	30分程度	20分程度
精神医療センター (芹香病院)	35分程度	30分程度	20分程度	10分程度	20分程度
(せりがや病院)	30分程度	20分程度	20分程度	20分程度	
がんセンター	50分程度	50分程度	40分程度	40分程度	35分程度
循環器呼吸器病センター	45分程度	60分程度	60分程度	50分程度	45分程度

中期目標期間 (22 ~ 26年度) に関する特記事項

外来診療待ち時間については、平成22年度と比較すると短縮傾向にあり、取組の成果が表れている。

22 ~ 26年度 22 ~ 26年度

A

A

小項目 3 9 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
 また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価							
			自己点数	評価点数	コメント							
・休日・時間外における支払窓口の開設やコンビニエンスストアやクレジットカードでの支払等に取り組み。	・支払方法の選択範囲を拡げるとともに、支払待ち時間を短縮して患者等が診療終了後速やかに病院から帰れるようにするため、デビットカードサービスの利用、コンビニエンスストア収納、休日・時間外における支払窓口の開設等を引き続き行う。	クレジットカード、デビットカード及びコンビニエンスストア収納の利用件数は次のとおりであり、実績は増加している。	実績に対する評価		A	A	支払環境の充実は、現在では必須の取組みであり、ニーズに対応できている。					
			多くの患者に対して、多様な支払方法を提供することにより、患者の利便性の向上を図ることができた。									
(参考) [クレジットカード、デビットカード、コンビニ収納利用件数の実績]												
		クレジットカード			デビットカード							
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		足柄上病院	4,886件	4,993件	5,194件	6,360件	6,959件	18件	28件	39件	47件	52件
		こども医療センター	8,926件	8,947件	9,649件	10,798件	11,202件	118件	107件	102件	102件	121件
		精神医療センター (荻香病院)	2,315件	2,171件	2,501件	1,707件	2,028件	177件	104件	132件	91件	183件
		(せりがや病院)	2,068件	1,724件	2,029件	1,130件	1,577件	175件	96件	131件	84件	172件
			247件	447件	472件	577件	451件	2件	8件	1件	7件	11件
		がんセンター	25,692件	25,773件	29,763件	35,347件	45,337件	1,202件	1,702件	1,189件	1,415件	2,554件
		循環器呼吸器病センター	9,708件	9,505件	10,572件	12,031件	13,105件	52件	234件	221件	181件	178件
		計	51,527件	51,389件	57,679件	66,243件	78,631件	1,567件	2,175件	1,683件	1,836件	3,088件
		コンビニ収納					合計					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		足柄上病院	960件	850件	801件	611件	854件	5,864件	5,871件	6,034件	7,018件	7,865件
		こども医療センター	81件	187件	951件	1,147件	1,572件	9,125件	9,241件	10,702件	12,047件	12,895件
		精神医療センター (荻香病院)	1,188件	1,105件	2,132件	978件	1,200件	3,680件	3,380件	4,765件	2,776件	3,411件
		(せりがや病院)	977件	834件	1,601件	769件	1,077件	3,220件	2,654件	3,761件	1,983件	2,826件
			211件	271件	531件	209件	123件	460件	726件	1,004件	793件	585件
		がんセンター	152件	49件	22件	43件	43件	27,046件	27,524件	30,974件	36,805件	47,934件
		循環器呼吸器病センター	276件	346件	352件	162件	48件	10,036件	10,085件	11,145件	12,374件	13,331件
		計	2,657件	2,537件	4,258件	2,941件	3,717件	55,751件	56,101件	63,620件	71,020件	85,436件

小項目 40 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (4) ボランティア・NPOとの協働

中期
目標

様々な県民ニーズに対応したボランティア活動を行うボランティアやNPOの協力を得て、療養の支援を図る取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>(4) ボランティア・NPOとの協働</p> <p>・ボランティアの協力の下、県立病院の案内業務や患者のレクリエーション活動等を実施する。</p> <p>・こども医療センター入院患者の家族滞在施設の運営を支援する。</p>	<p>(4) ボランティア・NPOとの協働</p> <p>・ボランティアの協力を得て、案内業務、患者のレクリエーション活動、療養の支援等を行う。</p> <p>・通訳ボランティアによる外国籍患者への支援を進める。</p> <p>・こども医療センターは、入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、利用希望者等からの相談、紹介等を通じて運営の支援を行う。</p> <p>・こども医療センターは、NPOから提供されたファシリティドッグを活用した動物介在療法を実施する。</p> <p>・がんセンターは、患者の生活の質の向上、がん患者の不安や悩みの軽減を図るため、情報コーナー、患者サロンを活用し、患者団体、ボランティアとの協働によるピア・サポート等の取組を充実させる。</p>	<p>・日本語を母国語としない患者の診療等の際に、患者と医療スタッフとのコミュニケーションを補助し、治療を円滑に行うことを目的とした通訳ボランティアの支援を受けた。 延利用件数：472件</p> <p>・各病院において、ボランティア団体等の協力による院内案内や飾りつけ、コンサートなどの患者への安らぎを与える様々な活動を次のとおり推進した。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・ランバス、杉の子会、松田絵手紙の会、音楽ボランティア会、受付介助ボランティア会の各団体との連携により、多岐にわたる活動が行われた。</p> <p>・平成26年度から認知症やせん妄状態にある患者の見守りや話し相手などを行なう看護職ボランティアを募集し、5名のボランティアの方が病棟で活動している。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・患者の療養環境の向上や診療に対する恐怖感の軽減のため、28団体のボランティア団体（統括組織：オレンジクラブ、構成員：376人）の協力により、各種活動（演奏会、遊び相手、生け花、園芸、装飾品の作成・展示等）や療育支援（介添え、院内誘導等）が行われた。</p> <p>・入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）に対し、利用希望者等からの相談、紹介等を通じて運営の支援を行った。 利用家族数 420家族 利用者数 4,923人 延べ宿泊数 2,456日</p> <p>・NPOから提供されたファシリティドッグを活用し、こころの診療病棟の患者を対象に治療の補助として用いる動物介在療法を実施したほか、病棟のプレイルーム等における患者・家族との触れ合いによる動物介在活動を4,998回実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>足柄上病院で新たに看護職ボランティアが活動するなど、各病院においてボランティア団体等の協力支援を受けて、患者が社会との繋がりや安らぎを感じる環境作りを推進した。</p>	A	A	<p>特にがんセンター、こども医療センターでは大切な取組みであり、引き続き積極的に取り組むことを期待する。</p>
			課題			<p>今後も患者のニーズに応えるため、ボランティア団体等との連携、協働し、多様な活動を推進するなど、患者サービスの向上に努めて行く。</p>

[こども医療センター続き]
 ・ NPO からサンタの病棟訪問やボニーの病院訪問を受けたほか、篤志家からメリーゴーランド、クリスマスイルミネーションの提供を受けることなどを通じ、患者の入院生活の質の向上や診療に対する恐怖感の軽減に努めた。

[精神医療センター]
 ・ ボランティアの協力を得て、患者の社会性を養うことなどを目的としたデイケアプログラムを2回開催した。

・ 依存症の患者や家族で構成する自助グループ（断酒会・AA）等の協力を得て、入院患者に対し、治療プログラムを実施した。

[がんセンター]
 ・ 患者の生活の質の向上、がん患者の不安や悩みの軽減を図るため、情報コーナー、患者サロンを活用した。また、患者団体、ボランティアとの協働によるピア・サポート等の取組を充実させた。

・ ボランティア団体により、ひな祭りや七夕等季節の催し、移動図書、病棟・外来案内、音楽(ミニコンサート)ボランティア及び緩和ケア病棟での散歩や話し相手等の協力を得た。

[循環器呼吸器病センター]
 ・ 患者が安心して診療を受けられるようボランティア2団体の協力により、院内案内、車いすの介助、移動図書の巡回、園芸活動、ミニコンサートなどの催し等を行った。

(参考) [ボランティア団体数]

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	5	5	5	5
こども医療センター	25	26	27	28
精神医療センター	8	8	9	7
(芹香病院)	2	2	7	
(せりがや病院)	6	6	2	
がんセンター	2	2	2	2
循環器呼吸器病センター	2	2	2	2
計	42	43	45	44

中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項

22～26年度 22～26年度

各病院がボランティア団体等の支援を得た各種の活動により、患者や家族の生活の質の向上に寄与した。

A

A

小項目 4 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (1) 医師の確保と育成

中期目標	<p>医療を提供する基盤である医師や看護師等の医療従事者の確保に努めるとともに、人材の育成に向けた研修等の充実に努めること。</p> <p>(1) 医師の確保と育成</p> <p>質の高い医療を継続的に提供するため、優秀な医師の確保に努めること。</p> <p>また、初期臨床研修医及び後期臨床研修医等を積極的に受け入れ、次代を担う若い医師を育成するとともに、医師の専門性の向上に努めること。</p>
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>4 医療人材の確保と育成</p> <p>神奈川県における保健医療施策として求められる質の高い医療を継続的に提供するため、医師や看護師等の医療従事者の確保と育成に努めるとともに、勤務環境の改善や資質向上の機会の拡大等、医療従事者を支援する取組を推進する。</p> <p>(1) 医師の確保と育成</p> <p>・広く一般から優秀な人材を確保するため、医師の公募を行う。</p> <p>・初期臨床研修医、後期臨床研修医を積極的に受け入れるため、教育研修体制を強化するとともに、後期臨床研修医が研修に専念できるよう、待遇面等について充実に図る。</p>	<p>4 医療人材の確保と育成</p> <p>(1) 医師の確保と育成</p> <p>・連携協力のある大学医学部の医局ローテーションを医師確保の基礎としつつ、公募や医師の人的ネットワークも活用して、優秀な人材を確保する。</p> <p>・専門性の向上につながる魅力的な教育・研修体制を充実させるなど、後期臨床研修医の積極的な受入れに努める。</p> <p>・こども医療センターは、連携大学院の協定を締結した横浜市立大学や慶應義塾大学と共に、医師の確保・育成体制を強化する。</p> <p>・こども医療センターは、「神奈川小児医療専門医研修ネットワーク」を通じて、各病院で採用した研修医が、ネットワーク内の協定締結病院において研修医として勤務できるよう制度の普及・推進を図る。</p>	<p>・平成27年3月31日時点で、後期臨床研修医を除く医師の必要数320人のところ、現員数が298人（3月31日付退職者を含む）で、充足率は93.1%である。</p> <p>・医師確保については、連携協力のある大学医学部からの医局ローテーションを基礎としつつ、それ以外の手法（公募や人的ネットワークの活用）による採用とあわせ、平成26年度は72人（前年度比1人減）採用した。</p> <p>・後期臨床研修医については、足柄上病院1人（前年度比増1人）、こども医療センター46人（同5人）、がんセンター29人（同1人減）、循環器呼吸器病センター6人（同1人減）と前年度比6人減の合計82人を受け入れた。</p> <p>[こども医療センター、がんセンター]</p> <p>・連携大学院の協定を締結した横浜市立大学等と共に、医師の確保や育成を推進した。（客員教授等への就任）</p> <p>こども医療センター医師5名 がんセンター医師1名、化学職3名 （社会人大学院への就学） こども医療センター医師4名 がんセンター医師2名 （大学院生の受入） こども医療センター 1名</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・県内医療機関が相互に連携して小児医療臨床研修を実施し、小児専門医を育成する「神奈川小児医療専門医研修ネットワーク」の発足に向け、検討を行った。</p>	実績に対する評価		A	A	<p>平成22年度に厚生労働省が実施した実態調査によれば、神奈川県内における正規医師の充足率は90.4%（全国では86.0%）であり、県立病院機構における充足率93.1%はこれを上回る水準である。</p> <p>一方、産婦人科医、麻酔科医は不足しており、引き続き医師確保に向けた努力が必要である。</p>
			課題				

・がんセンターは、医師主導の臨床研究を推進するとともに、医師の専門医・認証医の取得を支援する。

・がんセンターは、平成27年中の重粒子線治療開始に向け、重粒子線治療を行っている施設へ医師等を先行して派遣し、人材育成を行う。

[がんセンター]

・平成26年度は7人ががん専門医を取得するとともに、独立行政法人放射線医学総合研究所へ医師1名、診療放射線技師2名を派遣するなど、人材育成を推進した。

(参考)[後期臨床研修医の採用数の実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	2人	2人	2人	0人	1人
こども医療センター	43人	43人	43人	51人	46人
精神医療センター	0人	0人	1人	0人	0人
がんセンター	28人	28人	31人	30人	29人
循環器呼吸器病センター	5人	5人	7人	7人	6人
計	78人	78人	84人	88人	82人

中期目標期間(22~26年度)に関する特記事項

神奈川県における保健医療施策として求められる質の高い医療を継続的に提供するため、医師確保に努めた結果、麻酔科や産科など、一部の診療科で医師の不足があったものの、全体としては必要な医師の確保を図ることができた。

A

A

小項目 4 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>
 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 4 医療人材の確保と育成
 (2) 看護師の確保と育成

中期目標
 質の高い看護を継続的に提供するため、看護師の確保に努めるとともに、
 看護師の能力を向上させるための研修を実施し、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師の資格取得を促進すること。
 また、看護学生の実習を積極的に受け入れ、看護師の育成に寄与すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																				
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																				
<p>(2) 看護師の確保と育成</p> <p>・質の高い看護を継続的に提供するため、看護師養成機関との連携や就職説明会の開催、採用試験の複数回実施等により、看護師の確保を図る。</p> <p>・看護師の看護教育に関する能力等を向上させるため、キャリアパスによるキャリア開発とその支援を行うための研修を実施するとともに、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師を、その資格が活用できる職場に積極的に配置する。</p>	<p>(2) 看護師の確保と育成</p> <p>・県立看護専門学校や保健福祉大学と連携して学生向け説明会を実施するとともに、民間企業主催の合同就職説明会にも積極的に参加を図る。さらに、採用試験の毎月実施により受験を促進するなど、看護師確保を図る。</p> <p>・カウンセラーの配置や院内保育等、職員がより働きやすい環境作りを促進し、看護師の定着対策を図る。</p> <p>[看護師採用必要数]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>平成26年4月1日看護師数（見込）</td> <td style="text-align: right;">1,543人</td> </tr> <tr> <td>欠員数（要補充）（A）</td> <td style="text-align: right;">43人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度退職見込数（過去3年の平均）（B）</td> <td style="text-align: right;">153人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度採用必要数（A+B）</td> <td style="text-align: right;">196人</td> </tr> </table> <p>・看護師等の養成施設に在学する学生に修学資金を貸付けることで、その学生の修学を容易にし、病院機構の病院に勤務する環境を整えることを目的とした修学資金貸付制度を実施する。</p>	平成26年4月1日看護師数（見込）	1,543人	欠員数（要補充）（A）	43人	平成25年度退職見込数（過去3年の平均）（B）	153人	平成25年度採用必要数（A+B）	196人	<p>・県立5病院それぞれが実施主体となり、採用時に受験した病院に配属される配属確定型試験を8回実施した。また、県立5病院合同で本部事務局が実施する全病院対象型試験を3回実施し、併せて計11回の採用試験を行った。その結果、看護職員数は平成27年4月1日現在で昨年度比35人増の1,561人となった。</p> <p>・民間企業主催の合同就職説明会に本部事務局主導にて5回参加した。その結果、合計634名の看護学生等が本機構ブースに訪問し、本機構の魅力・概要等を伝えた。</p> <p>・修学資金の借受生全23人のうち、平成26年度卒業生15名がそれぞれ希望する県立病院機構の病院に就職した。</p> <p>(参考)[修学資金借受生の内訳]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">卒業年度</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td style="text-align: center;">7人</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">7人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td style="text-align: center;">4人</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">4人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td style="text-align: center;">0人</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0人</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td style="text-align: center;">0人</td> <td style="text-align: center;">4人</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td style="text-align: center;">8人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">15人</td> <td style="text-align: center;">4人</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td style="text-align: center;">23人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成26年度の看護職員によるカウンセラーへの相談件数は、全病院合計で延べ171件（前年度比20件増）・実人数64人（前年度比6人減）であった。</p> <p>(参考)[看護職員 カウンセリングルーム相談件数]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>延件数</th> <th>実人数</th> <th>延件数</th> <th>実人数</th> <th>延件数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td style="text-align: center;">38件</td> <td style="text-align: center;">26人</td> <td style="text-align: center;">21件</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">41件</td> <td style="text-align: center;">33人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td style="text-align: center;">66件</td> <td style="text-align: center;">28人</td> <td style="text-align: center;">30件</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">17件</td> <td style="text-align: center;">11人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td style="text-align: center;">32件</td> <td style="text-align: center;">8人</td> <td style="text-align: center;">19件</td> <td style="text-align: center;">7人</td> <td style="text-align: center;">17件</td> <td style="text-align: center;">3人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td style="text-align: center;">22件</td> <td style="text-align: center;">8人</td> <td style="text-align: center;">45件</td> <td style="text-align: center;">14人</td> <td style="text-align: center;">26件</td> <td style="text-align: center;">6人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td style="text-align: center;">20件</td> <td style="text-align: center;">7人</td> <td style="text-align: center;">36件</td> <td style="text-align: center;">7人</td> <td style="text-align: center;">70件</td> <td style="text-align: center;">11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">178件</td> <td style="text-align: center;">77人</td> <td style="text-align: center;">151件</td> <td style="text-align: center;">70人</td> <td style="text-align: center;">171件</td> <td style="text-align: center;">64人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	卒業年度				合計	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	足柄上病院	2人	-	-	-	2人	こども医療センター	7人	-	-	-	7人	精神医療センター	2人	-	-	-	2人	がんセンター	4人	-	-	-	4人	循環器呼吸器病センター	0人	-	-	-	0人	未定	0人	4人	3人	1人	8人	合計	15人	4人	3人	1人	23人	病院名	平成24年度		平成25年度		平成26年度		延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	足柄上病院	38件	26人	21件	21人	41件	33人	こども医療センター	66件	28人	30件	21人	17件	11人	精神医療センター	32件	8人	19件	7人	17件	3人	がんセンター	22件	8人	45件	14人	26件	6人	循環器呼吸器病センター	20件	7人	36件	7人	70件	11人	合計	178件	77人	151件	70人	171件	64人	<p>実績に対する評価</p> <p>質の高い看護を継続的に提供するため、学生向けの説明会を精力的に開催することなどにより、平成27年4月1日現在で前年度比35人増の看護師数（1,561人）を確保した。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>	<p>新卒看護師離職率が11.0%となり、評価はBが適当である。 平成26年度の離職率が高かった原因や背景を丁寧に分析し、今後につなげることが重要である。</p>
平成26年4月1日看護師数（見込）	1,543人																																																																																																																								
欠員数（要補充）（A）	43人																																																																																																																								
平成25年度退職見込数（過去3年の平均）（B）	153人																																																																																																																								
平成25年度採用必要数（A+B）	196人																																																																																																																								
区分	卒業年度				合計																																																																																																																				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																																																																																																					
足柄上病院	2人	-	-	-	2人																																																																																																																				
こども医療センター	7人	-	-	-	7人																																																																																																																				
精神医療センター	2人	-	-	-	2人																																																																																																																				
がんセンター	4人	-	-	-	4人																																																																																																																				
循環器呼吸器病センター	0人	-	-	-	0人																																																																																																																				
未定	0人	4人	3人	1人	8人																																																																																																																				
合計	15人	4人	3人	1人	23人																																																																																																																				
病院名	平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																																																																																				
	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数																																																																																																																			
足柄上病院	38件	26人	21件	21人	41件	33人																																																																																																																			
こども医療センター	66件	28人	30件	21人	17件	11人																																																																																																																			
精神医療センター	32件	8人	19件	7人	17件	3人																																																																																																																			
がんセンター	22件	8人	45件	14人	26件	6人																																																																																																																			
循環器呼吸器病センター	20件	7人	36件	7人	70件	11人																																																																																																																			
合計	178件	77人	151件	70人	171件	64人																																																																																																																			

・看護師の教育・研修体制の充実、プリセプターシップの実施やエラーニングの利用促進等により、看護師の育成とその定着を図る。

・プリセプターシップをはじめ、パートナーシップ・ナーシング・システム®(PNS)の一部導入や、キャリア形成体系に基づき5段階のステップ研修等を実施することにより、看護師の育成とその定着を図った。

・看護職研修を定期的実施し、看護師の定着を図るため、労務管理についても理解を深め、働きやすい環境作りに努めた。

(参考) [平成26年度 看護職研修の実績(本部実施分)]

コース 種類	専門 コース		管理 コース		管理 コース		計	(参考) 平成 25 年度
	医療安 全	ベ ー シ ッ ク	アドバ ンス	キャ リ ア 形 成	リー ダ ー シ ッ ク	労 務 管 理		
参加者 数	15人	23人	18人	17人	13人	27人	113人	101人

・eラーニングによる研修制度により、日々の業務手順の確認に活用するとともに、特に新卒看護師に対しては、業務における不安の解消に役立てた。

・リアリティショック軽減に向けた教育体制等により、新卒看護師の離職防止に取り組んでいるものの、多重課題への対応困難者や、病院以外の施設への転職者等が生じたことにより、離職率は、平成26年度11.0%となり、目標値である8.5%未満は達成できなかった。

[新卒看護師離職率の実績と目標値]

区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
病院機構の新卒看護師採用人数	-	93人	-	122人	-	127人	-	112人	-	109人
病院機構の新卒看護師退職人数	-	8人	-	14人	-	7人	-	6人	-	12人
病院機構の新卒看護師離職率	-	8.6%	9.5%未満	11.5%	9.5%未満	5.5%	9.5%未満	5.4%	8.5%未満	11.0%
神奈川県の新卒看護師平均離職率	-	8.8%	-	8.8%	-	8.8%	-	8.1%	-	-
全国の新卒看護師平均離職率	-	8.1%	-	7.5%	-	7.9%	-	7.5%	-	-

・専門看護師及び認定看護師の資格を有する看護師を積極的に活用するなど、その専門能力の向上を図る取組を促進する。

・平成26年度には、新たに認定看護管理者5名、認定看護師5名が取得し、県立病院機構全体で専門看護師等の有資格者は、合計98名(前年度比7人増)となり、専門能力が発揮できるよう配置を工夫している。

課題

・循環器呼吸器病センターにおける7対1看護体制の確立に向けて、さらに看護師の確保が必要である。

・看護師の定着対策については、引き続き新卒看護師の指導方法に工夫を重ねるほか、中堅職員の負担軽減などを図る必要がある。

(参考) [専門看護師等の有資格者数実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
専門看護師	10人	15人	21人	23人	22人
小児看護	4人	5人	6人	6人	6人
がん看護	6人	7人	11人	12人	12人
家族看護	0人	2人	2人	2人	2人
慢性疾患看護	0人	1人	1人	1人	0人
精神看護	0人	0人	1人	2人	2人
認定看護管理者	4人	3人	5人	3人	8人
認定看護師	53人	51人	52人	56人	61人
皮膚・排泄ケア	5人	6人	6人	6人	6人
集中ケア	8人	8人	8人	8人	8人
がん性疼痛看護	17人	16人	15人	16人	16人
がん化学療法	3人	3人	4人	4人	4人
乳がん看護	1人	1人	1人	1人	2人
緩和ケア	7人	6人	4人	4人	6人
感染管理	7人	7人	7人	8人	8人
糖尿病看護	1人	0人	2人	2人	2人
小児救急看護	2人	2人	2人	2人	2人
新生児集中ケア	2人	2人	2人	2人	2人
救急看護	0人	0人	1人	1人	1人
放射線療法看護	0人	0人	0人	0人	1人
手術看護	0人	0人	0人	0人	1人
摂食・嚥下障害看護	0人	0人	0人	1人	1人
慢性心不全看護	0人	0人	0人	1人	1人
精神科認定看護師	5人	5人	5人	9人	7人
計	72人	74人	83人	91人	98人

<p>・看護専門学校等と看護学生の受入れについて連携を図るとともに、より一層の看護学生の実習受入れに努める。</p>	<p>・看護専門学校等との連携の下に、看護学生の实習受入れ拡大を図る。</p> <p>・会議を通じた経営状況の周知や、経営改善に向けた勉強会の開催、個別面談の実施などにより、経営意識の醸成に努める。</p> <p>・こども医療センターは、神奈川県立保健福祉大学との間で締結した協定に基づき、保健福祉大学大学院への看護師の派遣、実習生の受入れ、研修等の共同開催を行うとともに、小児専門看護師等の小児医療人材の育成に向けた検討を行う。</p>	<p>・看護学生の实習については、看護専門学校等より平成26年度合計1,328人（前年度比256人減）受け入れた。</p> <p>（参考）[看護実習受入実績]</p> <table border="1" data-bbox="871 272 1301 456"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健福祉大学</td> <td>139人</td> <td>160人</td> <td>141人</td> <td>149人</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td>衛生看護専門学校</td> <td>241人</td> <td>197人</td> <td>203人</td> <td>231人</td> <td>86人</td> </tr> <tr> <td>よこはま看護専門学校</td> <td>501人</td> <td>613人</td> <td>486人</td> <td>517人</td> <td>488人</td> </tr> <tr> <td>平塚看護専門学校</td> <td>93人</td> <td>75人</td> <td>155人</td> <td>99人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>682人</td> <td>489人</td> <td>621人</td> <td>588人</td> <td>556人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,656人</td> <td>1,534人</td> <td>1,606人</td> <td>1,584人</td> <td>1,328人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各種会議の場において経営状況の周知や意見交換を実施するとともに、個別面談や研修の実施により、経営への意識の向上を推進した。</p> <p>[こども医療センター・がんセンター] ・神奈川県立保健福祉大学との連携協定に基づき、職員の大学院への進学や、実習生の受け入れ、職員の講師派遣などの連携の強化を図った。なお、こども医療センターは、保健福祉大学で開設に向けて準備している小児専門看護師コースにおける役割などについて、関係機関と調整を行った。</p>	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	保健福祉大学	139人	160人	141人	149人	146人	衛生看護専門学校	241人	197人	203人	231人	86人	よこはま看護専門学校	501人	613人	486人	517人	488人	平塚看護専門学校	93人	75人	155人	99人	52人	その他	682人	489人	621人	588人	556人	計	1,656人	1,534人	1,606人	1,584人	1,328人			
区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																										
保健福祉大学	139人	160人	141人	149人	146人																																										
衛生看護専門学校	241人	197人	203人	231人	86人																																										
よこはま看護専門学校	501人	613人	486人	517人	488人																																										
平塚看護専門学校	93人	75人	155人	99人	52人																																										
その他	682人	489人	621人	588人	556人																																										
計	1,656人	1,534人	1,606人	1,584人	1,328人																																										
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度																																											
<p>・質の高い看護の提供のため、看護師養成機関との連携や民間就職説明会の参加、採用試験の複数回実施等により、看護師の確保を図った。</p> <p>・看護師の看護教育に関する能力等を向上させるため、研修等をより充実するとともに、専門看護師・認定看護師等、専門性を有する職員には、その専門性が活用できる職場に配置することにより、医療・看護サービスの向上に努めた。</p> <p>・パートナーシップ・ナーシング・システム®（PNS）を一部病院にて導入し、今後も従来以上に看護師の不安解消、安全で質の高い看護への提供等に繋がるよう努める。</p>			A	A																																											

小項目 4 3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 4 医療人材の確保と育成
 (3) コメディカル職員等の確保と研修の充実

中期目標

コメディカル職員等について、必要な職員の確保に努めるとともに、研修の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実</p> <p>・必要な職員を迅速に確保するため、各病院の状況に応じて、採用時期や試験方法等を適切に設定して試験を実施する。</p> <p>・コメディカル職員の資質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を効果的に実施するとともに、実施に当たっては、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p>	<p>(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実</p> <p>・採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を適時確保する。</p> <p>・職員の質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を実施する。</p> <p>・研修の実施に当たっては、専門的な知識を得られるよう内部研修だけでなく、研修に要するコスト、時間、人的リソース、ノウハウ等を踏まえて、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p>	<p>・コメディカル職員については、職場の実態に即し、一般採用試験に加え、即戦力となる経験者を対象とする経験者採用試験を実施し、18名(前年度15名)の職員を確保した。</p> <p>・福祉職については、職場の実態に即し、相談・心理・介護の分野ごとに試験区分を設け、業務に応じた職員の確保に努めた。</p> <p>・コメディカル職員等の資質の向上のため、県機関、各種学会等が実施する外部研修に参加させ、専門性の向上を図るとともに、コメディカル職員を中心に中堅職員研修を実施し、リーダーシップ能力の向上を図った。</p>	実績に対する評価	A	A	
			課題			
			<p>コメディカルの確保については、採用試験の広報や採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を迅速に確保する必要がある。</p>			

(参考) [福祉職・コメディカル職種の採用数の実績]

区分	平成23年度採用			平成24年度採用			平成25年度採用			平成26年度採用			平成27年度採用		
	一般	経験者	計	一般	経験者	計	一般	経験者	計	一般	経験者	計	一般	経験者	計
福祉職	3人	3人	6人	1人	9人	10人	-	7人	7人	-	6人	6人	-	5人	5人
薬剤師	5人	4人	9人	6人	3人	9人	8人	3人	11人	4人	3人	7人	4人	3人	7人
診療放射線技師	2人	1人	3人	2人	4人	6人	2人	5人	7人	-	3人	3人	1人	1人	2人
臨床検査技師	6人	-	6人	-	8人	8人	-	4人	4人	3人	-	3人	5人	1人	6人
理学療法士	1人	-	1人	-	1人	1人	-	2人	2人	2人	-	2人	2人	-	2人
臨床工学技士	1人	-	1人	-	1人	1人	-	1人	1人	-	-	-	-	-	-
保育士	1人	-	1人	1人	-	1人	-	2人	2人	-	-	-	-	-	-
管理栄養士	-	2人	2人	-	2人	2人	-	-	-	-	-	-	1人	-	1人
栄養管理科長	-	1人	1人	-	1人	1人	-	1人	1人	-	-	-	-	-	-

<p>・こども医療センターは、神奈川県立保健福祉大学との間で締結した協定に基づき、保健福祉大学大学院へのコメディカル職員の派遣、実習生の受入れ、職員の講師派遣、研修等の共同開催を行う。</p> <p>・がんセンターは、平成27年中の重粒子線治療開始に向け、重粒子線治療を行っている施設へ診療放射線技師等を先行して派遣し、人材育成を行う。</p>	<p>[こども医療センター]</p> <p>・神奈川県立保健福祉大学と小児看護・栄養分野における教育・研究で連携する協定に基づき、栄養管理科の職員1名が在籍したまま、保健福祉大学大学院へ進学したほか、実習生の受け入れ、職員の講師派遣といった従来からの連携の強化を図った。</p>		
	<p>[がんセンター]</p> <p>・重粒子線治療の開始に向けて、先行して治療を行っている独立行政法人放射線医学総合研究所へ医師1名、診療放射線技師2名を派遣するなど、人材育成を推進した。</p>		
	中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項		22～26年度
<p>各病院の状況に応じて、採用時期や試験方法等を適切に設定して試験を実施した結果、必要なコメディカルの確保を図ることができた。</p>		A	A

小項目 4 4 業務実績報告（自己評価）

<p><評価の大項目></p> <p>第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>4 医療人材の確保と育成</p> <p>(4) 勤務環境の改善</p>
--

中期目標	看護師等を安定的に確保するため、ワークライフバランスをとりやすい多様な勤務形態を検討・実施する等、医療従事者が安心して働くことができるよう勤務環境の改善に努めること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																				
			自己点数	評価点数	コメント																				
<p>(4) 勤務環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。 ・医療従事者宿舎の整備、民間アパートの借上げ等、各病院の実情に応じた取組により医療従事者公舎の充実を図る。 ・ワークライフバランスを取りやすい多様な勤務形態の導入を検討する。 	<p>(4) 勤務環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。 ・職員のワークライフバランスの確保に資するため、現行の時差出勤制度の見直しの検討や、年次有給休暇の取得促進に向けた取組を行う。 ・各病院の業務の実態に応じた時間外勤務の縮減を図るなど、労働時間の適正化に向け、業務見直しを進めるとともに、職員の意識啓発やタイムマネジメントの研修を開催するなどの取組を行う。 ・短時間勤務常勤職員や夜間専従常勤職員など、ワークライフバランスを充実するための多様な勤務形態の導入について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師など医療従事者の多様な勤務形態に合わせた保育を実施するため、週2日程度の24時間保育を引き続き実施した。 ・年次有給休暇を取得しやすくするような職場環境の整備のため、看護局長会議や事務局長会議などを通じて職員の年次有給休暇取得促進に向けた取組を推進した。 <p style="font-size: small;">(参考)[職員1人当たりの年休平均取得日数の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>平成22年</th> <th>平成23年</th> <th>平成24年</th> <th>平成25年</th> <th>平成26年</th> </tr> <tr> <td>8.4日</td> <td>8.7日</td> <td>9.6日</td> <td>8.9日</td> <td>8.1日</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しや効果的・効率的な業務執行を進めるスキルを習得するため、「問題解決手法」や「コミュニケーション手法」に関する研修を実施した。 ・リーダー的役割を担う中堅の事務・福祉・メディカル職員を対象に、リーダーシップの発揮の仕方、業務改善の進め方等の研修を実施した。 ・ワークライフバランスを充実するため、引き続き、短時間勤務常勤職員や夜間専従常勤職員などの多様な勤務形態の導入に向けた検討を行った。 <p style="font-size: small;">(参考)[リフレッシュ休暇取得率]</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>平成22年</th> <th>平成23年</th> <th>平成24年</th> <th>平成25年</th> <th>平成26年</th> </tr> <tr> <td>44%</td> <td>34%</td> <td>39%</td> <td>49%</td> <td>47%</td> </tr> </table>	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	8.4日	8.7日	9.6日	8.9日	8.1日	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	44%	34%	39%	49%	47%	<p>実績に対する評価</p> <p style="font-size: 2em; margin-top: 20px;">A</p>	<p>課題</p> <p style="font-size: 2em; margin-top: 20px;">A</p>	<p>取得に向けた制度は充実しているが、年休平均取得日数の8.1日及びリフレッシュ休暇取得率47%は、数値だけでみると制度の運用に改善の余地があるのではないかと見られる。今後とも出来る限り完全取得に向けた努力を続けることが大切である。</p>
平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年																					
8.4日	8.7日	9.6日	8.9日	8.1日																					
平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年																					
44%	34%	39%	49%	47%																					
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度																					
<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の2交代勤務の試行を拡充し、個人のライフスタイルに合わせた多様な働き方の充実、申し送り時間の短縮等に繋がった。 ・こども医療センターの医療従事者宿舎の建設や循環器呼吸器病センターの民間アパートの拡大など、医療従事者宿舎を充実した。 			A	A																					

小項目 4 5 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 業務運営体制の確立

中期目標	<p>地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を整備するとともに、地方独立行政法人制度の利点を生かして、より一層効率的・効果的な業務運営を行い、経営改善を図ること。</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>病院経営に関する意思決定を主体的に行い、迅速に実行に移すため、理事会及び本部事務局の体制を整備するとともに、効率的・効果的な業務運営を行うための体制を整備すること。</p> <p>また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる取組の実現に向けた体制を整備すること。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を確立する。</p> <p>また、人事・予算等を弾力的に運用できる地方独立行政法人制度の利点を生かして、効率的・効果的な業務運営を行うとともに、収益を確保し、費用を削減するための経営改善の取組を推進する。</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>効率的・効果的な業務運営を行うため、病院経営に関する意思決定を、理事長、副理事長及び理事で構成する理事会で行うとともに、各病院に適切な権限移譲を行い、病院の長の経営責任を明確にする。</p> <p>また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標等に掲げる取組の実現に向けた体制を整備するため、本部事務局及び各病院に経営企画機能を担う部署を設置する。</p> <p>さらに、中期目標等に掲げる組織目標の達成に向けて、各病院が自律的に取り組むため、年度計画に病院ごとの収支計画等の経営目標を明示する。</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>・理事会による法人の運営体制の下に、各病院の理事が与えられた権限を適切に行使することにより、各病院の自律性を発揮した医療機能の充実及び経営改善に向けた取組をより一層進め、法人全体の経営基盤の強化を図る。</p> <p>・経営戦略会議で、各病院の経営状況の情報の共有化を図るとともに、月次決算及び四半期ごとの執行状況を踏まえた経営分析等を行い、経営改善に向けた取組を推進する。</p>	<p>・理事会の機能をより適切なものとするため、これまで総長等のみが理事であった体制から、外部登用理事の任命を推進し、平成26年4月1日付で1名を任命するとともに、理事の半数以上を外部登用理事の構成とできる定款の変更を平成27年4月1日付で行うなど、経営及び業務の透明化を推進した。</p> <p>・理事会を各所属の幹部が同席する形で開催するなど、職員の経営参画意識の向上に努めた。</p> <p>・経営戦略会議において、所属別の月次決算により、収支の状況を分析し、経営の情報を共有することにより、経営基盤の強化を図った。</p> <p>・病院運営に意欲がある人材を幅広く募集することを目的として、がんセンター総長及び精神医療センター所長の公募を初めて実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・外部登用理事の任命による理事会の体制強化を図るなど、理事会の適正な業務運営機能を推進した。</p> <p>・理事会や経営戦略会議をはじめとした会議等の場において、経営情報を共有するなど、理事をはじめとした職員の経営責任能力の向上に寄与した。</p>	A	A	<p>独法化し、取組内容に柔軟さが見られる。また職員に経営意識、他病院との競争意識、各専門職としての役割意識の向上が認められる。</p> <p>なお、外部理事の登用にあたっては、透明性の担保された選定方法、内部理事のモチベーション等に配慮する必要がある。</p>	
			<p>課題</p> <p>経営基盤をより一層強化し、医療収支の健全化を推進するため、理事会や経営会議の運営体制の見直しを行う必要がある。</p>				
			<p>中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項</p> <p>・理事会における適切な業務執行の確保や、経営戦略会議における経営状況の共有など、経営基盤の強化や経営改善の取組を推進した。</p> <p>・平成22年度の設立時に経営機能を担う部署として本部事務局に財務課、各病院に経営企画課を設置するとともに、毎年の年度計画に収支計画を明示するなど、経営機能の体制整備や強化に取り組んだ。</p>	22～26年度	22～26年度		
			A	A			

小項目 4 6 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 - (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標	ア 人事・予算の弾力的運用 人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
2 効率的・効果的な業務運営と経営改善 (1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。 (7) 診療体制・人員配置の弾力的運用 医療ニーズの質の変化や患者動向に迅速に対応するため、職員の採用や医師等スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用等を行う。	2 効率的・効果的な業務運営と経営改善 (1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用 医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。 (7) 診療体制・人員配置の弾力的運用 正規職員の採用や医師等医療スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、正規職員以外の雇用形態を含む多様な医療専門職の活用等を行う。	・円滑な病院運営を行うため、主に新卒者を対象とした一般採用試験のほか、即戦力を確保するための経験者採用試験を併せて実施することで、効果的に正規職員を確保し、医師等医療スタッフの配置を弾力的に行った。 また、契約職員・非常勤職員・短期非常勤職員・再雇用職員など多様な勤務形態の職員を活用することにより、診療体制の強化や正規職員の欠員補充に迅速に対応し、医療ニーズや医療環境等の変化に的確に対応した。	実績に対する評価 医療ニーズや医療環境等に的確に対応できるような医師や看護師などの医療スタッフを弾力的に配置するとともに、正規職員以外の職員を効率的に活用する体制を整えつつある。	A	A	
			課題			
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項				22～26年度	22～26年度	
				A	A	

小項目 4 7 業務実績報告（自己評価）

< 評価の大項目 >

- 第 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 - (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標	ア 人事・予算の弾力的運用 人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
2 効率的・効果的な業務運営と経営改善 (1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。 (イ) 予算執行の弾力化 中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行う。	2 効率的・効果的な業務運営と経営改善 (1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用 医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。 (イ) 予算執行の弾力化 ・予算科目間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用し、医療ニーズに迅速に対応した予算執行を行う。 ・予算の策定にあたり、各病院の経営成績等に応じた編成を進める。	・通常備品の配当については、資産規模や購入後10年を超えた機器の割合に応じた配分を行うとともに、前年度の経常利益の計画達成率をもとに配分を行った。 ・漢方サポートセンター及びワクチンセンターなど特定の事業に対しては、通常の事業とは別に予算調整を行った。	実績に対する評価 経営成績を反映した予算配当を行い、各所属の医療ニーズに沿った予算執行を行った。	A	A	前年度の経常利益の計画達成率に応じた配分は、評価できる取組である。 一方で、医師不足が課題となっている所に対する対応も必要である。	
課題			重粒子線治療施設や臨床研究支援センターについては、診療実績による収支を適切に把握するため、通常の病院運営とは別に収支管理を行う方法を検討する必要がある。				
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度			
予算科目間の弾力的な運用を行い、医療ニーズの変化に柔軟に対応した。			A	A			

小項目 4 8 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

- イ 事務職員の専門性の向上
 県立病院機構で独自に事務職員を採用することにより、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成し、専門性の向上を図ること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
イ 事務職員の専門性の向上 ・診療報酬事務等、病院特有の事務や病院経営に関する知識・経験を有する人材等の採用を計画的に進める。 ・経営企画機能を強化し、高度な専門性を有する事務職員を育成するため、診療報酬事務等の専門研修を実施する。	イ 事務職員の専門性の向上 ・新卒者等を対象とする一般の採用試験とは別に、病院や民間会社などの職務経験があり、即戦力となる社会人経験者を対象とする採用試験を実施する。 ・業務を通じて専門的な知識を習得するとともに、診療報酬事務、会計事務及び病院経営に係る企画・経営分析能力の向上を図る研修を実施し、その専門能力の高い事務職員を養成する。	・病院経営や診療報酬等の病院特有の事務を行うための知識・経験を有する人材確保に向け、一般採用試験に加え、経験者採用試験を行い、10人の事務職員を採用した。事務経験等を勘案し平成27年4月1日付で本部事務局、各病院（総務課、医事課、経営企画課）に配置した。 ・事務職員を対象に、病院経営に係る基礎的能力等の向上を目的とした簿記研修や独立行政法人制度に関する研修等を引き続き実施した。 ・病院機構採用事務職員が配属所属以外の病院等において、業務を体験又は経験することを通じて、幅広い視野を持ち、自らの業務の改善に役立てることが出来る職員を養成するとともに、組織における人材育成の風土を醸成させていくことを目的に病院等での現場研修を実施した。 ・診療報酬の基礎的な知識を習得するため、診療報酬基礎セミナーを実施した。	実績に対する評価 ・経験者枠の採用区分で採用した職員は、その者の業務実績等を考慮し、即戦力として相応の部門に配置した。 ・職員の幅広い視野や実務能力の向上を図る研修の実施を計画的に行なった。	A	A		
			課題 職員が多様な業務経験を通じて病院経営に必要な能力を習得・発揮できるよう、人事ローテーションを工夫し、本部事務局及び各病院へのバランスの取れた配属を行うとともに、外部研修等も活用し、専門性の高い職員を育成していく必要がある。				
			中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度		
				A	A		

小項目 4 9 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標	ウ 職員の経営参画意識の向上 職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するための取組を行うこと。
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
ウ 職員の経営参画意識の向上 職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するため、表彰制度の実施や、医療機器の整備等に要する予算を病院の経営実績を反映して傾斜配分する等経営改善の成果を病院に還元する仕組みを整備する。	ウ 職員の経営参画意識の向上 ・病院経営に係る企画・経営分析能力等の向上を図る研修を充実させ、職員の経営参画意識の醸成を図る。 ・経営に対する職員の意識を高め、経営への参加を促すため、業務改善、経営の効率化、増収・経費節減等に関する職員提案を行い、優良な取組について理事長表彰を行う。 ・医療機器の整備に係る予算の各病院への配分にあたり、経営成績に応じた傾斜配分を行うことにより、経営意識の向上を図る。	・事務職員を対象に病院経営に係る基礎能力・応用能力、企画能力、経営分析能力等を養成、強化する取組として、病院経営に関する問題解決能力強化研修を実施した。 ・配属所属以外の病院等の体験研修において、研修受講者に病院幹部による院内運営会議や理事会等へ出席する機会を設け、職員の経営参画意識の向上を図った。 ・リーダー的役割を担う中堅の事務・福祉・コメディカル職員を対象に、リーダーシップの発揮の仕方、業務改善の進め方等の研修を実施し、業務の効率化や職務能力の向上を図った。 ・職員の業務運営の効率化や経営改善に関する優れた取組について、発表会形式の審査会により受賞者を決定する理事長表彰を実施した。 ・職員全員に配布する「病院機構通信」に決算の状況及び課題等を掲載し、全職員に対して経営状況を周知した。 ・月次決算において、単月ごとの目標達成状況を示し、計画達成に向けた取組について経営会議等で検討を行った。 ・事務職員のみを対象としていた公認会計士による財務分析研修に、看護師も参加させた。 ・通常備品の配当については、資産規模や購入後10年を超えた機器の割合に応じた配分を行うとともに、前年度の経常利益の計画達成率をもとに配分を行った。	実績に対する評価 ・職員の能力を養成、強化する研修の実施や、各病院において講演会を実施するなど、経営参画意識向上のための取組を、毎年度改善を図りながら継続したことにより、計画額を上回る利益の確保に寄与した。 ・病院機構通信や研修会を通じて、経営状況や財務に関する情報を職員に対して広く周知することができた。	A	A	意識の高まりが認められる。引き続きの努力を期待する。
			課題 ・職員個々における経営参画意識の向上を図るため、法人及び各病院の経営状況について、幹部職員のみならず職員全体で情報を共有し、経営改善に向けた取組を進めるとともに、経営実績を反映した予算の配当について検討を行う必要がある。 ・収益費用のバランスを考慮した病院経営を行うことについて、意識啓発を進める必要がある。			

		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・月次損益管理や患者指標の職員への周知により、経営意識の向上に資するとともに、医療機器の予算配分に経営成績を反映させることにより、経営参画意識を醸成した。 ・業務内容の効率化に対する理事長表彰や、経営能力の向上に関する研修の実施などにより、職員の経営参画意識を高める取組を推進した。 	A	A

小項目 5 0 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標	エ ITの活用による効率的な医療提供の推進 ITを活用することにより医療の情報化の推進に努めるとともに、症例データの蓄積と迅速な分析を可能とすることによって、医療内容の標準化を図り、効率的な医療の提供に努めること。
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
エ ITの活用による効率的な医療提供の推進 医療情報の共有化を進め、集積したデータを分析し、その結果を医療の質の向上や標準化に活用するため、トータルオーダーリングシステムを適切に更新するとともに、電子カルテシステムや画像情報ネットワークシステム（PACS）を導入する。	エ ITの活用による効率的な医療提供の推進 ・子ども医療センターは、電子カルテの機能などを活用した小児医療に特化した「診療の質(QI)」の指標について、他の小児医療施設との比較等により、指標の評価を行い、医療の質の改善の検討を進めていく。 ・精神医療センターは、平成26年12月の新病院の開院にあわせ、電子カルテシステムを導入する。 ・循環器呼吸器病センターは、平成27年1月のオーダーリングシステムの更新にあわせ、電子カルテシステムを導入する。	[子ども医療センター] ・電子カルテシステムを活用するなどして、小児医療全体を概観的に捉えることができる「診療の質(QI)」の指標を前年度より5項目多い、46項目について作成し、公表した。また、当センター以外の8つの小児専門病院においても当センターをモデルに一部項目について指標化され、比較を行い、医療の質の改善の検討を進めていった。 [精神医療センター] ・平成26年12月の新病院開院にあわせ、電子カルテシステムを導入した。 [循環器呼吸器病センター] ・平成27年1月に電子カルテシステムを導入した。	実績に対する評価 ・子ども医療センターにおける電子カルテシステムを活用した指標を作成し、他病院と比較するなどにより、医療の質の向上に寄与した。 ・精神医療センター及び循環器呼吸器病センターにおいて、電子カルテシステムを導入し、医療の効率化や情報の共通化を推進した。	A	A	トータルオーダーリングシステムの更新、足柄上病院における電子カルテシステムの導入に向けた準備等、着実に取り組んでいる。	
			課題 今後は、電子カルテシステムを活用した地域医療機関との情報の共有化について検討を行う必要がある。				
			中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度		
		中期計画期間において、全病院への画像情報ネットワークシステム（PACS）の導入や、足柄上病院を除く4病院への電子カルテシステムを導入するなど、医療情報の共通化や医療の効率化を推進した。	A	A			

小項目 5 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 - (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標	オ 効率的な事務執行の推進 効率的な事務執行を推進するため、契約事務の簡素化や多様な契約形態をとるとともに、物品調達の集約化を図ること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
			自己点数	評価点数	コメント																			
オ 効率的な事務執行の推進 ・ 契約事務の簡素化、複数年契約の適用範囲の拡大等、多様な契約形態の活用、物品調達の集約化により、効率的な事務執行を推進する。 ・ 売買、請負等の契約については、情報の公開と競争による選定を基本とし、透明性・公平性を確保する。 ・ 委託契約については、最低制限価格の適用業務の拡大により、提供される委託業務の質を確保する。	オ 効率的な事務執行の推進 ・ 共同購入に係る品目数を拡大し、スケールメリットを活かした経費の削減及び事務執行を効率化する。 ・ 診療材料の共同購入に神奈川リハビリテーション事業団を加え、規模の拡大を図る。 ・ 建物総合保守管理業務委託及び警備業務委託について、入札執行における最低制限価格を設けることにより、業務の質を担保する。	・ 共同購入に係る対象品目数を拡大し、各病院の契約事務に係る負担軽減とスケールメリットが得られるような取り組みを進めた。 ・ 診療材料の共同購入に神奈川リハビリテーション事業団を加え規模の拡大を図った。 [こども医療センター] ・ 委託業務や診療材料の見直しに関するコンサルタントを導入し、経費の節減を図った。 [精神医療センター] ・ 総合維持管理業務委託の入札において、最低制限価格を設けて低価格による入札を防ぎ、業務の質を担保した。 (参考) [共同購入の対象品目数] <table border="1" style="font-size: small; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医薬品</td> <td>4,037品目</td> <td>4,033品目</td> </tr> <tr> <td>診療材料</td> <td>570品目</td> <td>504品目</td> </tr> <tr> <td>検査試薬</td> <td>1,406品目</td> <td>1,361品目</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>57品目</td> <td>73品目</td> </tr> <tr> <td>備品</td> <td>0品目</td> <td>6品目</td> </tr> </tbody> </table> (リハ事業団分を除き463品目)	区分	平成25年度	平成26年度	医薬品	4,037品目	4,033品目	診療材料	570品目	504品目	検査試薬	1,406品目	1,361品目	消耗品	57品目	73品目	備品	0品目	6品目	実績に対する評価 共同購入にあたり、輸液ポンプ及びシリンジポンプを品目に加えるなど、スケールメリットによる廉価購入を進めた。	A	A	
区分	平成25年度	平成26年度																						
医薬品	4,037品目	4,033品目																						
診療材料	570品目	504品目																						
検査試薬	1,406品目	1,361品目																						
消耗品	57品目	73品目																						
備品	0品目	6品目																						
			課題																					
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度																				
会計規程及び契約事務取扱規程を見直し、予算執行及び契約締結に係る権限の一部を病院に移譲し、事務の効率化を図るとともに、インターネットによる物品購入等、多様な契約方法による合理的な予算執行を行うための取組を進めた。			A	A																				

小項目 5 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 - (2) 経営改善の取組

中期目標 **ア 収益の確保**
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価																																																																																																																				
			自己点数	評価委員会の評価																																																																																																																			
<p>(2) 経営改善の取組 ア 収益の確保 ・効率的・効果的な病院運営を行い、より多くの県民に県立病院の医療を提供することにより、医業収益の確保の機会を拡大するため、クリティカルパスの適用範囲の拡大、病病・病診連携の強化、病床管理の弾力化等の取組を実施する。</p> <p><small>〔病床利用率・平均在院日数・入院実患者数目標値〕</small></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>5,900人以上</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.0%以上</td> <td>14.5日以下</td> <td>7,200人以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(施設)</td> <td>85.0%以上</td> <td>(93日)</td> <td>300人以上</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>130.0日以下</td> <td>700人以上</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>80.0日以下</td> <td>330人以上</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>85.0%以上</td> <td>16.0日以下</td> <td>8,050人以上</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>82.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>4,000人以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">センター(結核)</td> <td>70.0%以上</td> <td>(61日)</td> <td>250人以上</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>【目標】上表に記載する病床利用率の達成を目指すとともに、最終年度において上表に記載する平均在院日数の短縮及び入院実患者数の増加を目指す。 なお、こども医療センター児童福祉施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。</small></p> <p><small>(参考) 病床利用率・平均在院日数・入院実患者数(平成20年度)</small></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>77.7%</td> <td>13.0日</td> <td>5,743人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.2%</td> <td>14.5日</td> <td>7,067人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(施設)</td> <td>88.8%</td> <td>92.1日</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>80.1%</td> <td>143.0日</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>70.7%</td> <td>64.1日</td> <td>322人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>81.8%</td> <td>17.5日</td> <td>7,073人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>84.0%</td> <td>14.5日</td> <td>3,781人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">センター(結核)</td> <td>67.5%</td> <td>61.6日</td> <td>240人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上	こども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上	(施設)	85.0%以上	(93日)	300人以上	芹香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上	せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	330人以上	がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上	循環器呼吸器病(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上	センター(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人	こども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人	(施設)	88.8%	92.1日	280人	芹香病院	80.1%	143.0日	640人	せりがや病院	70.7%	64.1日	322人	がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人	循環器呼吸器病(一般)	84.0%	14.5日	3,781人	センター(結核)	67.5%	61.6日	240人	<p>(2) 経営改善の取組 ア 収益の確保 ・より多くの県民に県立病院の医療を提供するため、地域の医療機関との連携の強化に取り組み、入院実患者数の増を図るとともに、クリティカルパスの適用範囲の拡大、ベッドコントロール等による病床管理の効率化により病床利用率の向上を図る。</p> <p><small>〔病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の目標値(平成26年度)〕</small></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>76.6%</td> <td>12.2日</td> <td>6,160人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>82.5%</td> <td>14.2日</td> <td>7,240人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(施設)</td> <td>86.4%</td> <td>(83.0日)</td> <td>420人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>76.9%</td> <td>100.2日</td> <td>1,220人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>79.0%</td> <td>14.3日</td> <td>9,000人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>83.2%</td> <td>11.8日</td> <td>4,330人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">センター(結核)</td> <td>61.1%</td> <td>(75.9日)</td> <td>200人</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>(注) こども医療センター障害児入所施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。</small></p>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	76.6%	12.2日	6,160人	こども医療センター(病院)	82.5%	14.2日	7,240人	(施設)	86.4%	(83.0日)	420人	精神医療センター	76.9%	100.2日	1,220人	がんセンター	79.0%	14.3日	9,000人	循環器呼吸器病(一般)	83.2%	11.8日	4,330人	センター(結核)	61.1%	(75.9日)	200人	<p>平成26年度の患者数の実績については次のとおり。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">実績に対する評価</th> <th style="width: 10%;">自己点数</th> <th style="width: 10%;">評価点数</th> <th style="width: 20%;">コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 入院実患者数については、足柄上病院、こども医療センター、がんセンターを除き目標値を達成することができなかった。 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="vertical-align: top;"> 病床利用率は80%以上が望ましい。在院日数を短くしていても、病院ごとに利用率が異なる点を検証する必要がある。 </td> </tr> <tr> <td>課題</td> <td></td> <td></td> <td style="vertical-align: top;"> 患者数が減少している病院については、その原因を分析することにより、引き続き入院実患者数の増加に向けた取組を進めていく必要がある。 </td> </tr> </tbody> </table>	実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント	入院実患者数については、足柄上病院、こども医療センター、がんセンターを除き目標値を達成することができなかった。	A	A	病床利用率は80%以上が望ましい。在院日数を短くしていても、病院ごとに利用率が異なる点を検証する必要がある。	課題			患者数が減少している病院については、その原因を分析することにより、引き続き入院実患者数の増加に向けた取組を進めていく必要がある。
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																				
足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上																																																																																																																				
こども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上																																																																																																																				
(施設)	85.0%以上	(93日)	300人以上																																																																																																																				
芹香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上																																																																																																																				
せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	330人以上																																																																																																																				
がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上																																																																																																																				
循環器呼吸器病(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上																																																																																																																				
センター(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上																																																																																																																				
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																				
足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人																																																																																																																				
こども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人																																																																																																																				
(施設)	88.8%	92.1日	280人																																																																																																																				
芹香病院	80.1%	143.0日	640人																																																																																																																				
せりがや病院	70.7%	64.1日	322人																																																																																																																				
がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人																																																																																																																				
循環器呼吸器病(一般)	84.0%	14.5日	3,781人																																																																																																																				
センター(結核)	67.5%	61.6日	240人																																																																																																																				
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																				
足柄上病院	76.6%	12.2日	6,160人																																																																																																																				
こども医療センター(病院)	82.5%	14.2日	7,240人																																																																																																																				
(施設)	86.4%	(83.0日)	420人																																																																																																																				
精神医療センター	76.9%	100.2日	1,220人																																																																																																																				
がんセンター	79.0%	14.3日	9,000人																																																																																																																				
循環器呼吸器病(一般)	83.2%	11.8日	4,330人																																																																																																																				
センター(結核)	61.1%	(75.9日)	200人																																																																																																																				
実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																				
入院実患者数については、足柄上病院、こども医療センター、がんセンターを除き目標値を達成することができなかった。	A	A	病床利用率は80%以上が望ましい。在院日数を短くしていても、病院ごとに利用率が異なる点を検証する必要がある。																																																																																																																				
課題			患者数が減少している病院については、その原因を分析することにより、引き続き入院実患者数の増加に向けた取組を進めていく必要がある。																																																																																																																				

[病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の目標値]

区分	病床利用率					平均在院日数					入院実患者数				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	80.2%	77.6%	78.0%	78.5%	76.6%	13.1日	12.5日	12.3日	12.1日	12.2日	5,900人	6,000人	6,100人	6,370人	6,160人
こども医療センター（病院）	85.1%	82.8%	85.8%	83.1%	82.5%	14.6日	14.1日	15.4日	14.7日	14.2日	7,000人	7,030人	6,687人	7,070人	7,240人
（施設）	85.0%	81.1%	84.9%	83.6%	86.4%	(93.0日)	(95.8日)	(89.7日)	(83.2日)	(83.0日)	300人	280人	311人	390人	420人
精神医療センター					76.9%					100.2日					1,220人
（芹香病院）	83.0%	76.8%	79.9%	78.6%		133.3日	100.1日	126.4日	134.9日		700人	870人	613人	796人	
（せりがや病院）	80.0%	73.3%	70.9%	65.0%		70.8日	70.7日	67.0日	53.6日		330人	300人	309人	400人	
がんセンター	85.4%	77.1%	77.8%	79.4%	85.5%	16.2日	14.7日	14.4日	14.0日	14.3日	8,000人	7,900人	8,000人	8,000人	9,000人
循環器呼吸器病（一般）	81.4%	82.8%	82.9%	83.2%	79.0%	13.6日	13.5日	13.5日	12.4日	11.8日	3,900人	4,010人	4,000人	4,497人	4,330人
センター（結核）	74.8%	65.6%	62.8%	61.1%	59.3%	(64.0日)	(60.0日)	(62.0日)	(65.6日)	(75.9日)	250人	240人	220人	235人	200人

[病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の実績]

区分	病床利用率					平均在院日数					入院実患者数				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
足柄上病院	76.2%	74.5%	78.7%	74.8%	78.5%	12.3日	11.9日	12.2日	11.5日	12.1日	5,968人	6,215人	6,384人	6,243人	6,257人
こども医療センター（病院）	82.6%	82.8%	82.6%	83.0%	83.7%	14.7日	15.4日	14.3日	14.2日	13.8日	6,757人	6,736人	7,180人	7,257人	7,283人
（施設）	85.2%	85.6%	84.5%	89.2%	83.7%	(69.1日)	(77.9日)	(77.5日)	(101.1日)	(88.3日)	405人	429人	434人	365人	312人
精神医療センター					81.4%					102.7日					1,140人
（芹香病院）	74.8%	65.9%	62.9%	69.7%		122.6日	123.5日	115.5日	132.5日		686人	797人	802人	781人	
（せりがや病院）	65.9%	61.2%	55.8%	49.2%		60.1日	52.3日	42.7日	45.9日		320人	386人	426人	355人	
がんセンター	76.0%	72.2%	77.8%	77.0%	83.0%	14.9日	14.3日	14.0日	13.4日	12.7日	7,753人	7,967人	8,703人	9,003人	10,186人
循環器呼吸器病（一般）	84.7%	80.0%	77.0%	78.5%	80.9%	13.1日	13.0日	12.2日	12.2日	12.7日	4,211人	4,157人	4,188人	4,320人	4,156人
センター（結核）	64.5%	61.4%	58.1%	58.8%	52.0%	(58.6日)	(64.5日)	(66.1日)	(71.1日)	(65.2日)	241人	241人	274人	204人	175人

中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項

中期計画期間の患者指標については概ね目標を達成しており、多くの県民に適切に医療提供を行うことができた。

A

A

小項目 5 3 業務実績報告（自己評価）

< 評価の大項目 >

- 第 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 - (2) 経営改善の取組

中期目標

- ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																	
			自己点数	評価点数	コメント																																	
<p>・診療報酬の改定に対して迅速に対応するとともに、各病院の特性に応じて、診療報酬上の新たな施設基準を取得する。</p>	<p>・診療報酬改定を踏まえ、業務運用体制を見直すことを含め、各病院の特性に応じた施設基準を取得する。</p>	<p>・診療報酬改定を踏まえた施設基準を迅速に取得するとともに、既存の施設基準についても的確な内容とするよう見直しを行った。</p> <p>・幹部職員で構成される経営戦略会議及び経営会議において査定状況の情報共有を図った。</p> <p>(参考)[審査機関による査定率の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>0.220%</td> <td>0.300%</td> <td>0.330%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>0.580%</td> <td>0.570%</td> <td>0.670%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td></td> <td></td> <td>0.057%</td> </tr> <tr> <td>(芹香病院)</td> <td>0.055%</td> <td>0.046%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(せりがや病院)</td> <td>0.009%</td> <td>0.051%</td> <td>0.057%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>0.170%</td> <td>0.180%</td> <td>0.170%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>0.320%</td> <td>0.450%</td> <td>0.345%</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成26年度に新たに取得した施設基準 [足柄上病院] ・超急性期脳卒中加算 ・在宅療養後方支援病院 ・ハイケアユニット入院医療管理料 1 ・がん患者指導管理料 2 ・ヘッドアップティルト試験 外 7 項目</p> <p>[こども医療センター] ・診療録管理体制加算 1 ・医師事務作業補助体制加算 1 ・がん患者指導管理料 1・2 ・H P V 核酸検出 ・時間内歩行試験 ・胎児胸腔・羊水腔シャント術 ・歯科口腔リハビリテーション料 2</p>	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	足柄上病院	0.220%	0.300%	0.330%	こども医療センター	0.580%	0.570%	0.670%	精神医療センター			0.057%	(芹香病院)	0.055%	0.046%		(せりがや病院)	0.009%	0.051%	0.057%	がんセンター	0.170%	0.180%	0.170%	循環器呼吸器病センター	0.320%	0.450%	0.345%	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>診療報酬の改定を受け、各病院の特性に応じた施設基準を取得するとともに、審査機関による審査の傾向を踏まえて、各病院ごとに対策を行った。</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">課題</p> <p>診療報酬の次期改定に向け、中央社会保険医療協議会の議論について情報収集を行い、迅速に対応するための体制を整備していく必要がある。</p>	A	A	
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																			
足柄上病院	0.220%	0.300%	0.330%																																			
こども医療センター	0.580%	0.570%	0.670%																																			
精神医療センター			0.057%																																			
(芹香病院)	0.055%	0.046%																																				
(せりがや病院)	0.009%	0.051%	0.057%																																			
がんセンター	0.170%	0.180%	0.170%																																			
循環器呼吸器病センター	0.320%	0.450%	0.345%																																			

		<p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士配置加算 ・強度行動障害入院医療管理加算 ・精神科急性期医師配置加算 ・児童・思春期精神科入院医療管理料 ・コンピューター断層撮影（ＣＴ撮影） <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期看護補助体制加算50対1 ・ハイケアユニット入院医療管理料1 ・がん患者指導管理料2・3 ・がん患者リハビリテーション料 ・胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む） ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 外4項目 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結核病棟入院基本料10対1 ・心臓ペースメーカー指導管理料（植込型除細動器移行加算） 				
		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度		
			A	A		

小項目 5 4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標	<p>ア 収益の確保</p> <p>効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。</p>
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価									
			自己点数	評価点数	コメント									
<p>・適正な診療報酬を確保するため、患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、早期の回収、診療報酬請求漏れの防止に取り組む。</p>	<p>・患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、医事課と相談部門との連携による回収、未収金回収専門員による出張回収、診療報酬請求漏れの防止等、適正な診療報酬を確保するための総合的な取組を実施する。</p>	<p>・これまで行ってきた未収金となっている診療費の支払案内業務委託に加えて、弁護士による債権回収の実施について、検討を進めた。</p> <p>・未収金発生後長期化していた債権を含めて改めて督促を行うことにより、回収対策に取り組んだ。</p> <p>・未収金の回収対策について病院間で情報共有を進めるとともに、当機構以外の病院の視察を行うなど、未収金の発生防止の検討を進めた。</p> <p>[こども医療センター] ・クレジットカードによる入院費用支払保証書の提出を受け、月初や退院時の会計手続を不要とするサービスに積極的に取り組むことで未収金の発生を抑制している。</p> <p>(参考) [年度末個人未収金の状況]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度末</td> <td>278,892,775円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度末</td> <td>303,562,357円</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>-24,669,582円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	合計	平成26年度末	278,892,775円	平成25年度末	303,562,357円	差引	-24,669,582円	実績に対する評価 未収金の発生防止対策及び早期回収については、各病院で取組を進めた結果、年度末個人未収金は減少している。	A	A	
			区分	合計										
			平成26年度末	278,892,775円										
平成25年度末	303,562,357円													
差引	-24,669,582円													
課題 未収金額を縮減するため、弁護士による回収の取組を具体化するとともに、発生防止の方策についてもさらに検討する必要がある。	22～26年度	22～26年度												
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項 平成22年度末では、約3億1千7百万円の未収金が、平成26年度末では、約2億7千9百万円に縮減しており、未収金の回収対策を進めた。			A	A										

小項目55 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- イ 費用の削減
 材料費や経費の節減に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																							
			自己点数	評価点数	コメント																																																							
<p>イ 費用の削減</p> <p>・医薬品に係る経費の節減とともに、患者の経済的負担の軽減にも資するため、後発医薬品の使用拡大を図る。</p> <p>〔後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績と目標値〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>11.3%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>3.1%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%	後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%	<p>イ 費用の削減</p> <p>・後発医薬品について使用拡大を図る。</p> <p>〔後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>13.4%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>5.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医薬品及び診療材料等の購入価格の決定について、他医療機関の購入価格を比較できるベンチマークシステムの活用等により、可能な限り廉価で購入する。</p> <p>・消耗品等の調達について、共同購入の品目を拡大する。</p>	区分	平成24年度	後発医薬品の品目採用率	13.4%	後発医薬品の金額採用率	5.1%	<p>・後発医薬品の品目採用率及び金額採用率は、前年度と比較して上昇した。</p> <p>（参考）〔後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>12.2%</td> <td>12.8%</td> <td>13.4%</td> <td>14.3%</td> <td>16.8%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>5.6%</td> <td>5.7%</td> <td>5.1%</td> <td>5.1%</td> <td>6.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医薬品、検査試薬及び診療材料について、ベンチマークシステムを活用し、他医療機関の購入価格の調査を行い、共同あっせん調達を実施した。また、診療材料については神奈川リハビリテーション事業団を含めて調達を行い、スケールメリットを生かした入札を進めた。</p> <p>医薬品値引率 上期：13.3% 下期：13.8% 検査試薬値引率 31.3% 診療材料値引率 49.7%</p> <p>・消耗品の共同購入について採用品目を54品目から73品目に拡大を図った。</p> <p>・医療機器について、シリンジポンプの共同購入を行い、経費の節減を図るとともに、事務執行を効率化した。</p> <p>（参考）〔病院別の後発医薬品の採用率の内訳〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>品目数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>16.0%</td> <td>12.7%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7.8%</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>13.3%</td> <td>4.1%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>14.1%</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>17.9%</td> <td>8.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16.8%</td> <td>6.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	後発医薬品の品目採用率	12.2%	12.8%	13.4%	14.3%	16.8%	後発医薬品の金額採用率	5.6%	5.7%	5.1%	5.1%	6.4%	区分	品目数	金額	足柄上病院	16.0%	12.7%	こども医療センター	7.8%	2.9%	精神医療センター	13.3%	4.1%	がんセンター	14.1%	7.0%	循環器呼吸器病センター	17.9%	8.8%	合計	16.8%	6.4%	<p>実績に対する評価</p> <p>・後発医薬品の導入については、毎年度採用率が向上している。</p> <p>・神奈川リハビリテーション事業団との連携や品目の拡大、新規取組により、経費の節減及び事務執行の効率化を進めた。</p>	A	A	<p>後発医薬品の普及率について国が高い目標を掲げる中、病院機構としても普及を進めていくことを期待する。</p>
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値																																																										
後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%																																																										
後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%																																																										
区分	平成24年度																																																											
後発医薬品の品目採用率	13.4%																																																											
後発医薬品の金額採用率	5.1%																																																											
区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																							
後発医薬品の品目採用率	12.2%	12.8%	13.4%	14.3%	16.8%																																																							
後発医薬品の金額採用率	5.6%	5.7%	5.1%	5.1%	6.4%																																																							
区分	品目数	金額																																																										
足柄上病院	16.0%	12.7%																																																										
こども医療センター	7.8%	2.9%																																																										
精神医療センター	13.3%	4.1%																																																										
がんセンター	14.1%	7.0%																																																										
循環器呼吸器病センター	17.9%	8.8%																																																										
合計	16.8%	6.4%																																																										
			課題				<p>後発医薬品及び共同購入対象品目の拡大に引き続き取り組んでいく必要がある。</p>																																																					

		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項	22～26年度	22～26年度
		中期計画における後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の目標値を達成した。	A	A

小項目 5 6 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標	イ 費用の削減 材料費や経費の節減に努めること。
------	-----------------------------

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>・定型的な事務や院内保育業務等の業務の委託化を拡大し、経費の節減を図る。</p>	<p>・芹香病院及び循環器呼吸器病センターにおいて、PPS（特定規模電気事業者）からの電力調達を図るとともに、診療に支障のない範囲内で節電対策を行う等、電気料金の節減に向けた取組を進める。</p> <p>・子ども医療センターは、外部コンサルタントを導入し、委託業務等経費の削減を図る。</p> <p>・光熱水費の使用量増加率は入院及び外来延患者数の伸び率の平均値以内を目標とする。</p>	<p>・電力調達について、足柄上病院、子ども医療センター及び循環器呼吸器病センターにおいてPPSとの契約を進め、電力料金の節減に努めた。</p> <p>・入院及び外来延患者数の平均値は+3.8%であり、電力の使用量増加率 2.7%を上回った。</p> <p>[子ども医療センター] ・成功報酬契約のコンサルタントを導入し、他医療機関の購入価格と比較できるベンチマークシステムを活用することにより、契約単価の見直しを行い、費用を縮減した。</p> <p>・コンピュータ断層撮影装置の処分において、入札を行い、廃棄処分費用を節減すると共に収入を得た。</p>	実績に対する評価	A	A	<p>電力の他、ガス、水道も併せて節減に取り組めば、より高い効果が見込める。 節減の評価は金額及び使用量で対前年度比較をするなど、より具体的に示すことが望ましい。</p>	
			課題				
			消費税率改定や円安などによる費用の不可避な増要素がある中で、費用の縮減に向けた取組を進める必要がある。				
中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項			22～26年度	22～26年度			
		各病院の院内保育園の業務委託や循環器呼吸器病センターのSPD（診療材料の調達・管理運営業務）及び滅菌消毒等業務等、委託業務の拡大を行う等、効率的な予算執行を行った。	A	A			

小項目 5 7 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第3 財務内容の改善に関する事項

中期目標	<p>県立病院の医療機能を充実し、県民負担の軽減に努めながら、新たな課題に対応できる経営基盤を確保するため、健全な病院経営を行い、県立病院機構全体の財務内容の改善を図ること。</p> <p>経営目標</p> <p>業務運営の改善及び効率化を進め、より一層の経営改善に取り組むことにより、中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。</p> <p>また、医業収支比率を133%以下とするよう努めること。</p>
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進め、収支計画において、中期目標期間を累計した経常収支比率を100%以上、医業収益に対する給与費の比率を70%以下とする。また、医業収支比率を133%以下とする。</p>	<p>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算（26年度）</p> <p>2 収支計画（26年度）</p> <p>(1) 県立病院機構全体 経常収支比率 98.9% 医業収益に対する給与費の比率 62.2% 医業収支比率 123.5%</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 97.6% 医業収益に対する給与費の比率 71.3% 医業収支比率 125.8%</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 103.0% 医業収益に対する給与費の比率 66.7% 医業収支比率 121.9%</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 98.1% 医業収益に対する給与費の比率 124.4% 医業収支比率 175.7%</p>	<p>・別冊「平成26年度 業務実績報告書」の「3 病院ごとの取組状況」を参照</p> <p>・県立病院機構全体の経常収支比率は99.8%となった。</p> <p>なお、医業収益に対する給与費の比率は61.7%、医業収支比率は122.2%となった。</p> <p>[決算状況] (1) 県立病院機構全体 経常収支比率 99.8% 医業収益に対する給与費の比率 61.7% 医業収支比率 122.2% 総損益 1,585百万円</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 97.1% 医業収益に対する給与費の比率 69.7% 医業収支比率 126.0% 総損益 203百万円</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 105.0% 医業収益に対する給与費の比率 65.8% 医業収支比率 119.5% 総損益 743百万円</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 100.4% 医業収益に対する給与費の比率 125.6% 医業収支比率 172.4% 総損益 343百万円</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・県立病院機構全体で経常収支比率、給与費比率及び医業収支比率とも目標を達成した。各病院の評価は次のとおり。</p> <p>・足柄上病院は、救急患者の受入増などにより入院収益が増加したが、給与費や材料費の増の影響などにより、総損失は203百万円となり、前年度から91百万円増加した。</p> <p>・こども医療センターは、患者数の増加、NICUの運用の効率化や手術件数及び薬剤料収入の増等により、総利益は743百万円となり、前年度から254百万円増加した。</p> <p>・芹香病院は、新病院開院の効果により収益が増加したが、旧病院の廃止に伴う臨時損失などにより、前年度の総利益100百万円から、総損失343百万円に転じた。</p> <p>・せりがや病院は、統合に伴う患者調整の影響などにより収益が減少し、加えて旧病院廃止に伴う臨時損失の増加により、総損失は420百万円となり、前年度から352百万円増加した。</p>	A	A	
<p>1 予算（22年度～26年度） 省略</p>						
<p>2 収支計画（22年度～26年度） 省略</p>						

3 資金計画（22年度～26年度）
省略

(5)せりがや病院
 経常収支比率 83.0%
 医業収益に対する給与費の比率 133.7%
 医業収支比率 175.9%

(6)がんセンター
 経常収支比率 98.4%
 医業収益に対する給与費の比率 43.8%
 医業収支比率 113.0%

(7)循環器呼吸器病センター
 経常収支比率 103.7%
 医業収益に対する給与費の比率 51.0%
 医業収支比率 114.6%

3 資金計画
省略

(5)せりがや病院
 経常収支比率 107.8%
 医業収益に対する給与費の比率 113.2%
 医業収支比率 182.1%
 総損益 420百万円

(6)がんセンター
 経常収支比率 96.6%
 医業収益に対する給与費の比率 44.4%
 医業収支比率 115.1%
 総損益 1,203百万円

(7)循環器呼吸器病センター
 経常収支比率 102.4%
 医業収益に対する給与費の比率 53.8%
 医業収支比率 118.1%
 総損益 134百万円

・がんセンターは、新病院の
 通年化運用による患者増により
 医業収益が増加した。一方で、
 委託料などの増により医業費用
 が増加し、臨時損失が大幅に減
 少したものの、費用全体は増加
 した。この結果、総損失は
 1,203百万円となり、前年度か
 ら1,055百万円減少した。

・循環器呼吸器病センターは、
 手術件数の減等により医業収益
 が減少した。一方で、電子カル
 テの導入に伴う賃借料や委託料
 は増加したが、材料費の減少に
 より費用全体は減少した。この
 結果、総利益は134百万円とな
 り、前年度から40百万円減少し
 た。

課題

県立病院機構全体では、目標
 値を達成したものの、所属間で
 達成状況に差があることから、
 引き続き収益の確保や費用の削
 減に取り組み、全ての所属で目
 標値を達成する必要がある。

(参考) [収支計画]

区分	経常収支比率					医業収益に対する給与費の比率					医業収支比率				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
県立病院機構全体	100.2%	100.8%	101.4%	99.5%	98.9%	70.5%	70.6%	69.4%	65.4%	62.2%	131.5%	128.1%	126.4%	125.1%	123.5%
足柄上病院	94.0%	95.8%	98.6%	99.4%	97.6%	78.8%	78.5%	77.9%	71.6%	71.3%	138.0%	138.8%	130.1%	125.7%	125.8%
こども医療センター	105.3%	102.1%	103.9%	105.0%	103.0%	71.4%	74.8%	69.9%	66.7%	66.7%	131.1%	124.9%	121.5%	121.9%	
芹香病院	95.8%	96.5%	98.9%	99.0%	98.1%	120.8%	119.0%	134.5%	115.5%	124.4%	168.9%	165.3%	182.9%	160.4%	175.7%
せりがや病院	94.3%	94.6%	95.2%	96.5%	83.0%	138.6%	133.7%	132.4%	118.2%	133.7%	188.9%	184.3%	181.7%	165.9%	175.9%
がんセンター	99.6%	103.6%	103.0%	94.6%	98.4%	56.1%	54.8%	54.5%	53.2%	43.8%	121.7%	115.7%	115.1%	122.9%	113.0%
循環器呼吸器病センター	99.7%	106.9%	107.4%	108.9%	103.7%	60.6%	53.1%	52.3%	49.7%	51.0%	128.2%	116.4%	113.0%	109.4%	114.6%

(参考) [決算状況]

区分	経常収支比率					医業収益に対する給与費の比率					医業収支比率				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
県立病院機構全体	103.2%	100.1%	102.1%	101.2%	99.8%	67.9%	71.8%	69.2%	64.7%	61.7%	126.1%	129.2%	125.4%	124.1%	122.2%
足柄上病院	99.2%	96.6%	98.4%	98.3%	97.1%	78.0%	80.9%	76.1%	71.1%	69.7%	135.5%	136.3%	129.4%	128.0%	126.0%
こども医療センター	107.5%	103.2%	101.7%	103.4%	105.0%	70.7%	73.0%	72.4%	69.8%	65.8%	126.0%	128.9%	128.7%	124.8%	119.5%
芹香病院	98.7%	90.4%	97.2%	102.6%	100.4%	116.6%	133.5%	139.3%	120.8%	125.6%	167.7%	184.9%	193.7%	165.8%	172.4%
せりがや病院	100.2%	102.2%	99.3%	92.2%	107.8%	129.4%	125.0%	125.9%	116.7%	113.2%	182.8%	176.0%	180.7%	177.4%	182.1%
がんセンター	104.0%	101.1%	107.9%	101.5%	96.6%	53.6%	57.9%	52.2%	48.2%	44.4%	114.3%	119.1%	109.1%	114.0%	115.1%
循環器呼吸器病センター	104.0%	105.0%	103.3%	102.7%	102.4%	51.7%	54.6%	55.1%	52.6%	53.8%	120.1%	118.0%	119.4%	120.1%	118.1%

中期計画期間（22～26年度）に関する特記事項

診療報酬改定を踏まえた的確な施設基準の取得等によって、中期計画期間を累計した経常収支比率を100%以上、医業収益に対する給与費の比率を70%以下、医業収支比率を133%以下とする目標に対して、経常収支比率が101.2%、医業収益に対する給与費の比率が66.9%、医業収支比率が125.3%となり、目標値を上回ることができた。

22～26年度

A

22～26年度

A

小項目 5 8 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第7 その他業務運営に関する重要事項
人事に関する事項

中期目標	<p>(1) 適切な職員配置 経営効率の高い業務執行体制を構築するため、定型的な業務について委託を進めること等により、適切な職員配置に努めること。 また、医療ニーズの変化に適切に対応した看護師等、医療従事者の迅速・柔軟な採用・配置を行い、新たな政策課題に対しては、必要な医療従事者を適切に配置すること。</p> <p>(2) 的確な人事管理 職員の実績等を的確に反映した人事管理を行うため、より病院にふさわしい人事評価の仕組みを確立すること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>その他業務運営に関する重要事項 人事に関する事項 (1) 適切な職員配置 ・事務部門については、専門性を高めるとともに、経営企画機能の強化を図る。また、定型的な業務については委託化を進める。</p> <p>・医療従事者については、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応し、効果的な人員配置を行うため、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等を行う。</p> <p>・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。</p> <p>・がんセンター総合整備をはじめとした新たな政策課題を実現するため、必要な医療従事者を適切に配置する。</p>	<p>その他業務運営に関する重要事項 人事に関する事項 (1) 適切な職員配置 ・事務職員については、その専門性を高めるとともに、法人、病院の経営企画機能の強化を目指した職員配置を行う。</p> <p>・医療従事者については、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等により、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応した効果的な人員配置を行う。</p> <p>・精神医療センターの総合整備に向けて、必要な人員配置を行う。</p> <p>・がんセンターの重粒子線治療施設について、平成27年中の治療開始に向けた計画的な人員配置を行う。</p>	<p>・平成26年4月1日に採用した事務職員については、本部事務局では総務企画課1人、職員課1人の計2人を配置したほか、各病院の診療報酬等の医業収益確保を図るため医事課に2人、企画部門の機能強化を図るため経営企画課に3人、総務課に2人を配置した。</p> <p>・精神医療センターの総合整備やがんセンターの重粒子線治療装置の導入に向けた体制の充実など、医療ニーズや医療環境の変化等に的確に対応するとともに、円滑な病院運営を行うために、平成26年度中に正規職員285人（医師79人、看護師172人、コメディカル職種15人、事務19人）を採用した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>患者動向や医療環境の変化等に柔軟かつ効果的に対応できるよう、経験者区分での採用や、年度途中での臨時試験の実施などにより、引き続き適正な職員配置に努めた。</p>	A	A	<p>実際に働く職員に配慮しながら、引き続き適切な職員配置、人事管理に努めて頂きたい。</p>
			課題			
			<p>新たな人事評価制度について、職員の能力開発や活用に繋がるものとなるように適切な運用を図るとともに、必要に応じて内容の見直しをしていく。</p>			

<p>(2) 的確な人事管理 医師や看護師等医療従事者の職務の実態を踏まえた人事評価システムについて、検討する。</p>	<p>(2) 的確な人事管理 平成24年度から実施した病院に相応しい新たな人事評価システムについて、職員がよりステップアップした能力開発や活用に繋げていくものとなるよう、適切な運用を行う。</p>	<p>・評価者研修の実施などにより人事評価システムの適切な運用に努めるとともに、人事評価実施に伴う職員への面談などを通して職員の能力開発や人材育成への活用を図った。</p>			
		中期目標期間（22～26年度）に関する特記事項		22～26年度	22～26年度
		<p>・平成24年度から、医療従事者の実態を踏まえた新たな人事評価システムを導入し適切な運用を図った。</p> <p>・平成25年度に足柄上病院の調理業務、平成26年度には循環器呼吸器病センターのSPD及び滅菌消毒等業務を委託化し、委託業務の拡大を進めた。</p>	A	A	